

KOGAKUIN UNIVERSITY

工学院大学

後援会のしおり

2025

工学院大学後援会

後援会のしおり

CONTENTS

《カラーページ》

八王子キャンパス写真・キャンパスマップ	①・②
新宿キャンパス写真・キャンパスマップ	③・④
後援会主要行事	⑤・⑥
後援会年間予定表	⑦
工学院大学後援会ホームページ	⑧
後援会会長あいさつ	⑨
学長あいさつ	⑩
行事・授業日程表	⑪・⑫・⑬・⑭

大学紹介

1. 教学組織	1
2. 学部・学科の紹介	2
3. 大学のカリキュラム及び履修案内	12
4. 学生生活の案内	28
修学サポート	28
施設紹介	37
課外活動	39
大学院への進学	42
キャリアサポート	43
工学院大学校友会	58

後援会紹介

1. 後援会の組織及び役員	59
2. 事業内容の紹介	61
父母懇談会	64
キャンパス見学会	66
就職と進学に関する講演会	67
後援会 支部行事の紹介	68
在住都道府県別会員数一覧表(2025年4月1日現在)	74
後援会会則	75
後援会支部規約(準則)	79
工学院大学後援会 個人情報保護方針	81
学園と後援会の沿革	82

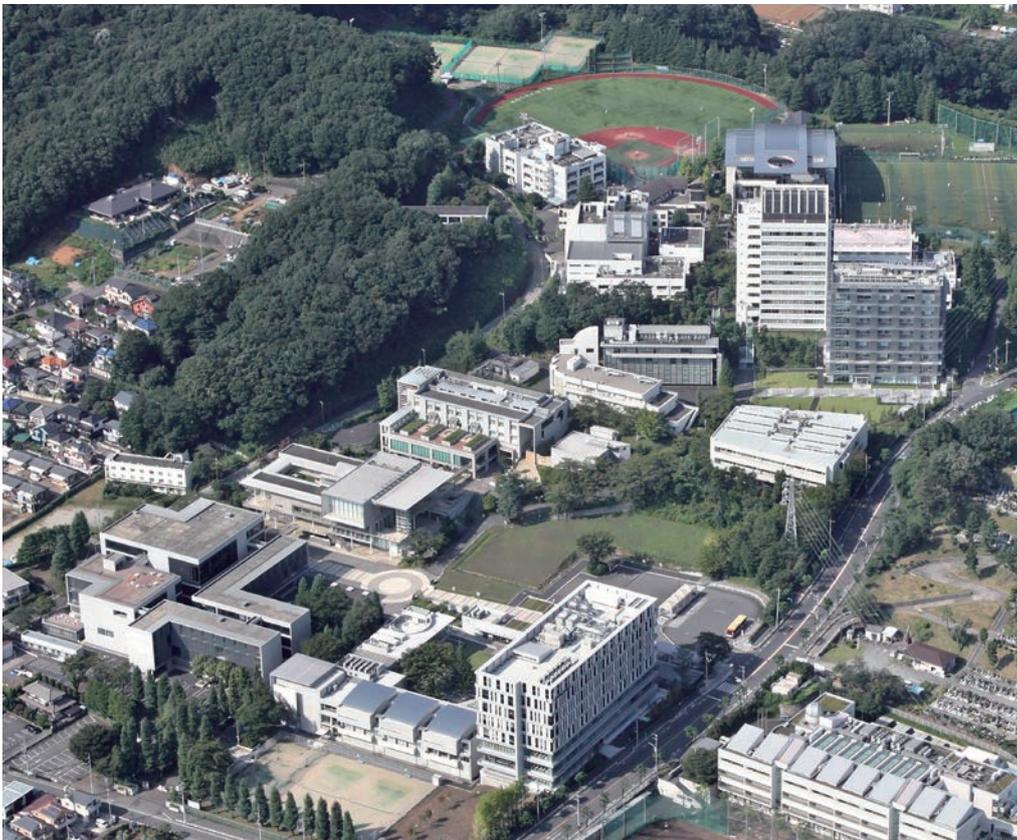
この「後援会のしおり」は大学および後援会の概要を紹介するために編集しました。
有効にご利用いただければ幸甚に存じます。



2号館



2号館 工手の泉

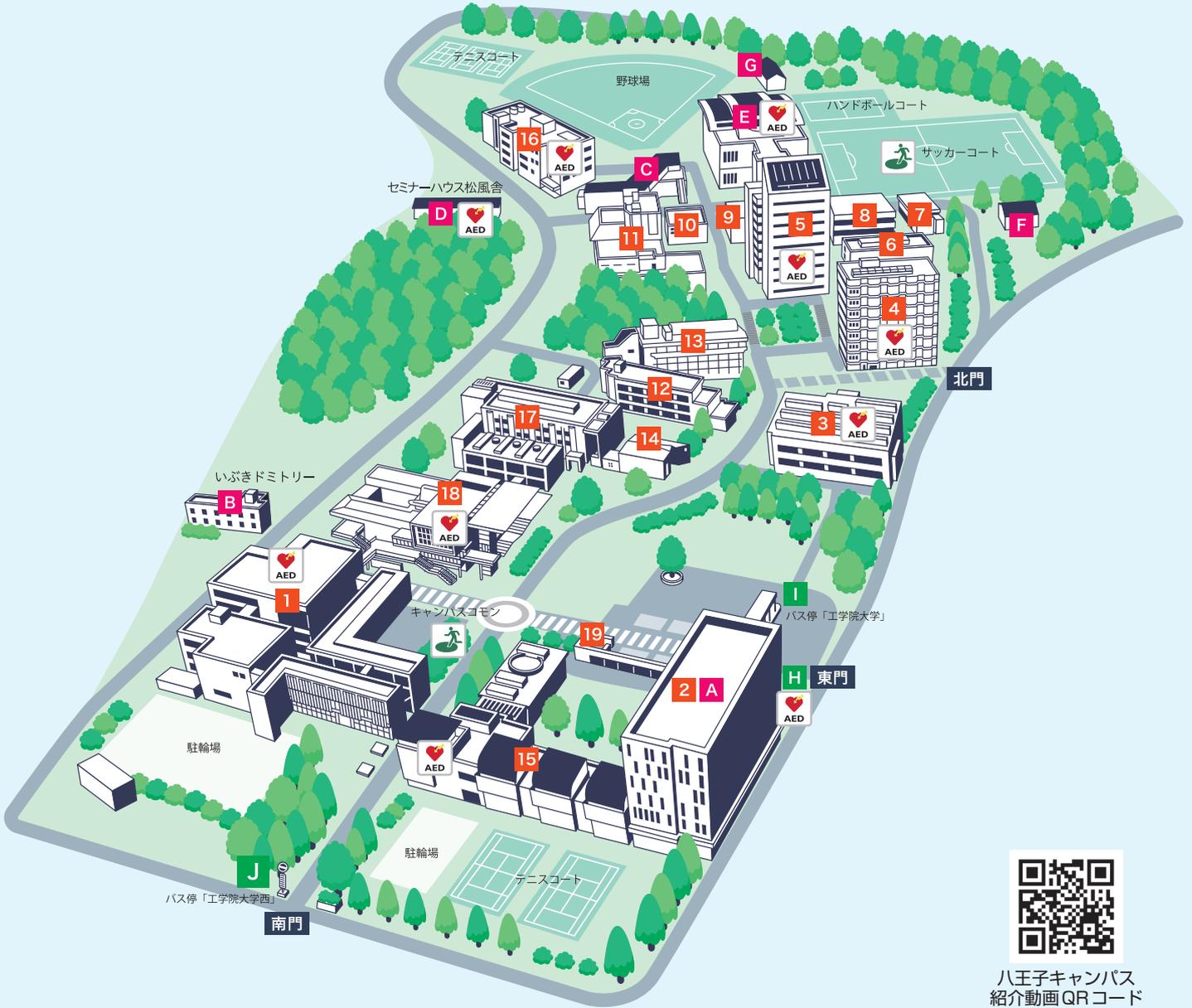


左)1号館 右)スチューデントセンター



4号館 化学実験室

八王子キャンパスマップ



八王子キャンパス
紹介動画QRコード

1 1号館 (125周年記念総合教育棟) 教室／研究室／
実験室／カフェテリア室／学生センター／
事務室／学生相談室／健康相談室／会議室

2 2号館 教室／情報学部研究室／実験室／
CNC工作室／工手の泉 (ライブラリサービス)／事務室／
学習支援センター／テクノ・クリエーション・センター (TECC)

3 3号館 教室／絵画室／製図室／設計室／建築学部研究室

4 4号館 (あどらば) 教室／先進工学部研究室／実験室

5 5号館 化学系学科・電気系学科・情報学部研究室／実験室／
多目的室／工手の泉 (ICTサービス)／事務室／警備室

6 6号館 機械系学科実験室

7 7号館 化学系学科研究室

8 8号館 機械系学科研究室／実験室

9 9号館 建築学部・情報学部音響測定室、残響室

10 10号館 電気基礎実習室、研究室

11 11号館 都市減災研究センター (UDM)／
建築学部大型実験室／建築学部実験室・研究室

12 12号館 (総合工学研究棟)
化学系学科研究室、実験室

13 13号館 (AMC棟) 研究室／実験室

14 14号館 ソーラービークル研究センター (SV)

15 15号館 (C³ (Cキューブ))／学生ラウンジ／
教室／グローバル事業部／
工手の泉 (ICTサービス)

16 16号館 (MBSC棟&CORC棟) 研究室／
実験室／機能表面研究センター (FMS)／
産学共同研究センター (CORC)／
八王子市新産業創出センター

17 17号館 (工房・化学実験棟) フライトシミュレーター／
化学系学科研究室、実験室／夢づくり工房／
生体分子システムセンター (BMSC)／学生ホール

18 18号館 (スチューデントセンター) 食堂・売店／
いぶきホール／クリエーションラボ／
就職キャリア支援センター

19 19号館 ものづくり支援センター (ふらっと)

A 工手の泉 (ライブラリサービス) **B** いぶきドミトリー

C 学生部室棟 **D** セミナーハウス松風舎

E 体育館 アリーナ・柔道場／剣道場／フィットネスルーム

F 弓道場 **G** ボクシング場

H 警備室 **I** バス停「工学院大学」

J バス停「工学院大学西」

避難場所



1階 アトリウム



地下1階 B-ICHI



高層棟2階 就職キャリア支援センター

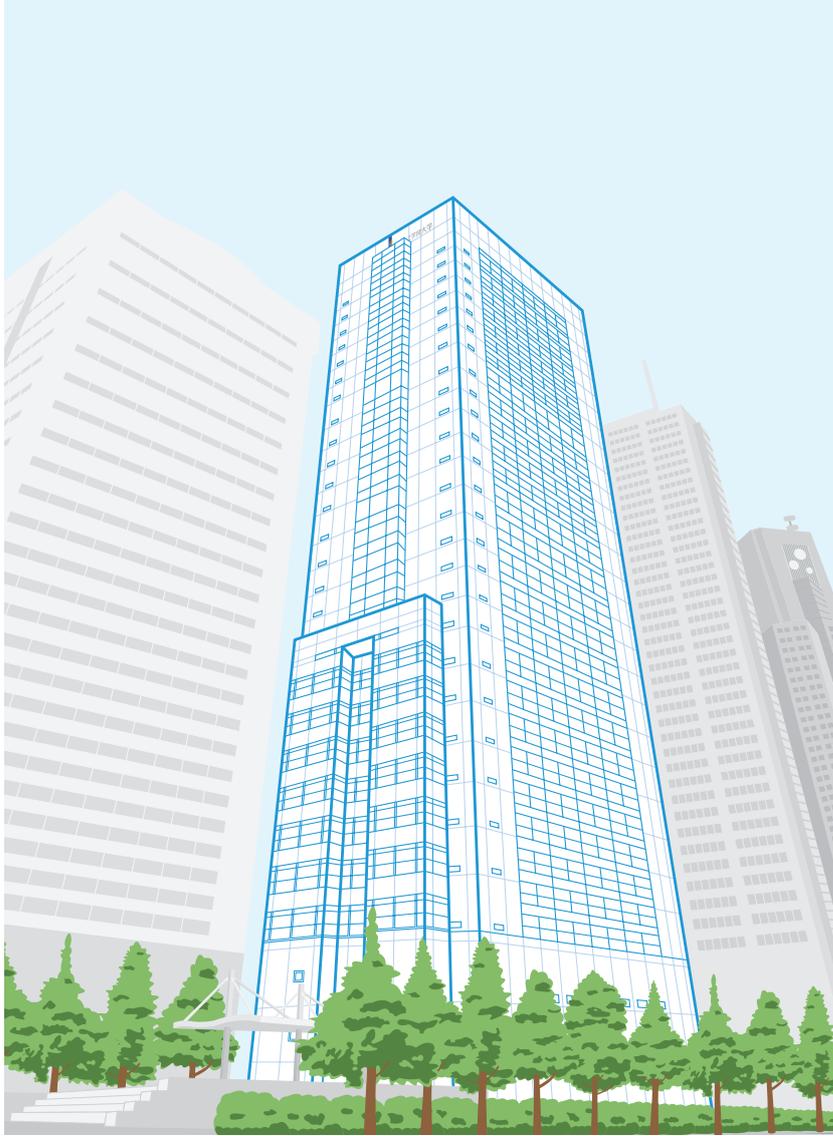


中層棟2階 工手の泉

新宿キャンパスマップ



新宿キャンパス
紹介動画QRコード



屋上

■	会議室／校友会事務局／学生相談室	28F	
■	学部サテライト事務局(教育推進機構)／研究室	27F	
	研究室／大学院生室／学習ラウンジ	26F	
■	学部サテライト事務局(建築学部)／研究室／ 大学院生室／学習ラウンジ	25F	
	研究室／大学院生室／学習ラウンジ	24F	
■	学部サテライト事務局(情報学部)／ 研究室／学習ラウンジ	23F	
	研究室／大学院生室	22F	
エレベーター	■	測定室／大学院生室／学習ラウンジ／会議室	21F
	■	研究室／測定室／学習ラウンジ／会議室	20F
■	学部サテライト事務局(先進工学部)／研究室／ 演習室／実験室／大学院生室／学習ラウンジ	19F	
	研究室／学習ラウンジ	18F	
■	学部サテライト事務局(工学部)／研究室／ 大学院生室／学習ラウンジ	17F	
	■	研究室／工手の泉(ICTサービス)／学習ラウンジ	16F
	■	研究室／学習ラウンジ	15F
	■	工手の泉(ICTサービス)／事務局	14F
	■	法人事務室	13F
■	学生センター	12F	
■	アドミッションセンター／教室／ 健康相談室／グローバル事業部	11F	
	教室／CAD室／製図室／工手の泉(ICTサービス)	10F	
	■	建築設計室	9F
	■	教室	8F
	■	教室／女子学生控室	7F
	■	教室	6F
	■	教室	5F
	■	大学院教室	4F
	■	アーバンテックホール	3F
	■	就職キャリア支援センター	2F
	■	1F アトリウム	1F
	■	ラーニングcommons B-1CHI 実験室	B1F
	■	実験室	B2F
		B3F-B6F	

	研究室	8F
■	演習室	7F
	■	6F
	■	5F
	■	4F
	■	3F
	■	2F
	■	1F
エレベーター	■	セブンイレブン
	■	体育室 実験室

後援会主要行事

2024年度の後援会の主要行事(入学式のみ2025年度)を写真とともに紹介します。



【入学式】

2025年度入学式は、京王プラザホテル(新宿)にて開催しました。保護者の皆様にはライブ配信で入学式をご覧いただきました。



【定期総会】

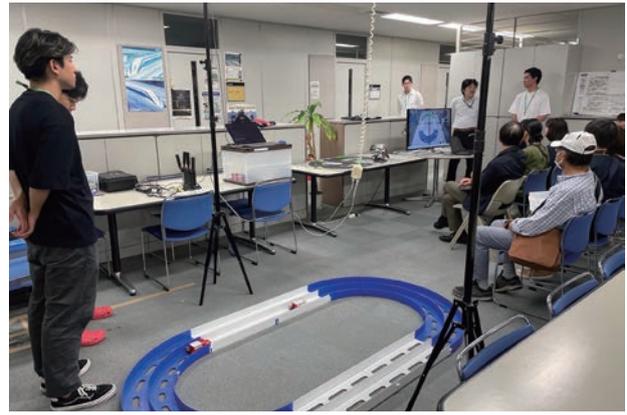
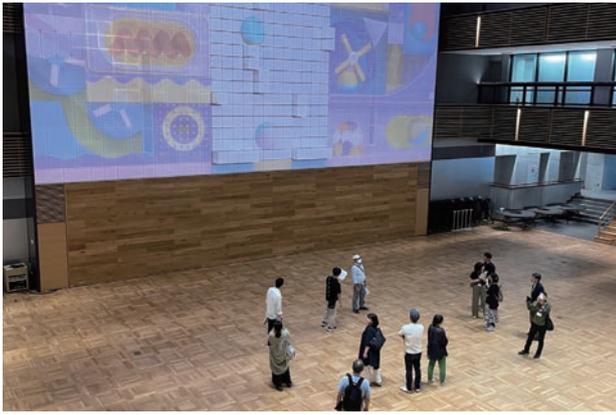
新宿キャンパスにてオンライン併用で開催しました。



【父母懇談会・全体会】

全国21支部で開催しました。また、教員との個人面談(2年生以上の保護者対象)はオンラインで実施しました。

【父母懇談会・個人面談】



【キャンパス見学会】

新宿キャンパスおよび八王子キャンパスにて開催しました。参加者は学部毎のグループに分かれ、学生の引率により、キャンパスを見学しました。

保護者の皆さまにお願いしたいこと - 就活サポートブックより

- 体調面でのサポート
 - ✓ 選考試験で100%の力を出すためには、体調管理も重要です。
 - ✓ 食生活だけではなく、身の回りを整えるようなちょっとしたサポートで就職活動に専念できる環境づくりをお願いします。
- そして、時には見守ってあげてください
 - ✓ 保護者世代と大きく変わった就職活動に、心配になりいろいろな口をささみたくなる場面もあると思います。

保護者の皆さまへ - 保護者のための就活サポートブック

2024

本学ホームページに掲載
・就職環境の変化、就活スケジュール、就職活動の特徴を紹介
・よくある疑問をQ&A形式で掲載

大学院生の生活と進学の特典

研究室での研究中心の生活

- 専門知識と高度なスキル、問題解決能力の習得
- 学外との共同研究、チームでの研究、後輩指導などを通じた社会人基礎力の獲得
- 多彩な教授陣によるきめ細かい指導

研究成果は国内の学会や海外での国際会議で発表

- プレゼンテーション能力、英語力の向上、参加費・旅費の補助

講義

- 講義22単位(11科目)以上+修士論文8単位

低く抑えた学費と支援制度

- 学部に対して低めの学費、学費減免などの支援制度の充実
- TA制度：学部の授業補助、教育現場の理解と経済的負担の軽減

大学院組織と学部学科とのつながり

学部 (主たる出身学科)	修士課程 (2年間)	博士後期課程 (3年間)
(工) 機械工学科 (先) 機械システム工学科 (先) 機械理工学科	機械工学 専攻	機械工学 専攻
(先) 生体化学科 (先) 応用化学科 (先) 環境化学科	化学応用学 専攻	化学応用学 専攻
(工) 電気電子工学科 (先) 電気電子システム工学科 (先) 情報電子工学科	電気・電子工学 専攻	電気・電子工学 専攻
(機) コンピュータ科学科 (機) 情報デザイン学科 (機) 情報科学科	情報学 専攻	情報学 専攻
(建) まちづくり学科 (建) 建築学科 (建) 建築デザイン学科	建築学 専攻	建築学 専攻

【就職と進学に関する講演会】

本学の就職状況や就職支援について、大学院への進学についての講演(オンライン)を行いました。画像は当日に使用したスライドの一部です。



【学位授与式・卒業記念祝賀会】

2024年度学位授与式および大学後援会からの寄付による卒業記念祝賀会は、京王プラザホテル(新宿)にて開催しました。また、卒業生には、大学後援会から卒業記念品が贈呈されました。

2025年度 後援会年間予定表

本部主催行事		支部総会ならびに父母懇談会		
内容	日程	支部名	開催日	開催場所
2025年		北海道支部	5月18日(日)	ANAクラウンプラザホテル札幌
定期総会	5月10日(土)	中京支部	5月18日(日)	メルパルク名古屋
父母懇談会	5月~7月 (右表参照)	長野支部	5月24日(土)	シャトレゼホテル長野
キャンパス見学会 (両日とも八王子のみ開催)	9月27日(土) 10月11日(土)	群馬支部	5月25日(日)	高崎ワシントンホテルプラザ
2026年		静岡支部	5月25日(日)	ホテルグランヒルズ静岡
就職と進学に 関する講演会	2月14日(土)	北陸支部	5月25日(日)	ホテルグランテラス富山
学位授与式 卒業記念祝賀会	3月19日(木)	南東北支部	5月31日(土)	仙台国際ホテル
本部会議		中国支部	5月31日(土)	広島ガーデンパレス
2025年		近畿支部	6月1日(日)	ANAクラウンプラザホテル大阪
会計監査 理事会(2024年度第7回)	4月12日(土)	新潟支部	6月1日(日)	ANAクラウンプラザホテル新潟
理事会(2024年度第8回) 代議員会	4月26日(土)	東京支部	6月7日(土)	工学院大学 新宿キャンパス
理事会(2025年度第1回) (定期総会同日)	5月10日(土)	茨城支部	6月21日(土)	ホテル日航つくば
理事会(2025年度第2回)	7月26日(土)	埼玉支部	6月22日(日)	ロイヤルパインズホテル浦和
理事会(2025年度第3回)	8月30日(土)	千葉支部	6月29日(日)	ロイヤルパインズホテル千葉
本部役員研修会 (理事会(2025年度第4回)含)	10月18日(土)	九州北支部	6月29日(日)	ANAクラウンプラザホテル福岡
全国支部長会議	11月8日(土)	九州南支部	6月29日(日)	パシフィックホテル沖縄
中間会計監査	12月6日(土)	北東北支部	7月5日(土)	ホテルメトロポリタン盛岡本館
2026年		神奈川支部	7月5日(土)	新横浜プリンスホテル
理事会(2025年度第5回)	1月31日(土)	栃木支部	7月12日(土)	ホテル東日本宇都宮
理事会(2025年度第6回)	3月14日(土)	山梨支部	7月13日(日)	甲府記念日ホテル
		四国支部	7月13日(日)	JRホテルクレメント高松

※日程・内容については、都合により変更となる場合があります。



工学院大学後援会ホームページ ▶▶

後援会のホームページには、後援会の各種データや、本部が主催する行事など各種活動のご案内のほか、各支部の活動予定や活動報告も掲載しています。情報は随時更新していますので、ぜひご確認ください。

後援会ホームページのURL <https://koenkai.kogakuin.ac.jp/>

アクセス方法

- ・「工学院大学後援会」で検索する。
- ・大学のホームページ(<https://www.kogakuin.ac.jp/>)のトップページの「検索」で「後援会」と入力する。



右記 QR コードからもアクセスできます



工学院大学ホームページ

サイトポリシー | お問い合わせ | サイトマップ

後援会のご案内
information

後援会データ
data

活動紹介
activity

支部ごとの活動
branch office



ご家庭と大学における良いコミュニケーション作りのお手伝いをしています。
SUPPORTERS ASSOCIATIONS

新着情報

一覧

- 2025年04月21日 **本部** 支部総会ならびに父母懇談会開催のお知らせ **NEW**
- 2025年04月15日 **近畿** 近畿支部 支部講演会報告
- 2025年02月28日 **東京** 東京支部 代議員研修会 報告(2024年11月10日)
- 2025年02月17日 **北東北** 北東北支部 盛岡散策親睦バスツアー報告
- 2025年01月29日 **神奈川** 神奈川支部 文化見学会報告(2024年12月14日開催)
- 2025年01月23日 **中国** 2024年 八王子キャンパス見学会 報告
- 2025年01月21日 **東京** 東京支部第1回代議員会、講演会および懇親会のご報告(2024年9月14日開催)
- 2025年01月09日 **本部** 2024年度 工学院大学後援会 就職と進学に関する講演会のご案内
- 2025年01月09日 **千葉** 「JAL SKY MUSEUMと整備工場見学&講演会」のご報告(12月8日)
- 2024年12月19日 **近畿** 秋の見学会 大阪 梅田スカイビルガイドツアー報告

後援会のご案内

- ▶ 目的
- ▶ 後援会本部
- ▶ 活動参加のお願い
- ▶ よくあるご質問

後援会データ

- ▶ 組織図
- ▶ 規約
- ▶ 後援会事業
- ▶ ダウンロード

活動紹介

- ▶ 本部年間予定表
- ▶ 後援会説明会
- ▶ 父母懇談会
- ▶ 就職と進学に関する講演会
- ▶ キャンパス見学会
- ▶ 紹介動画

後援会幹事紹介

- ▶ 学長からの挨拶
- ▶ 幹事長からの挨拶
- ▶ 副幹事長からの挨拶

支部ごとの活動

- | | |
|---------|----------|
| ▶ 後援会本部 | ▶ 後援会幹事会 |
| ▶ 北海道支部 | ▶ 北東北支部 |
| ▶ 南東北支部 | ▶ 茨城支部 |
| ▶ 栃木支部 | ▶ 群馬支部 |
| ▶ 埼玉支部 | ▶ 千葉支部 |
| ▶ 東京支部 | ▶ 神奈川支部 |
| ▶ 新潟支部 | ▶ 北陸支部 |
| ▶ 山梨支部 | ▶ 長野支部 |
| ▶ 静岡支部 | ▶ 中京支部 |
| ▶ 近畿支部 | ▶ 中国支部 |
| ▶ 四国支部 | ▶ 九州北支部 |
| ▶ 九州南支部 | |



後援会会長あいさつ

「伝統の継承と魅力的な後援会活動に向かって」

後援会会長
新田英二



日頃より、会員の皆様には後援会の活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。
今年度会長を拝命いたしました新田英二と申します。

本会は1950年に発足し今年で76年目を迎え全国21支部と本部、そして大学から幹事の先生と職員(学生支援課の皆様)のお力添えをいただきながら、「大学と協力して学生生活の向上を図り、大学の発展に寄与すること」を目的に活動しております。

工学院大学は創立以来、工学分野における先駆的な教育を行い、社会で活躍する優れた人材を多く輩出してきました。時代の進化に伴い、学問や技術の最前線で活躍できる人材を育成することがますます求められています。そのためには、学内の教育環境だけでなく、学外からの支援が不可欠です。後援会活動はその支援の要として、学生の学びを支える重要な役割を担っています。

今後もその活動を拡充し、大学と連携しながら、より多くの学生にとって有益な支援を行いたいと考えております。

後援会では会員相互の交流や情報交換も活発に行われています。これにより、会員間での知識や経験の共有が進みます。それによって学生支援や大学発展のための新たなアイデアが生まれています。こうした交流を通じて、後援会の活動を魅力的なものとしてさらに強化し、工学院大学の発展に貢献できるよう努めてまいります。

また、親としては、成長し成人になっても子どもは、いつまでも子どもです。大学での学生生活をはじめ、成績、就職や進学など心配事は数えきれないくらいあると思います。

後援会で得た知識や経験の共有によって、心配事の解消や子どもへのサポートが出来ます。

会員の皆様には、後援会の活動に参加していただき、より多くの学生たちが成長できるよう、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私も一丸となって、工学院大学の発展と学生たちの成長に尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学長あいさつ

学生が元気に学ぶ大学に

学長
今村保忠



工学院大学後援会は1950年に設立され、70年を超える歴史のなかで、学生生活の発展向上や厚生施設の援助など、優れた自主的活動を継続していただいております。これまでの数々の活動に敬意を表するとともに、心よりお礼申し上げます。

本学後援会は全国に21の支部が組織され、支部ごとに父母懇談会が開催されます。その際、学生の日頃のキャンパスライフ、学習成果などについて、学科の教員から直接話を聞くことができます。ぜひご参加されますことをお勧めいたします。

学生の様々な活動では、嬉しい話題がありました。硬式野球部の学生が、プロ野球独立リーグのドラフト会議で指名を受けました。この学生は、春に東京新大学2部リーグにおいて、最高出塁率と最多打点の2冠を達成し、東京新大学2部リーグ優勝に大きく貢献しています。また、剣道部は第56回関東理工科系大学剣道新人戦大会(団体・7人戦)において優勝しました。いずれも学生の元気が伝わり、今後の活躍にも期待したいところです。

学生の活動に関する新たな取り組みとして、2024年度より「工学院大学学生チャレンジ活動奨励金」制度がスタートしました。本学学生の新たなチャレンジ、現在の課外活動の枠組みを超えるチャレンジなどを対象とし、既存団体、新規団体を問わず応募可能な制度で、「多くの学生に刺激を与える」、「学内外にアピールできる」、「学生生活を豊かにする」、「その成果や頑張りが大学全体にフィードバックできる」、といった活動を支援するものです。2024年度は、第一期・第二期募集で採用された計4企画が活動し、2025年度も様々な企画が申請しております。

さらに、課外活動の支援体制、予算配分の見直しを行いました。短期間に重点的支援が必要な活動を大学として認可・支援する特別重点支援枠を設け、初回は「ソーラーカーチーム」を選定しました。大学を挙げて、彼らの活動を応援したいと思います。後援会の皆様にも直接のご支援をお願いすることがあるかと思いますが、その際にはよろしくご協力ください。

昨年は、学園運営につきまして大変ご心配をおかけしました。管理運営上の混乱は解消され、私立学校法及び寄附行為違反状態が是正されましたことを、この場をお借りしてご報告いたします。

最後に、後援会の皆様におかれましては、引き続き大学の諸活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

行事・授業日程表

2025年度授業実施方式

2025年度はすべての授業において、LMS等を有機的に組み込んだ対面授業・遠隔授業を行います。具体的な方法・および実施日程は授業によって異なりますので、それぞれの授業のやり方を必ずシラバス等で確認してください。

2025(令和7)年度 大学 授業日程

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事予定
4月			1	2	3	4	5	1~5 新入生オリエンテーション 入学式・健康診断等 7 1Q・前期 授業開始 29 昭和の日、授業実施
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				
5月					1	2	3	17 プレ八王子祭 (土曜日授業は通常実施) 26~31 学期末筆記試験 ※5/6(火・祝)7:00~20:00 新宿キャンパス全館停電 (予定)
	4	5	6 ※	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
6月	1	2	試	3	試	4	5	2~4 1Q合同定期試験 7 大学院入試 (予定) 7 2Q 授業開始 13 学生総会 ※6/28(土)授業終了後~6/29(日)深夜 新宿キャンパス全館停電 (予定)
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28 ※	
	29 ※	30						
7月			1	2	3	4	5	21 海の日、授業実施 19~25 学期末筆記試験 26~31 2Q・前期合同定期試験 ※7/12(土)授業終了後~7/13(日)深夜 新宿キャンパス停電 (予定) ※7/26(土)授業終了後~7/27(日)深夜 新宿キャンパス停電 (予定)
	6	7	8	9	10	11	12 ※	
	13 ※	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26 試 ※	
	27 ※	28 試	29 試	30 試	31 試			
8月						1 試	2 試	1~2 2Q・前期合同定期試験 4~ 教職・学芸員課程夏期集中授業 11 山の日、教職・学芸員課程夏期集中授業実施
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
9月		1	2 追	3 追	4	5 八祭	6 八祭	6 大学院入試 (予定) 2・3 追試験 5~8 八王子学園祭期間 9・10 各種ガイダンス実施期間 11 3Q・後期 授業開始 15・23 敬老の日、秋分の日、授業実施 ※9/19(金)授業終了後~21(日)夜 新宿キャンパス停電 (予定)
	7 八祭	8 八祭	9 ガ	10 ガ	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19 ※	20 ※	
	21 ※	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					

【授業時間】

1時限目	2時限目	昼休憩	3時限目	4時限目
8:30~10:00	10:10~11:40	11:40~12:30	12:30~14:00	14:10~15:40

※一部の2・3限連続授業 (詳細は担当教員に確認してください)

1時限目	2時限目	3時限目	昼休憩	4時限目
8:30~10:00	10:10~11:40	11:50~13:20	13:20~14:10	14:10~15:40

- ・前期/後期授業(全15回×90分)
14回×90分の対面 / オンライン授業+1回遠隔オンデマンド授業
- ・クォータ授業(全8回×90分)
7回×90分の対面 / オンライン授業+1回遠隔オンデマンド授業

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事予定
10月				1	2	3 ※	4 ※	12 体育祭(八王子) 13 スポーツの日、授業実施日 23~29 学期末筆記試験 31 学園創立記念日 ※10/3(金)授業終了後~5日(日)夜 新宿キャンパス停電(予定) ※10/17(金)授業終了後~19日(日)夜 新宿キャンパス停電(予定)
	5 ※	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17 ※	18 ※	
	19 ※	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30 土	31 創		
11月							1	3 学期末筆記試験 3 文化の日、3Q学期末筆記試験実施 4~6 3Q合同定期試験 学部入試(予定) 8 4Q 授業開始 20~24 新宿学園祭期間 24 振替休日、八王子キャンパス休日扱い日
	2	3 土	4 試	5 試	6 試	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20 新祭	21 新祭	22 新祭	
	23 新祭	24 新祭	25	26	27	28	29	
12月		1	2	3	4	5	6	※12/27(土)8:00~20:00、28(日)8:00~20:00 新宿キャンパス全館停電(予定)
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27 ※	
	28 ※	29	30	31				
1月					1	2	3	5~10 学期末筆記試験 17~18 大学入学共通テスト期間 14~16,19~22 4Q・後期合同定期試験 S日程入試(予定)
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14 試	15 試	16 試	17 共	
	18 共	19 試	20 試	21 試	22 試	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
2月	1	2	3	4	5	6	7	12・13 追試験 A日程入試(予定) B日程入試(予定) 26 大学院入試(予定)
	8	9	10	11	12 追	13 追	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
3月	1	2	3	4	5	6	7	M日程入試(予定) 19 学位授与式 ※3/8(日) 八王子キャンパス全館停電(予定)
	8 ※	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19 学	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

5時限目	6時限目
15:50~17:20	17:30~19:00

5時限目	6時限目
15:50~17:20	17:30~19:00

1Q前期授業期間		合同定期試験	
2Q授業期間		学期末筆記試験	
3Q後期授業期間		追試験日	
4Q授業期間		教職・学芸員課程	
授業なし	着色なし	夏期集中授業	→

行事・授業日程表

2025年度授業実施方式

2025年度はすべての授業において、LMS等を有機的に組み込んだ対面授業・遠隔授業を行います。
 具体的な方法・および実施日程は授業によって異なりますので、それぞれの授業のやり方を必ずシラバス等で確認してください。

2025(令和7)年度 大学院 授業日程

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事予定
4月			1	2	3	4	5	1~5 新入生オリエンテーション 入学式・健康診断等 7 前期 授業開始 29 昭和の日、授業実施
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				
5月					1	2	3	17 プレハ王子祭（土曜日授業は通常実施） ※5/6(火・祝)7:00~20:00 新宿キャンパス全館停電（予定）
	4	5	6 ※	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
6月	1	2	3	4	5	6	7	7 大学院入試（予定） 13 学生総会 ※6/28(土)授業終了後~6/29(日)深夜 新宿キャンパス全館停電（予定）
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28 ※	
	29 ※	30						
7月			1	2	3	4	5	21 海の日、授業実施 ※7/12(土)授業終了後~7/13(日)深夜 新宿キャンパス停電（予定） ※7/26(土)授業終了後~7/27(日)深夜 新宿キャンパス停電（予定）
	6	7	8	9	10	11	12 ※	
	13 ※	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26 ※	
	27 ※	28	29	30	31			
8月						1	2	4~ 教職・学芸員課程夏期集中授業 11 山の日、教職・学芸員課程夏期集中授業実施
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
9月		1	2	3	4	5	6	6 大学院入試（予定） 5~8 八王子学園祭期間 11 後期 授業開始 15・23 敬老の日、秋分の日、授業実施 ※9/19(金)授業終了後~21(日)夜 新宿キャンパス停電（予定）
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19 ※	20 ※	
	21 ※	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					

【授業時間】

1時限目	2時限目	昼休憩	3時限目	4時限目
8:30~10:00	10:10~11:40	11:40~12:30	12:30~14:00	14:10~15:40

※一部の2・3限連続授業（詳細は担当教員に確認してください）

1時限目	2時限目	3時限目	昼休憩	4時限目
8:30~10:00	10:10~11:40	11:50~13:20	13:20~14:10	14:10~15:40

- ・前期/後期授業(全15回×90分)
14回×90分の対面 / オンライン授業+1回遠隔オンデマンド授業
- ・クォータ授業(全8回×90分)
7回×90分の対面 / オンライン授業+1回遠隔オンデマンド授業

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事予定
10月				1	2	3 ※	4 ※	12 体育祭 (八王子) 13 スポーツの日、授業実施 31 学園創立記念日 ※10/3(金)授業終了後～5日(日)夜 新宿キャンパス停電 (予定) ※10/17(金)授業終了後～19日(日)夜 新宿キャンパス停電 (予定)
	5 ※	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17 ※	18 ※	
	19 ※	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30 土	31 創		
11月							1	3 文化の日、授業実施日 学部入試 (予定) 20~24 新宿学園祭期間 24 振替休日、八王子キャンパス休日扱い日
	2	3 土	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
12月		1	2	3	4	5	6	※12/27(土)8:00~20:00、28(日)8:00~20:00 新宿キャンパス全館停電 (予定)
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27 ※	
	28 ※	29	30	31				
1月					1	2	3	17~18 大学入学共通テスト期間 S日程入試 (予定)
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17 共	
	18 共	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
2月	1	2	3	4	5	6	7	A日程入試 (予定) B日程入試 (予定) 26 大学院入試 (予定)
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
3月	1	2	3	4	5	6	7	M日程入試 (予定) 19 学位授与式 ※3/8(日) 八王子キャンパス全館停電 (予定)
	8 ※	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19 学	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

5時限目	6時限目	7時限目
15:50~17:20	17:30~19:00	19:10~20:40

5時限目	6時限目	7時限目
15:50~17:20	17:30~19:00	19:10~20:40

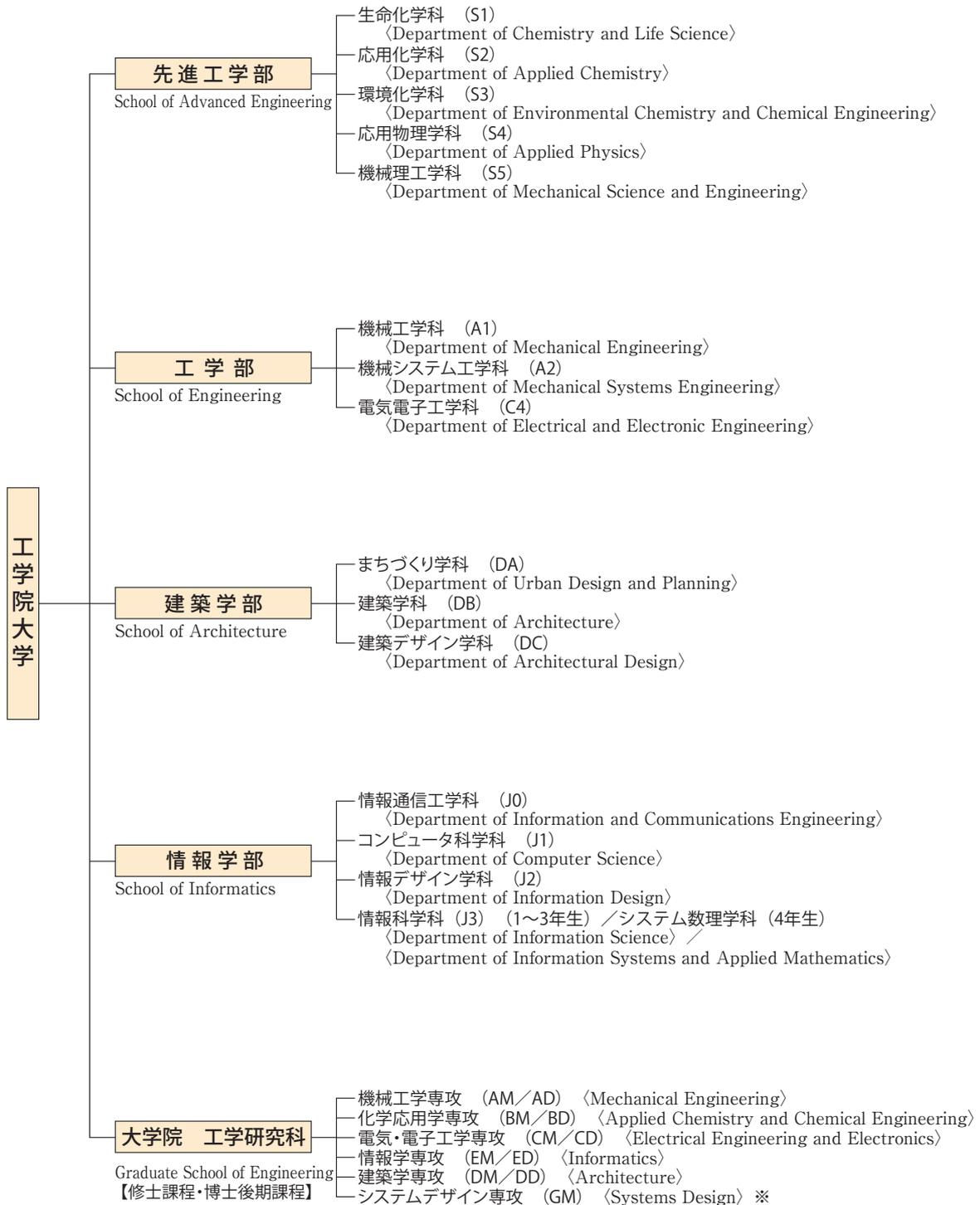
前期授業期間	
後期授業期間	
授業なし	着色なし
教職・学芸員課程 夏期集中授業➔

1

大学の紹介

教学組織

工学院大学 KOGAKUIN UNIVERSITY



※修士課程のみ

2

大学の紹介

学部・学科の紹介

教育推進機構

■基礎・教養科

基礎・教養科は、人文研究室・社会研究室・美術研究室・第二外国語研究室・数学研究室・物理研究室・化学研究室・情報基礎研究室の8つの系列の研究室から成ります。数学・物理学・化学・情報基礎などの「自然科学系基礎科目」、ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語などの「第二外国語科目」、哲学・倫理学・心理学・法学・政治学・経済学・経営学・社会学・文学・芸術学・論理学・科学論・美術などの「総合文化科目」を担当しています。

■国際キャリア科

国際キャリア科では、本学で学び巣立っていく学生が、グローバル化してゆく世の中で活躍できるスキルを養うことを目指しています。社会人として必要となる英語力を養う英語科目、そして、論理的思考力・表現力をじっくりと身につけ、本学卒業生として誇りと自信を持てるようなキャリア支援科目を提供します。

■保健体育科

われわれにとって、こころとからだの健康は、豊かな人生を送るために、大変重要な課題です。保健体育科目の「身体・運動科学演習」、「生涯スポーツ」は、身体運動の実践により、自らの健康状態を把握し、体調をととのえ、体力を増進するための学びの場となります。また同じ種目を行う同級生や担当教員とのコミュニケーションの機会が増えることにより、内面的な成長が期待されます。また、心身の発達を目指した健康教育も行っています。

■教職課程科

教職課程と学芸員課程は、全学部・学科を対象として、それぞれ教員と学芸員を養成する課程です。本学で取得できる教員免許は、中学技術、中高数学、中高理科、高校工業、高校情報です。学芸員課程の学芸員とは、博物館等で働く専門職員のことです。近年、博物館の資料の保存や展示に、理工系の知識を持つ学芸員の必要性が高まっています。両課程とも、卒業後でも科目等履修生として単位を取得すれば免許・資格を取得できます。



化学実験の授業風景



キャリアデザインの授業風景



身体・運動科学演習(サッカー)の授業風景



教職の授業風景

先進工学部

生命化学科

生命化学科では、複雑な生命現象を化学の手法で解明し、生物の代謝をヒントに新たな化学技術を見いだす、といった使命をもって教育と研究を推進しています。一人一人の学生が化学者の視点から生命現象を理解し、学术界や産業界で活躍する人材となれるよう、学科のカリキュラムが工夫されています。講義科目では生命科学と有機化学の基礎を体系的に学ぶとともに、実験・演習科目では培養、精製、分析等の手法を習得します。3年生の9月には、学科独自の行事として総合テストが実施されます。総合テストはそれまでの学修の達成度を自ら確認する絶好の機会です。成績上位者はささやかな記念品の授与とともにその榮譽を表彰されるので、多くの学生が奮起して臨みます。12月頃からは、それまでに培った学力と実験技術を駆使し、関心のある研究室で学術研究に参加します。指導教員や先輩学生のアドバイスを受けながら、サイエンスの未知領域に踏み込みます。期待したような実験結果がでなくて思考の迷宮をさまようこともありますが、実はこれが生命現象の謎を解き明かす糸口となることもあり、世界初となる何かを発見するために、日夜頑張っています。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症の区分に引き下げられた現在、学部生も大学院生もコロナ禍以前のように毎日キャンパスに通えるようになりました。感染症の拡大に気をつけながらも委縮せずに大学生生活を謳歌し、教員や先輩学生が学問にかけける情熱を肌で感じてほしいと思います。

本学科の多くの学生は、創薬・食品・化粧品などの業界で研究開発に携わることを夢見て入学します。他方、研究開発を含め技術職は人気のある職種であることから、保護者様もご存じのように、多くの企業が大学院卒(修士卒)の学生を技術職に採用することを基本としています。たった2年の在籍期間ですが、研究経験を積み、論理的な思考能力とプレゼン能力を養うのですから、技術職の採用で学部卒よりも大学院卒が有利になることは自然な傾向と思われます。従って私たち教員は、大学院に進学して研究に深く携わり学位を取ることが、学生たちの将来に大きな恵みを与えるものと確信しています。

ここ数年で脅威として再認識した感染症の問題に加え、難病や食糧問題など、人類の発展を脅かす世界的課題は数多くあります。そうした課題に対して、他人任せにするのではなく、本学科を巣立った学生たちこそが、身につけた知識と技術、そして研究生活で培った“根性”を武器に、次世代リーダーとして解決に邁進してほしいと思います。そのためにも本学科は厳しくも温かみのある指導を心がけていきます。また、学生たちの健やかな成長のために、後援会の皆様とは密に連携を取っていききたいと思います。よろしくお願いたします。



2024年度卒論発表会を終えて記念撮影

学修内容

応用化学科

応用化学科は、『「暮らし」を支え「みらい」を拓く化学のちから』を理念として掲げています。私たちの暮らしを見回してみても、文具や衣料品などの日用品から、自動車、飛行機、住宅などに用いられる新素材、携帯電話やパソコンなどに用いられるエレクトロニクス材料、食品や薬など、化学の力によって生み出された製品であふれています。一方、最近では循環型社会や脱石油を目指す科学技術に対する要求が高まり、新たな課題が山積しています。こうした社会を支え、新しい産業分野で広く活躍できる健全で幅広い視野、基礎学力、および実践力を備えた化学技術者・研究者を育成することを教育・研究上の目的としています。

1～3年生は、講義科目が週4日、実験科目が週1日というのが典型的な時間割構成です。オンライン形式の講義もありますが、学科としては対面形式の講義を重視しています。実験実技はもちろんのこと講義科目においても対面形式は重要で、日々の何気ない学生同士の会話や交流が学習意欲につながり、大学生活のリズムを作り、精神的な健康をもたらしていると考えています。4年生は研究室に所属して卒業研究を行い、一年間にわたって毎日実験と考察を繰り返します。多くの失敗も経験しますが、大学院生や教員と議論しながら解決する方法を模索する過程にこそ、高い問題解決能力を身につける絶好の学びがあります。研究成果は2月20日に行われた卒業論文発表会にて口頭発表してもらいました。教員からの質問に対し、発表者は真摯に対応できておりました。

また、本学科では大学院に進学することを強く推奨しています。科学技術全般が高度化しており、学部の4年間では十分に修得できないからであり、企業などでも専門的な知識と技術を身につけた技術者を必要としているからです。これは理系・技術系の就職活動をし始めた学生が気づくことでもあります。応用化学科は学科独自の企業説明会を実施しています。本学卒業生が勤務している企業12社の採用担当者が来学し、1月30日にいぶきホールで院生・学部生と直接話をして頂きました。インターネットだけでは得られない情報や自分の知らなかった企業に気づき、そして化学の学びを活かせる業種や職種の幅広さを実感してもらっています。

一方、学生・教職員・卒業生の親睦を深めるため、例年スポーツ大会を実施しており、10月26日に八王子キャンパス野球場でソフトボール大会(写真)を、生協食堂で懇親会を実施しました。



環境化学科

環境化学科では、「豊かな自然と快適な暮らしを支える化学と工学」の教育研究を通して、地球規模の環境やエネルギーに関連する諸問題の解決に貢献できる、真に社会で必要とされる研究者・技術者の育成を目指しています。1年次では、前期に化学や数学、物理学など自然科学の基礎を学びます。後期からは専門基礎科目(物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、地球環境工学)の学びも始まります。実験科目も1年次から開講しており、講義系科目はもちろん、実験・演習科目も充実しています。2年次前期は、1年次に学んだ内容を基に、専門基礎科目の学びを深めます。2Qには「環境施設見学」を開講しています。この科目は、実

際に稼働している廃水処理等の環境浄化施設を訪れて、使用されている要素技術を見て学ぶもので、環境化学科の特色ある科目の1つです。学生からの人気も高く、授業で学ぶ内容が社会でどう活かされているかを実感できます。2年次後期から3年次にかけては、専門科目の学びが主となります。化学工学系重点科目を中心に、環境工学系科目や材料・エネルギー系科目などから一定数の科目を満遍なく履修します。水・大気・土壌環境を定量的に評価し改善する手法を学ぶ科目や、自然エネルギーの活用や電池等の機能材料の最先端を学ぶ科目などが開講されており、環境化学科で学ぶ醍醐味を味わえます。学生自身の関心に従って履修できる選択科目も充実しています。3年次後期には、研究室への早期配属を行う「環境化学セミナー」を開講しています。研究室の雰囲気慣れ親しんでもらうとともに、研究の奥深さや面白さに触れてもらい、研究室の先輩との交流も通して、大学院進学や就職活動への具体的なイメージを得る機会を提供しています。全ての学生は4年生になると各研究室に正式に配属され、指導教員のもとで1年かけてじっくりと卒業研究を進めます。実験やシミュレーションに明け暮れる毎日となりますが、研究室のメンバーや教員との議論を通して、課題解決能力を身につけることができます。2月には卒業論文を提出し、卒業論文研究最終発表会に臨みます。学生の立派な論文・発表に、1年間の成長を感じることができ、教員としても嬉しい瞬間です。

環境化学科では、学科オリジナルのホームページ(<https://kogakuin-ecce.jp/>)を充実させています。学会等での学生の受賞ニュースをはじめ、環境化学科の「いま」を発信していますので、こちらも是非ご覧ください。

昨今の世界的な環境・エネルギー問題への意識の高まりもあり、環境化学科へ寄せられている期待の大きさを感じています。今後も変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



写真：2月の卒業論文研究最終発表会の様子

応用物理学科

応用物理学科では、物理学を基に、新たな材料、計測原理、製作手段を生み出すことにより、SDGsから宇宙開発まで、物理と工学の融合する幅広い学際分野で活躍できる人材の育成を目指しています。1年次では、数学・物理・化学などの基礎的な自然科学の他に、英語を含む外国語、キャリア教育などを学びます。学科独自のキャリア教育の取り組みとして、応用物理学序論が設けられ、学科教員が研究室での様子を紹介することで、学科の全体像をなるべく早い時期から把握してもらう試みを行っています。2024年度からは就職キャリア支援センターの協力の基、就職プロジェクトがスタートし、大学での学び・研究を活かした就職を念頭に指導を行っています。2年次から、専門科目、実験がスタートします。カリキュラムは、応用物理学の関わる学際領域を広く学ぶことができるように編成されているので、学生はそれに沿って各自で履修プランを立てています。キャリア教育の取り組みとして、2、3年次には応用物理セミナーが設けられています。2年次には実際に研究室を訪れ、実験体験や見学を行うことで、専門科目との関係を把握してもらっています。3年次は新宿キャンパスで学びます。学科独自の取り組みとして毎年9月に大学院・就職ガイダンスを同時開催しています。また、後期には研究室への仮配属が決定し、応用物理セミナーは研究室単位で実施されます。4年

学修内容

次は各研究室に分かれ、学びの集大成として卒業研究に取り組みます。

学科イベントとして、新入生歓迎BBQや外部見学会を実施しています。2024年度は入学式に合わせてBBQを行いました。また、2年生は、昨年、新入生歓迎BBQが実施できなかったため、写真のように春の応物祭を開催しました。教員も全員参加し改めて自己紹介を行い今後の抱負を一人一人話してもらいました。短い時間でしたが、充実した時間を過ごすことができました。2025年度も4月の新入生歓迎BBQを皮切りに各種イベントを開催する予定です。

学科では大学のHPの他に、学科オリジナルのホームページ(<https://kogakuin-applphysics.jp/>)も作成しています。イベントや学生の表彰、オープンキャンパスの様子、研究室の様子など発信して参りますので、こちらも是非ご覧いただけますと幸いです。



春の応物祭2024

機械理工学科

「機械理工学科」は、先進工学部における自然科学系の基礎学力の修得に加え、機械工学を中心とした工学専門知識を修得し、さらに実社会における工業的課題を自ら解決できる能力を身につけた世界で活躍できる技術者の育成を目指しています。グローバル化が進んだ社会で円滑にコミュニケーションを行うための英語力を培うことも特色の1つです。

工業的課題を自ら解決できる能力を育むため、社会で問題となっている生きたテーマや企業が取り組む課題について、学生が創造力とチームワーク力を駆使して解決に挑む「創造工学セミナー」を3年次から卒業まで行います。従来の卒業研究も選択することができ、2年間の研究活動で卒業後の実社会で戦力となることを期待するものです。

英語力については、会話を重視した技術英語科目を1年次から4年次まで設置し、さらに3年次希望者には海外提携校への短期留学プログラムである「創造工学海外研修」を提供しています。海外の学生や教員との研究活動や英語での会話を経験することで様々な人への対応力、異なる環境への適応力、国際性を養うことができます。

また2019年度から「航空理工学専攻」を開設し、高度な工学知識と操縦技術を兼ね備えた「エンジニア・パイロット」の養成を行っています。入学後にセスナ機などの固定翼かヘリコプターなどの回転翼のどちらかのライセンスを選択することができ、自家用あるいは業務用の飛行操縦技術を学ぶだけでなく、日本航空(JAL)との連携によるエアラインパイロット指定校推薦コースもあり、JALが実施する自社養成パイロット採用選考の受験も可能です。

機械理工学科はグローバルに働く技術者を目指す学生に加え、パイロットを目指す学生にも対応した幅広い学びを提供しています。



工学部

機械工学科

機械工学科は、「機械をつくる」ことを学ぶ学科です。部品から設計し、機械を作ることができる学生を育てます。1年生では、基礎学力を学ぶと同時に基礎演習や機械実習等の演習科目にて、機械の仕組みを理解して機械を作る喜びも体験します。また、「ハイブリッド留学プログラム」には十数名の1年生希望者が参加し、本学教員の出張授業を受けながら8週間イギリスでの生活を体験します。2年生では、機械工学の基礎となる4力学(材料力学、流体力学、熱力学と機械力学)を学ぶと共に、コンピュータを通じた設計や機械加工を体験します。3年生では、エコエネルギーコースとメカノデザインコースにわかれ、設計総合演習等を通じて専門性の高い知識を学びます。4年生では、各研究室に分かれ、1年間の卒論研究に取り組み、卒業論文を執筆して卒論審査会を経て卒業に至ります。卒業後は様々な産業界で活躍し、また大学院に進学してより専門性を高めることで活躍の幅を広げることもできます。

機械システム工学科

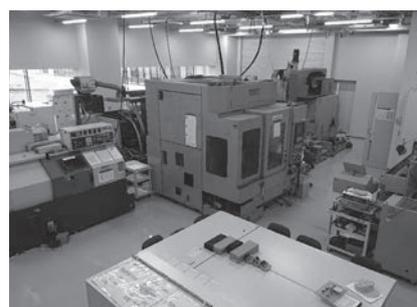
機械システム工学科は、「機械を動かす」ことを主に学ぶ学科です。まず、1年生は基礎科目を学びます。また、「ハイブリッド留学プログラム」に1年生希望者が参加しています。2年生では、機械の設計に関わる実践的演習に加え、機構学、材料力学、流体力学、3年生で熱力学、機械力学など機械工学の基礎知識を着実に身につけます。3年生では、さらにシステムの制御・プログラム言語も深く勉強を続けます。まとめである4年生では、研究室に分かれて、1年間卒業論文に取り組み、最終審査を経て卒業となります。卒業後は、大学で学んだことを基盤として産業界で活躍することになります。さらに大学院に進学してより専門性を高めることで活躍の幅を広げることもできます。



ものづくり支援センター「ふらっと」



CAM実習室



テクノクリエーションセンター

電気電子工学科

電気電子工学科は「エネルギー」「エレクトロニクス」「システム」の領域で活躍できる技術者・研究者の育成を目指しています。当学科の1年生は電気電子の魅力を経験的に学ぶ導入教育「PBL」で電気電子工学についての興味を深めるとともに、新入生が一日も早く友達を作り、グループワークに慣れることができるようにとの思いも込められています。2年生からは理論と実験を同時に学び、コンピュータを使いこなす能力も養います。3年生になると持続可能型高度情報化社会を支える電気電子工学の専門領域に進み、4年生は

学修内容

配属された研究室で卒業研究を行います。電気電子の分野で働くエンジニアは協調して仕事をする機会が多くありますので、実験・実習・卒業研究を通じて協調性を身につけることも目指しています。

当学科では学生さんが何を感じながら日常を送っているのかを学科のHPのタイムラインで紹介しています。左下の写真は10月に新宿キャンパスで行われた後援会のキャンパス見学会の様子です。在学生が参加いただいたご父母の皆様にご自分達がどんな研究に取り組んでいるのかをわかりやすく紹介しました。その時に学生さんがどのように感じたかといった生の声を載せています(右下)。

今後も学生諸君を様々な角度から育成して参りますので、ご父母の皆様からの変わらぬご理解とご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



後援会キャンパス見学会の様子



タイムライン(学科HPでの学生の活動紹介)

建築学部

建築学部は2011年4月に日本で初めて学科ではなく学部として始まりました。10年を経て、コロナ禍の2021年5月に「建築学部 これまでとこれから」と題したシンポジウムを開催し、全国の建築学部の学部長にリモートで集まっていただき情報を共有しました。それぞれの大学が建築教育に創意工夫をこらしていることや、建築文化の分野を横断して取り組んでいることがわかり、本学部のこれからの教育にも大いに刺激を受けました。こうしたイベントは、学内の学生はもとより全国の建築を学ぼうと考えている高校生にも広く解放しており、建築教育の裾野を広げる一助になったと考えています。そもそも建築は、建築構造、建築生産、建築環境設備といった工学的分野ばかりではなく、建築計画、都市計画などの社会科学的分野、建築史などの人文科学的分野、さらにはデザインなど感性に訴えかける芸術的分野に至るまで、極めて広い領域をカバーしております。よって、これらを統合化する能力の習得が大切です。就職先には設計や施工と言った狭い意味の建築分野に止まらず、デザインから都市設計まで幅広い領域を選ぶ学生が増えています。世の中のニーズに応え、未来を創る学生を輩出するため、本学部では建築の多様性を踏まえた3学科12分野を設置しています。

さて、コロナ禍は、建築学部の教育にも影響を与えましたが、現在では対面を中心として授業を実施しており、必要に応じてオンライン授業も併用する方法を採用しています。また、イギリスでホームステイしながら現地で本学の建築学部の教員が授業を行うハイブリッド留学も2年間休止しておりましたが、2022年度から再開しています。

2022年度からはデザイン教育だけでなく構造や設備の設計においても双方向の学びを蓄積し教育や研究に活かそうという先進的なデジタル教育をはじめており、また2024年度からは、デザインだけでなく建築学部のすべての分野に関わった設計教育と、建築における英語教育を新たにスタートさせました。建築学部を創設してからも継続的に新しい教育に取り組んでいます。

まちづくり学科

まちづくり学科では、地球規模の大きな社会状況の変化のもとで、これから私たちがより快適に住み続けられるための、まちの新しいあり方を考える様々な視点(つくり手・住まい手の両方からの視点)を学修・研究します。これには大きく4つの分野があります。都市デザイン分野、ランドスケープデザイン分野、安全・安心分野、環境共生分野です。今後のまちづくりにはどれも欠かせない重要な役割を持ちます。



まちづくり演習の成果

建築学科

建築学科では、安全で快適な生活の場を構築することを目的とした教育・研究を行います。建築をただ単に「つくる」だけでなく、これからの新しい建築のあり方を規定するための高度な要素技術です。それは従来からある基本的な4分野です。建築計画分野、建築構造分野、建築生産分野、建築設備分野を学ぶのが、この学科の特徴となります。



優秀卒業研究発表会の様子

建築デザイン学科

建築デザイン学科では、単に美しいだけではなく機能的にも優れ、快適で使いやすい、人間のための建築デザインとは何かを考え、新しいデザインを創造・発信していくことに主眼をおきます。また環境への配慮や人間生活の質(Quality of life)をも考慮した建築のあり方を学びます。

この学科は4つのデザイン系分野で構成されています。それは、建築デザイン分野、インテリアデザイン分野、共生デザイン分野、保存・再生デザイン分野です。どの分野も今後の日本の都市・建築の中で、重要な役割を持つことが見込まれます。



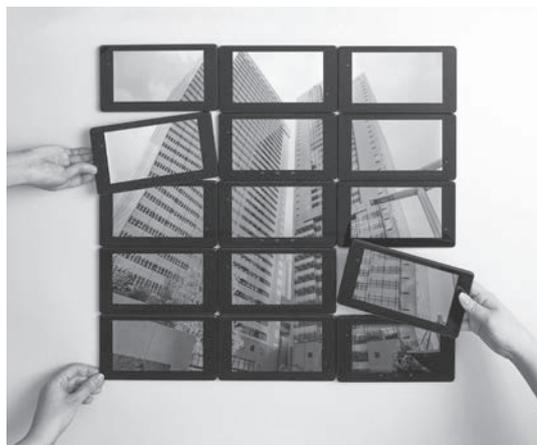
卒業デザイン審査会の様子

情報学部

情報通信工学科

2016年4月から情報通信工学科が工学部から情報学部に移り、情報学部4学科の一つとなりました。現在の情報化社会において、通信ネットワーク、サービス環境の変化・進歩に伴う生活スタイルは大きく変わっています。「ネットで検索」と言うように、インターネットは情報源としての地位を獲得し、携帯電話契約数はすでに総人口を超え、あらゆる世代の人たちの通信手段となっています。また、ICカードやセンサーなどのデータをネットワークで集め、生活や産業活動に活用するIoT(Internet of Things)の形成が猛スピードで進展しています。このような背景をもとに、当学科では最先端の「情報」と「通信」の技術を総合的に学びます。通信・ネットワーク分野はもちろんのこと、情報メディア、スマートデバイス技術も学びます。さらには、これらのネットワーク、デバイスを用いたシステムを実現するためのソフトウェア技術も習得します。「LINEやYouTube」、「スマートフォン」という身近な情報サービスや言葉がきっかけとなって入学する学生は多くいますが、具体的に何を学びたいかというところは非常に曖昧です。しかし、学ぶに従ってそれらを支える科学技術の広がりや奥深さを知ることになります。

さらに、当学科では実験やセミナーなどを通じ実践的な教育・研究を行い、将来は企業で活躍し社会に貢献できる学生を育てることをモットーとしています。また、無線従事者などの資格取得につながるカリキュラムも用意しています。このような実践的な教育の効果もあり、製造業・非製造業を問わず多種多様な業界から多数の求人を頂くに至っております。また、更に専門知識を深めスキルを向上したい方には、大学院への進学をお勧めしています。



無線通信で接続した複数タブレットで一つ大きい画像表示の様子

コンピュータ科学科

情報学部が2016年度から新たな体制に移行したのに伴い、コンピュータ科学科も、カリキュラムを一新して、コンピュータが生活のあらゆる基盤となっている現代社会のニーズに応えるべく、生まれ変わろうとしています。コンピュータ科学科では、画像処理、音情報など応用分野での新技術から、コンピュータをより高性能に利用する技術、さらに安全かつ安心なシステムを作るためのセキュリティに関する技術などを学びます。また、大学院情報学専攻では、情報学の修士、博士の学位を取得できます。学部で学んだ技術をさらに伸ばし、研究者としての基礎を徹底的に磨きます。総合電機メーカー等では従来から技術系の採用は修士修了生が中心となっていましたが、それ以外の情報関連企業でもその傾向は増えています。専門技術者として活躍したい方は、大学院進学を是非とも検討いただきたいと思います。



講義の様子(情報学実験)

総合電機メーカー等では従来から技術系の採用は修士修了生が中心となっていましたが、それ以外の情報関連企業でもその傾向は増えています。専門技術者として活躍したい方は、大学院進学を是非とも検討いただきたいと思います。

情報デザイン学科

情報デザイン学科は、情報自体はもとより情報社会そのものをデザインできる情報技術者の育成をめざす学科として設置されました。その後、新体制の情報学部の中で、情報技術の発展に合わせてカリキュラムの見直しを行うなど、情報学部4学科の一翼を担う学科としてさらなる発展に向けて邁進しております。

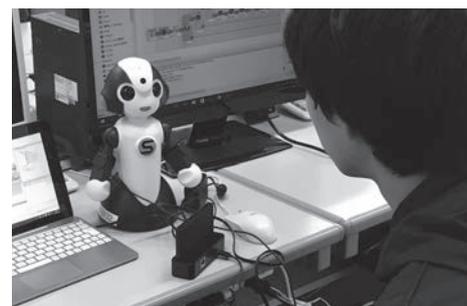
情報デザイン学科の全学生は、学部共通の情報学の基礎を固めた上で、それらを基盤として、本学科が掲げる3つの柱である「人間情報」、「知識情報」、「コンテンツ設計」の専門的理論や技術を修得します。その集大成として卒業研究では自分の専門を構築し、実践的な応用を経験することで、新たなものづくり、サービスの創出が可能な力を養います。また、日進月歩の情報技術分野で活躍できる一段上のレベルを目指し、得られた知識を用いて自ら新たな技術や理論を創出する力を培うために、大学院への進学を推奨しています。



音波を拡散させる音響メタマテリアルの試作とその測定
(音響デザイン研究室@無響室)

情報科学科(1～3年生)／システム数理学科(4年生以上)

情報科学科は、2023年度よりシステム数理学科の名称変更により新たにスタートしました。2024年度は1、2年生には新しい学科名称が適用されますが、3年生以上は卒業までシステム数理学科の名称で、これまでどおりに学べる体制が整えられていますのでご安心ください。情報科学科になっても、2016年度にシステム数理学科が新設されたときの重点項目である、データ科学、情報インフラ、経営情報の3領域は継続して学びの中心となっています。人工知能やデータ科学を実際の問題解決に適用できる力として、実行するための手段である情報インフラの知識とともに、実社会課題を理解するための経済・経営に関する知識を学び、IT業界はもちろんITを活用するあらゆる業種・事業領域で活躍できる人材を育成してまいります。また、大学院へ進学することで、実際に企業と一緒に問題解決する経験や学会発表の機会も増え、深い知見と即戦力を共に身につけることができます。



オープンキャンパスで展示した
会話ロボットの様子

3

大学の紹介

大学のカリキュラム及び履修案内

1. 大学で学ぶ

(必読)授業を受講する際の心得について

大学は「高等教育機関」と言われている場所です。人が生涯を通して「学ぶ」ために設けられた様々な教育機関の中で最も専門的に高度な内容を含みますので、義務教育で得られる以上の知識・技術を自らがすすんで修得するために自らが多くの選択肢の中から選択して通う場所であるともいえます。入学することを許可された皆さんは、大学生・大学院生として大学の設定したカリキュラムに沿った学びを行い、一定の要件を満たすことで学修内容を修得した、と見なされます。それを最終的に証明するのが学士、修士、博士などの学位(いわゆる卒業証書、修了証書)です。

これを満たすため、大学からはアドミッションポリシー(AP)、カリキュラムポリシー(CP)、ディプロマポリシー(DP)をそれぞれの段階に応じて示しています。工学院大学のこれらのポリシーが何を示しているか、具体的な内容は下記で確認してください。

教育方針(3つのポリシー) : <https://www.kogakuin.ac.jp/about/policy/index.html>



「大学とは自ら学びに来た場所である」

このことを前提として、授業への出席、単位修得などについて、下記を再度確認しましょう。

■単位を修得するための学修について

大学において、皆さんが授業科目の単位を修得するためには必要な学修時間が設定されており、それを満たしていただくために毎週あるいは集中した日程での授業が実施されています。

さらに重要な点として、単位を修得するためには必要な学修時間を「量」として満たすだけでなく、「これだけのことができている」という学修の「質」が求められており、それを確認するために、試験やレポートなどが課されています。皆さんが学んだことを、さまざまな形で社会に担保することが大学の責任であり、一般に「質保証」として示す「義務」が課されています。

「授業に出席する」ことは皆さんが必要な学修時間を満たし、学修到達目標を達成するために、欠かすことのできないことであり、皆さんはその「権利」を持っています。

■授業に出席できない時には

授業を欠席することで学んだ内容の保証ができない場合がありますが、その場合は別の手段で学びを補うことが必要です(資料での自己学修や質問等での積極的な修得。あるいは再履修で学びなおす、など)。

どうしても授業を欠席しなければならない事由(例えば、出席しないことが求められる指定感染症や通常の風邪でも症状が重いつき、忌引きなど)もあるでしょう。

その場合には必ず授業の担当教員に相談してください。例えば、欠席した授業回の内容を自己学修で補うための資料を提供してもらおうなど、教員の指示に従って、必要な学修を積み残してしまわないよう、皆さん

自身が行動することが求められています。

ただし、特殊な機器の利用、複数人での学びが必要なPBLなどの演習・実習・実験科目などの学修は個人の予習復習では補いきれません。これらに安易に欠席することのないよう、日頃の体調管理にも気を付けてください。

繰り返しますが、必要な内容を理解しない、学修しないまま学修成果が単位として保証されることはありません。欠席はしたが理由があるので「出席」に変えてくれ、という依頼があることがありますが、これは自ら学びの権利を放棄したことになり、また、そのような対処をしたところで学修成果が保証されないことに注意してください。

■担当教員への相談方法について

やむを得ない理由で授業を欠席しなければならない場合に、授業を担当する教員に何らかの資料提供などを個別に依頼したい場合は、下記の項目が明確になるように連絡しましょう。

- ・科目名 ・欠席する日付 ・欠席理由
- ・相談内容(例としてCoursePower上の当日限定資料の後日閲覧設定、録画の視聴が可能か、など)

これらをメール等で科目担当教員に確実に伝えて下さい。その際、欠席理由がやむを得ない事由であるかどうか?が解るように証明書類等を添えるといいでしょう。ただし、例えば実習や演習形式の授業など、授業の性質によっては欠席分を自己学修ではカバーできない場合もあります。繰り返しますが、欠席についての連絡や相談をしたからといって、出席扱いになるということはありません。必ず担当教員へ相談の上、指示に従ってください。

なお、欠席が2週間を超える場合は、科目が多数に及ぶことや連絡が取りづらい状況になることも考えられますので別途欠席連絡フォーマットを用意しています。詳細は学生センター(教務課・学生支援課)までお問合せください。

1 単位制度と学修時間

1. 単位とは何か

すべての授業科目には単位数が設定されています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量(時間)を数値で示したものです。「1単位の授業科目」は「45時間の学修を必要とする内容」をもって構成することが標準となっています。学修時間には授業時間だけではなく、予習・復習等教室外での自主学習時間も含まれます。

2. 単位と授業時間

各授業科目の単位数は大学設置基準に準拠の上、工学院大学学則により1単位の履修時間を授業時間および自主学習時間を合わせて45時間とし、授業の方法に応じて次のように規定されています。

[1単位に要する授業時間]

授業種別	授業時間	自主学習時間
講義	15時間	30時間～
演習・外国語科目・実験・実習・実技	30時間	15時間～

工学院大学学則に基づき、各授業科目の授業は15週にわたる期間を単位として行いますが、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることが認められる場合はこの限りではありません。

学修内容

3. 単位修得

単位の修得には、次の2点を満たすことが必要です。各授業科目の評価方法は、シラバスに記載されています。

- ① 各年度に開講される授業科目の登録を行うこと
- ② 登録した科目を履修し、予習・復習時間を含めた学修に対して評価(定期試験・レポート課題・平常点評価など)を受け、合格評価を得ること。

各科目で十分な学修成果をあげ、単位を修得するためには、単位数と学修時間の関係を理解することが大切です。

授業時間内の学修だけではなく、自主的な予習・復習を心掛ける必要があります。

4. 授業時間

授業時間は次のとおりです。

<通常>

1時限目	2時限目	昼休憩	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
8:30-10:00	10:10-11:40	11:40-12:30	12:30-14:00	14:10-15:40	15:50-17:20	17:30-19:00

<一部の2・3限連続授業> (詳細は担当教員に確認すること)

1時限目	2時限目	3時限目	昼休憩	4時限目	5時限目	6時限目
8:30-10:00	10:10-11:40	11:50-13:20	13:20-14:10	14:10-15:40	15:50-17:20	17:30-19:00

5. 履修登録できる単位数の上限(CAP制)について

① CAP制の趣旨

CAP制とは、1年間に履修登録できる単位数の上限を設けている制度のことであり、この上限を超える履修登録はできません。授業科目に設定されている単位は、すでに述べた通り1単位につき45時間の学修時間(授業時間と自習時間<予習・復習にあてる時間>を含む)が必要です。よって、履修した科目数に比例して、それぞれに必要な学修時間も増えることとなります。履修登録できる単位数を制限することは、履修する科目について十分な学修時間を確保することができるよう、また学修した内容を真に身につけられることを目的としています。

② 履修登録の上限単位数

履修登録の年間上限単位数は、原則として49単位(前期・後期・1～4Q、通年科目の合計)です。夏期・春期等の集中授業は含めません。

③ CAP制の特例措置

以下のとおり特例措置を設けます。

(1) 通算GPAが高い学生に対する特例措置

前年度末日までの成績によって算出された通算GPAが3.5以上かつ前年度修得単位数が40単位以上の者→年間59単位まで履修登録を認めます(+10単位)

※前年度修得単位数は、前期・後期・1～4Q・通年科目のみ(他大学科目は含まない)で算出します

※特例の対象となるかは学生ポータル「キューポート」で確認が必要です

(2) 教職科目(教職に関する科目*)及び学芸員課程の科目に対する特別措置

・教職課程必修科目(教職に関する科目のみ)は上限単位数に含めません

※2019年度以降入学生は「教育の基礎的理解に関する科目等」と「各教科の指導法に関する科目」を指す

・学芸員課程必修科目は上限単位数に含めません

2 教育課程

本学の教育課程は、工学の原理と応用を学び専門的な職業人になるとともに、幅広い教養をもった社会人になることを目的として、総合教育科目群および各学科の専門共通科目群・専門科目群を合理的・有機的に系統づけた授業科目の構成となっています。この他に、教員免許状の修得を希望する学生のために教職課程が、また、学芸員の資格取得を希望する学生のために学芸員課程が設置されています。

1. 授業科目の区分

入学年度の学生便覧にある各学科カリキュラム表(学則別表第1)及び進級・卒業条件表(学則別表第5)で確認できます。また各学科カリキュラム表の学位授与の方針には、各科目を履修することで身につく4つのディプロマポリシー(学位授与の方針)の割合を示しています。ディプロマポリシーの詳細は、ホームページで確認できます。

2. 授業科目の種別

授業科目の種別	種別説明
必修科目	教育目的を達成するために必ず単位の修得を要する科目
選択必修科目	指定された科目群の中から科目を選択し、決められた単位数以上の修得を要する科目
選択科目	学生の自由意志により選択し、卒業条件などで定められた単位数を満たすために一定以上の修得を要する科目

3. 学年

各学科のカリキュラム表には標準履修学年が示されています。自身の履修学年より上の標準履修学年科目は原則、履修することはできません。

4. 履修期の種類

履修期の種類は以下の通りです。

4月～		9月～	
通		年	
前	期	後	期
1Q(前期の前半)	2Q(前期の後半)	3Q(後期の前半)	4Q(後期の後半)

注1) 詳細については、大学授業日程を確認すること

注2) 1～4Qの授業は原則として、各8回とする

注3) 前期および後期の授業は原則として、各15回とする

3 卒業のために必要な条件

本学を卒業するためには、学則に則り、修業年限を満たし、学部・学科ごとに定められた卒業要件に必要な単位数を修得する必要があります。

1. 修業年限と在学年限、学籍

- ① 修業年限とは、教育課程を修了して卒業するために必要な年数で4年間の在学年数を必要とします。休学期間は在学年数に含まれません。
- ② 在学年限とは、本学に学生として在学できる最長年数のことで、休学期間を除き8年です。
- ③ 学籍とは、本学の学生としての身分を有することをいいます。
学生は、入学と同時に学籍が得られ、卒業・退学・除籍により消滅します。

2. 卒業に必要な単位

学則に定める卒業要件を満たしていなければ、卒業は認められません。

卒業に必要な単位数の詳細は、入学年度の『学生便覧』に記載されています。

2. 履修登録

1 履修登録とは

単位を修得するためには、事前に受講科目の登録が必要です。このことを履修登録といいます。

「学生便覧」「授業時間割表」「履修の手引き」「シラバス」をもとに計画を立て履修登録をしなければなりません。定められた履修登録期間に履修登録を怠ると、授業を受けることができず、単位も修得できなくなるので注意してください。

2 履修準備・計画と登録方法

大学における学修が高校時代までの学修と根本的に異なるのは、学生自らが履修計画を立て、自主的に授業を受けていく点にあります。「カリキュラム表」で受講すべき授業科目を選んで履修計画を立て、「進級・卒業条件表」の条件を満たすように単位を修得していく必要があります。履修登録の方法については、「履修の手引き」で諸注意事項などを確認し、指定された期間内に「キューポート」で必ず登録してください。

3 科目名表記の注意点

科目名に数字やアルファベットの標記がある科目は、以下の定義に従っています。

科目名	定義	修得する順序
○○○○1、2、…	ステップアップ科目	修得順が必須である
○○○○ I、II、…	科目のレベルを示す	修得順が必須でない
○○○○A、B、…	科目のレベル差がない	修得順が必須でない

4 大学院科目の履修

本学大学院進学を予定している4年次生に大学院の開講科目を、先に履修することができる先行履修制度があり、概要は以下の通りです。[学部学生の大学院科目先行履修制度に関する内規より抜粋]

対象者

学部4年次在学中で「卒業論文」、「卒業研究」、「創造工学セミナーⅡ」に着手している者

希望者の選考および受講許可

詳細は「キューポート」に3月頃掲出予定の掲示で確認してください。

履修登録

学部在学中に先行履修できる大学院科目は15単位を上限とする。所定の履修登録期間以外での科目の変更・追加・取消は認めない。

受講料

無料

3. 授業

1 授業形態

授業は、LMS(学修支援システム、本学ではCoursePowerという)等を有機的に組み込んだ対面授業・遠隔授業を行います。授業形態の詳細は履修の手引きを、各授業の詳細内容についてはシラバスで確認できます。

授業形態	特徴と注意点	時限	受講形態
①対面 時間割上の曜日時限に担当された教室における対面の授業をベースとする* 時間割表記: [対面]	<ul style="list-style-type: none"> ・教室／実験室等で実施される ・出席の際は教室備え付けの出席端末リーダーにタッチすること ・基本、対面授業だが一部の授業回を遠隔で実施することもあるので教員の指示に従うこと 	2～5限	対面
②ハイブリッド 時間割上の曜日時限に担当された教室にて実施し、オンラインツールを用いて同時配信を行う* 時間割表記: [ハイ]	<ul style="list-style-type: none"> ・対面で受講するときは、教室備え付けの出席端末リーダーにタッチすること ・遠隔受講の場合の要件(受講場所を問うか、問わないかなど)は各回の授業で指示があるのでそれに従うこと ・遠隔受講の出席確認方法は教員の指示に従うこと 	2～5限	対面／遠隔
③遠隔(同時双方向) すべての授業を時間割上の曜日時限にオンラインツールを用いて実施する* 時間割表記: [遠隔(同)]	<ul style="list-style-type: none"> ・受講要件(受講場所を問うか、問わないかなど)は各回の授業で指示があるのでそれに従うこと ・出席確認方法は教員の指示に従うこと 	2～5限	遠隔
④遠隔(オンデマンド) 音声付パワーポイント教材や録画した映像授業を定められた期限までに受講する 時間割表記: [遠隔(オ)]	<ul style="list-style-type: none"> ・1限または6限に配置されているが、その時限に受講する必要はない ・一つの時限に複数の授業を履修可能 ・受講や課題・小テストの期限は受講方法説明書の記載や教員の指示に従って対応すること ・課題は定められた期限までに提出すること ・質問は教員の指示に従っておこなうこと ・出席確認方法は教員の指示に従うこと 	1限 または 6限	遠隔

*オンデマンドEXを除く

2 授業への出席

履修科目の授業には、毎回出席しなければなりません。単位制の基本となる授業時間について定めがあるように、出席状況は成績評価の前提条件です。対面授業においては、出席時に教室にあるカードリーダーに学生証をかざして出席登録をしてください。遠隔授業においては、別途授業担当教員の指示に従うことになっています。

3 休講・調整・補講・授業時間割の変更について

(1) 休講

休講の場合は、事前に「キューポート」の掲示で周知します。

休講の掲示がなく、40分経過しても授業が行われなかった場合は教務課で確認してください。

(2) 補講

補講とは休講等に対する措置として行う授業であり、臨時で行われます。実施については「キューポート」の掲示で周知します。

(3) 授業時間割の変更

授業の曜日・時限・教室・担当教員に変更がある場合は、事前に「キューポート」で周知します。

4 緊急時の授業措置

緊急時の授業措置は、下記(1)交通機関が不通の場合、(2)暴風(雪)警報または大雨(洪水)警報の場合、(3)その他の緊急事態の場合を基準に判断するが、あくまで学長が決定します。休講が決定した場合は、大学ホームページや「キューポート」で周知します。休講の通知がない場合は、原則として授業は実施します。

(1) 交通機関が不通の場合

【新宿キャンパスの場合】

首都圏のJRおよび新宿に乗り入れている私鉄の大半が長時間に渡って不通の場合、休講となる可能性があるため、ホームページや「キューポート」を確認してください。

【八王子キャンパスの場合】

以下の路線のうち、いずれかの路線が不通となった場合は休講となる可能性があるため、必ずホームページや「キューポート」を確認してください。

- ・JR中央線(立川～八王子間)、京王線(京王八王子～調布間)が両方とも不通となった場合
- ・横浜線(八王子～橋本間)が不通となった場合
- ・西東京バス(工学院大学～JR八王子・京王八王子間)が不通となった場合

※1路線が短時間不通となった場合は、授業を休講とはしません

(2) 暴風(雪)警報または大雨(洪水)警報の場合

新宿キャンパスは東京23区、八王子キャンパスでは多摩南部に、暴風(雪)警報または大雨(洪水)警報が発令された場合には、授業が休講となる可能性があります。また、警報等が解除されても交通機関に影響が出ている場合は、(1)交通機関が不通の場合、の措置を適用するのでホームページや「キューポート」で確認してください。

授業実施中に警報が発令された場合、授業の継続・中止の判断は学長が行うとともに、学内の緊急放送および「キューポート」等で周知します。

学修内容

なお、自宅付近の気象情報を十分に注意し、危険が伴う場合は無理に登校せず、自身の安全を確保すること。この場合は事後で構わないので、授業担当教員に報告してください。

(3) その他の緊急事態の場合

上記以外の緊急事態の場合、学長の判断で決定します。

5 単位互換制度

単位互換制度とは他大学等の単位を一定の範囲内で自大学の単位としてみなし得る制度のことで、本学には二つの単位互換制度があります。

東京理工系四大学 単位互換制度

工学院大学、芝浦工業大学、東京電機大学および東京都市大学の四大学は、「東京理工系大学による学術と教育の交流に関する協定」に基づき、1999年度から単位互換制度を設けました。これは、各大学で開設している授業科目を他の三大学の学生に対して門戸を開放する単位互換制度で、単位互換開放科目として履修できます。なお、大学によっては受講を制限する科目および受講者数を制限する科目があるため、教務課の窓口で履修相談してください。

大学コンソーシアム八王子 単位互換制度

本学は大学コンソーシアム八王子に加盟しており、大学コンソーシアム単位互換協定に加盟している大学等の講義を履修できます。大学によって開講科目が定められているので、詳細は教務課の窓口で履修相談してください。

①履修について

項目	摘要
対象学部・学科、学年	本学学部生全員が対象
履修許可する単位互換開放科目	東京理工系四大学 他大学の単位互換開放科目。本学カリキュラム科目と同名称または類似科目でも履修可能。ただし、他大学第二部の単位互換開放科目を履修し、単位を修得しても、卒業に必要な単位数には換算されないので注意すること。
	大学コンソーシアム八王子 原則、他大学が提供するすべての科目を履修可能。本学カリキュラム科目と同名称または類似科目も履修可能。
単位互換開放科目の人数制限	東京理工系四大学 1科目3名まで
	大学コンソーシアム八王子 制限なし
履修可能な授業科目数の上限	当該年度当たり4科目*まで *東京理工系四大学と大学コンソーシアム八王子の合計値であることに注意
履修許可の責任者	所属する学科の学科長
履修登録時期	前期科目の場合は4月上旬、後期科目の場合は9月中旬ごろに「キューポート」で案内を出すので、内容をよく確認すること。
聴講料等	聴講料、入学検定料、入学金等は免除。ただし、実験・実習等で特別にかかる費用は実費徴収とする。

②単位認定について

受け入れ大学からの成績評価に基づき、本学で単位認定を行います。

単位認定された科目は、卒業に必要な124単位の内数として算入できます。

ただし、学科の指定がある場合には卒業・進級に必要な単位数として加算されないことがあるので、進級・卒業条件表に記載されている内容を必ず確認してください。

6 単位認定型インターンシップ

インターンシップは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」であり、教育の改善・充実および学生の学習意欲の喚起、高い職業意識の育成などの意義を有するものです。

種別 項目	インターンシップA	インターンシップB	学外研修
履修学年	1～2年生		3年生
単位	1単位	2単位	2単位
実施期間	5日間以上	10日間以上	10日間以上
実施時期	プログラムによって異なる。		原則として夏期休暇中に行う。
履修登録等	説明会を開催する(日程等はキューポート/掲示を確認すること)		

4. 試験

1 試験について

授業科目の成績を評価し、単位を認定する方法として試験を行います。試験には科目試験と卒業論文試験とがあります。

科目試験のうち、学期末に実施するものを定期試験としますが、本学には次の二種類があります。

1. 合同定期試験

複数の教員が合同で担当する同一科目やオンデマンド科目等で、年間学事日程で指定される試験期間内に実施する試験です。

2. 学期末筆記試験

個々の教員が、学事日程上予め設定された週に実施する試験です。

ただし、授業科目によっては授業中随時行う試験もあります。授業科目の成績評価は主にこれらの試験によって行われますが、設計・実験・製図・演習などの授業科目の成績評価は、平常の成績によって行われることがあります。

卒業論文試験は、論文、計画、実験報告などについて随時行われます。

2 成績評価方法の確認、試験情報(特記事項)の公表

単位の認定および成績評価方法については、シラバスを確認してください。また、試験に関する特記事項および受験条件が指定されている場合があるので、試験前には授業内でのお知らせや「キューポート」掲示をよく確認してください。シラバスも「キューポート」から閲覧できます。

5. 成績と単位の認定

1 成績評価について

試験の結果に基づき、科目担当教員は下表にしたがって成績評価を行います。

Grade (評価)	評価基準	Grade Point (GP)	合否
A+	到達目標に達しており、非常に優秀な成績をおさめている	4	合格
A	到達目標に達しており、優秀な成績をおさめている	3.67	
B	到達目標に達しており、良好な成績をおさめている	3	
C	到達目標に達している。	2	
D	到達目標に達しているが、習熟を確実にするために再度受講することを推奨する	1	
F	到達目標に達していない	0	不合格

2 GPAについて

1. GPA(グレード・ポイント・アベレージ)について

本学では、学生が自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学修への取組みに役立つよう、科目の成績評価の平均を数値で表したGPA(Grade Point Average/グレード・ポイント・アベレージの略)を算出しています。GPAは学修の質を評価する成績評価の国際標準となっており、合格した科目だけではなく不合格科目も算出対象となるのが大きな特徴です。したがって、学生には自らの履修(履修登録を含む)に対して、より真剣に取り組むことが求められます。算出したGPAは、キューポートの成績照会メニューに掲載します。

2. GPAの種類(2種類)

- ①通算GPA：入学時から更新日までの成績評価の平均値
- ②単年度GPA：当該年度の成績評価の平均値

3. GPAの計算式

- ① 通算GPA =

$$\frac{\{(A+\text{の単位数} \times 4) + (A\text{の単位数} \times 3.67) + (B\text{の単位数} \times 3) + (C\text{の単位数} \times 2) + (D\text{の単位数} \times 1) + (F\text{の単位数} \times 0)\}}{\text{入学時から成績評価(不合格を含む)が確定した科目の総単位数〔同一科目は1回分を算入〕}}$$

入学時から成績評価(不合格を含む)が確定した科目の総単位数〔同一科目は1回分を算入〕

- ・計算日時点で成績が確定した科目のみ計算対象とする。
- ・小数点以下第3位を四捨五入する。
- ・「不合格科目」の単位数は分母・分子両方に含む。
- ・「再履修・リピートした科目」の評価が従前より高くなった場合、低い評価の単位数は分母・分子両方から除外し、高い評価のみを分母・分子両方に含む。
- ・「再履修・リピートした科目」の評価が従前より低い、もしくは同じ評価となった場合の単位数は分母・分

学修内容

子両方から除外する。

- ・「教職課程の教職に関する科目、学芸員課程の必修科目などの卒業に必要な単位数に算入されない科目」の単位数は分母・分子両方から除外する。

② 単年度 GPA =

$$\frac{\{(A+\text{の単位数}\times 4)+(A\text{の単位数}\times 3.67)+(B\text{の単位数}\times 3)+(C\text{の単位数}\times 2)+(D\text{の単位数}\times 1)+(F\text{の単位数}\times 0)\}}{\text{当該年度に履修登録した総単位数}}$$

- ・計算日時時点で成績が確定した科目のみ計算対象とする。
- ・小数点以下第3位を四捨五入する。
- ・「不合格科目」「再履修・リピートした科目」「再履修・リピートする前の科目」の単位数は分母・分子両方に含む。
- ・「教職課程の教職に関する科目、学芸員課程の必修科目などの卒業に必要な単位数に算入されない科目」の単位数は分母・分子両方から除外する。

4. GPAの更新時期

①通算GPA = 毎年度9月30日及び3月31日

②単年度GPA = 毎年度9月30日及び3月31日

5. 科目振替時の評価方法

科目名称の変更により、入学年度のカリキュラム表にあった科目が履修できなくなった場合、名称変更後の科目(振替元科目)を修得することで旧名称科目(振替先科目)を修得したとする「科目振替」が行われます。原則科目振替時には、振替元科目の評価が振替先科目の評価として採用されます。

なお、科目振替の対象科目については別途「科目変遷表」で確認してください。

6. 編入学者・再入学者の評価方法

入学前に本学もしくは他大学等で修得し、本学で単位認定された科目の評価はGPAの計算に算入しません。

※ただし、再入学者のうち、GP評価されていた科目については算入します

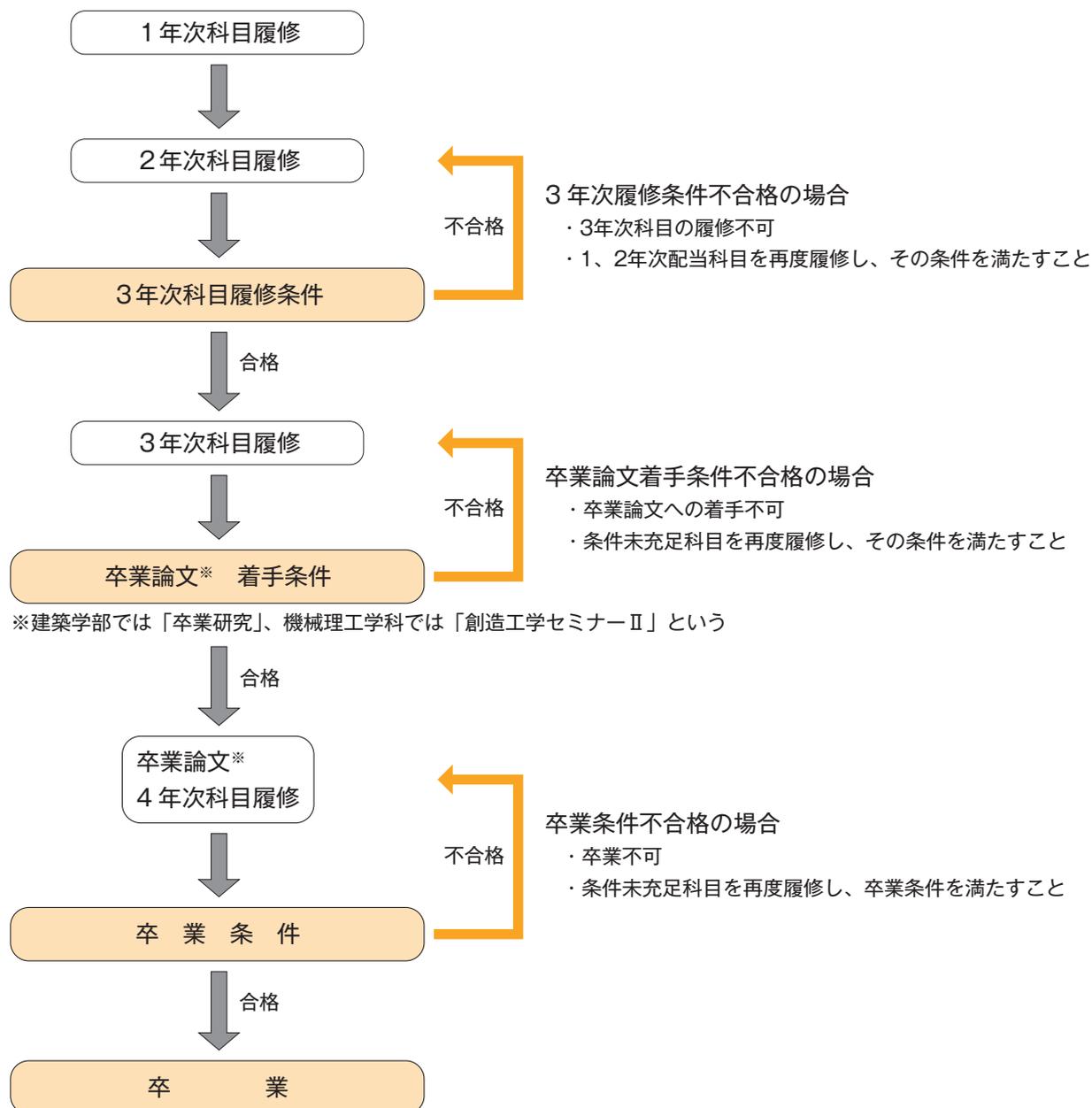
3 成績通知について

学生は成績は「キューポート」の成績照会メニューで確認が行えます。

成績発表時期(年4回)については「キューポート」掲示にて周知します。

6. 卒業までの履修規定

1 入学～卒業までのステップ



2 3年次科目履修条件

3年次の科目を履修するためには、2年以上在学し、各学科が定める修得単位数を満たしていることが条件となり、規定単位数に満たない場合は3年次科目の履修が認められません。ただし、本条件の充足に係わらず年度終了毎に学年は進級します。3年次科目履修条件は各学科で異なるので、必ず入学年度の進級・卒業条件表を確認してください。

3 卒業論文着手条件

卒業論文・卒業研究・創造工学セミナーⅡに着手するためには、各学科が定める修得単位数を満たしていることが条件となり、規定単位数に満たない場合は履修が認められません。ただし、本条件の充足に係わらず年度終了毎に学年は進級します。卒業論文着手条件は各学科で異なるので、必ず入学年度の進級・卒業条件表を確認してください。

4 卒業条件

卒業するためには、学則に定める修得単位数を満たしていることが条件となります。卒業判定は4年後期末に実施されます。この時に条件を満たせない場合は、条件を満たすまで各年度の前期末と後期末に判定します。

5 卒業および学位

本学を卒業した者に授与する学位は、次のとおりです。

学 部	学 位 名
先進工学部	
生命化学科	学士(工学)
応用化学科	学士(工学)
環境化学科	学士(工学)
応用物理学科	学士(工学)
機械理工学科	学士(工学)
工学部	
機械工学科	学士(工学)
機械システム工学科	学士(工学)
電気電子工学科	学士(工学)
建築学部	
まちづくり学科	学士(建築学)
建築学科	学士(建築学)
建築デザイン学科	学士(建築学)
情報学部	
情報通信工学科	学士(工学)
コンピュータ科学科	学士(情報学)
情報デザイン学科	学士(情報学)
情報科学科	学士(情報学)

6 本学で取得できる、あるいは、受験資格の優遇措置を受けている免許・資格一覧

国：国家資格、学：大学独自プログラム、民：民間資格
 ◎自学科で取得できる【国家試験】の内、無試験で取得できる免許状
 ●自学科で取得できる資格 ▲他学科履修することで取得できる資格

種別	学校認定	免許・資格	先進工学部			工学部			建築学部			情報学部			備考	
			生命化学科	応用化学科	環境化学科	応用物理学科	機械理工学科	機械工学科	機械システム工学科	電気電子工学科	まちづくり学科	建築学	建築デザイン学科	情報通信工学科		コンピュータ工学科
国	■	中学校教諭一種	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	卒業と同時に免許取得可 教職課程の手引参照
国	■	高等学校教諭一種	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	卒業と同時に学芸員資格証明書 を発行可 学芸員課程の手引参照
国	■	学芸員	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	卒業と同時に学芸員資格証明書 を発行可 学芸員課程の手引参照
学	■	数理・データサイエンス AI教育プログラム (リテラシーレベル)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	所定の科目を修得することにより、 修了証が発行される
学	■	数理・データサイエンス AI教育プログラム (応用基礎レベル)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	所定の科目を修得することにより、 修了証が発行される
民	■	社会貢献活動支援士	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	●	▲	▲	▲	受験資格を付与 ▲他学科履修で可能
民		FE (Fundamentals of Engineering)	●	●	●	●	●	●	●							受験資格を付与
民	■	情報セキュリティ 内部監査人能力認定	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	指定講義を受講し、試験に合格、 申請によって認定書交付
国	■	電気主任技術者 (第一～三種)							◎							実務経験に応じ免許状交付可
国		第二種電気工事士							●							筆記試験免除、技能試験のみで可
国	■	無線従事者 (学校認定) ・第一級陸上無線技術士											●			第一級陸上無線技術士の試験科目のうち、「無線工学の基礎」が免除 ※上記により、以下国家資格の試験についても「無線工学の基礎」が免除 ・第一級～三級総合無線通信士 ・第二級陸上無線技術士 ・第一級・二級海上無線通信士
国	■	無線従事者 (長期型) ・第一級陸上特殊無線技士 ・第三級海上特殊無線技士											◎			在学中に無試験で免許申請可
国	■	電気通信主任技術者							●				●			試験科目のうちの1科目「電気通信システム」が免除
国	■	一級建築士 二級建築士 木造建築士								●	●	●				卒業後、実務経験0年で受験可
国	■	施工管理技士※ (建築、電気工事等)			●			●	●	●	●	●				1級は3年以上の実務経験、2級は1年以上の実務経験で受験可 ※
民	■	インテリアプランナー								●	●	●				試験に合格すれば、卒業後実務経験0年で登録可能
民	■	商業施設士 (補)								●	●	●				所定の科目を修得+1日の講習会受講で資格が取得可
国		建築設備士						●	●	●	●	●				●実務経験2年で受験可 ▲一定の科目を履修していることが確認できれば受験可
民		設備士 (空調調和・衛生工学会)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	実務経験0年で受験可
国	■	食品衛生管理者		◎												卒業と同時に修了証を発行
国	■	食品衛生監視員		◎												卒業と同時に修了証を発行
国		危険物取扱者 (甲種)	●	●	●											一定の科目を履修していることが確認できれば受験可能
国		毒物劇物取扱責任者	◎	◎	◎											卒業することで有資格者になれる (申請が必要)

※施工管理技士に関する学校認定による優遇措置は、国土交通省の発表にて、主に令和6年度以降入学生に対し変更がされています。詳細は以下をご確認ください。建設産業・不動産業：「施工技術検定規則及び建設業法施行規則の一部を改正する省令」等について - 国土交通省 (mlit.go.jp)

4

大学の紹介

学生生活の案内

修学サポート

学習支援センター

●学習支援センターとは

大学生活で勉学上の悩みはつきものです。近年は高校の履修科目の選択の幅が増えており、数学で微分積分を習わなかった、物理あるいは化学を履修しなかったなどの理由で、授業についていくのが大変だという学生が増えています。学習支援センターでは、4つの基礎科目(数学・物理・化学・英語)を中心に、不安を持つ学生の学習をサポートしており、1年生が所属する八王子キャンパスに設置されています。

[基礎講座] 高校時に十分習得できなかった科目と大学の講義内容とを有機的に結び付け、大学での学習内容を理解するために必要な基礎を一から少人数クラスで授業します。

[個別指導] 学生一人ひとり(グループでも対応します)の疑問にセンター講師が個別でお答えします。それぞれの学生に適した指導を受けられます。

学習支援センター 八王子キャンパス2号館3階

URL <https://www.kogakuin.ac.jp/student/campuslife/gscenter.html>

●利用実績と成果

センターのサポート無しに順調に大学での勉強を成功させている学生もいますが、実際には約半数の学生が1回以上利用した経験があります。

特に1年次での利用が効果的で、勉強に不安のある学生は毎週1回以上通うのが理想的です。センターの利用回数と入学時の習熟度テストや1年次に基礎的な科目の成績、その後の卒業状況とを比較した調査から、高校未履修関連の科目や苦手科目であっても、センターをくりかえし利用して真剣に勉強すれば、十分に克服できる事が示されています。たとえ1年前期で不合格となってしまった科目でも、1年後期にセンターを利用して勉強すれば、入学時の習熟度の差を埋めて合格する割合が劇的に上がります。

逆に3年生になってから慌てて利用したのでは、効果は限定的にしか現れません。TOEIC®受験対策などの特定の目的を除いて、センターの支援を受けるのはできるだけ1年生のうちから始め、2年生までに終了するのが理想的です。

●大学と学習支援センターとの連携

講師はセンター専属なので、プロフェッショナルとしてセンターの学習支援活動に専念しています。大学院を出て間もない若手から、高校や大学で長らく教鞭をとったベテランまで、また企業で研究・教育にあたった事のある者や、長い海外生活を経験した者など、実に多彩な人材が集まっており、学生の多様なニーズに応えられます。

勿論センターも大学の一組織ですから、工学院大学での学修を成功させるという目的意識は通常の授業担当の先生方と共通です。目の前の問題の正解や授業単位といった短絡的な目的意識に陥りがちな学生に対しても、より長い目で見て必要な目標を示唆しながら指導を行っています。学生の成績状況や個別事情も把握しながら指導にあたり、センターでの学生の細かな様子にも気を配って適宜正規授業担当の先生にもフィードバックするという相互連携体制で、学生の学修を成功へと導きます。



●大学での勉強を成功させるには

大学では高校よりも高度な勉学をするというのは当然ですが、それは単に問題が複雑になるというだけでなく、理解の度合いや学習目標も高く設定されています。センターに相談に来る学生の中には、高校までの学習目標に適応し過ぎた結果、大学で要求されるより高度な学習目標になかなか気付かず、高校までと同じ勉強法を続けようとして逆に失敗する者も見受けられます。

授業では、単に物事を「知っている」というレベルだけでなく、「理解できる」とか「考えられる」というレベルまでもが多く要請されます。「答えを教えてもらう」「やり方を教えてもらう」という勉強法に慣れ切っていると、結果やそこへ至る手順を覚える事には意識が行っても、自らの頭で考えられてはいないという状態に留まってしまい、いつまでも誰かに依存し続ける事になってしまいます。自力で解決できるようになる為には「自分でも納得する」という事が必要である事に、1年生の早い段階で気付いてもらいたいものです。そして理解した後では、「自分の考えを他人に説明できる」ことが要請されます。理解があいまいでは、上手く相手に伝わりません。試験では自分の考えが採点者に伝わらなければ得点になりませんし、社会に出てからでは相手を説得出来なければ役に立ちません。何が議論の出発点なのか、何と何から結論が導かれるのかを整理して、科学的に考えそれを相手に伝える事が大切です。その為のスキルを大学で身に付けているのだという事を、早い段階で自覚して欲しいと思います。

勉強に取り組む姿勢についても、大人としての自主性を身に付けてもらわなければなりません。「用意されたカリキュラムを受けさせられている」という状況から脱却し、「自ら選んだ時間割で授業内容を積極的に吸収して行こう」と思える意識への転換が必要です。知る事・理解する事で自らの成長を楽しむ事ができれば、自然に自主性が芽生えて来るものです。

センターでは専属講師が学生一人ひとりの躓きの原因を見抜いて指導します。学生へは勉強内容のみならず、大学あるいは社会人になってからも必要な学習法の相談・指導を行っていきます。

学術情報センター 工手の泉

DXに対応した学修環境の整備、並びに電子化が加速する学修リソースへのアクセス支援を行うため、本学では「学術情報センター工手の泉」が中心となり、研究・学修に必要なICT基盤(ネットワーク、情報機器など)や、情報メディア(図書、電子書籍など)の提供を行っています。

◆施設の概要

《新宿》

高層棟14階:受付・事務室、Izumi11(演習室・授業利用)、Izumi12(授業利用)

Izumi13~Izumi14(自習利用)

高層棟16階:Izumi15(演習室・授業利用)、Izumi16(授業利用)

高層棟10階:Izumi17(演習室・授業利用)

学生生活

中層棟2階:ICT 機器を備えた学修・交流の拠点となるフロア

中層棟3階:情報メディアの提供と共に、個人学修用のブースを備えたフロア



《八王子》

15号館地下1階:受付・事務室、Izumi01～Izumi03(演習室・授業利用)

15号館1階:Izumi04～Izumi06(演習室・授業利用)

1号館地下1階S棟:Izumi07(自習利用)

5号館地下1階:Izumi08(自習利用)

2号館4階:情報メディアの提供と共に、個人学修からグループ学修など様々な学修スタイルに対応する空間を備えたフロア



学術情報センター工手の泉では、教育研究利用のための共同利用コンピュータシステムを提供しています。この共同利用コンピュータシステムは2022年度に最新のシステムに更新されました。

共同利用コンピュータシステムを授業で利用する際に使われる演習室の他に、個人でも快適にシステムを利用できるよう学内各所に自習利用の部屋を設置しています。

またアクティブラーニングに対応したIzumi12、Izumi13、Izumi16は、授業やゼミ、グループ学習などに活用されています。

新宿キャンパス中層棟2階・3階、八王子キャンパス2号館4階は、図書や学術雑誌に加え、電子書籍、電子ジャーナルなどの電子メディアを提供する拠点となっています。これらのフロアは、学生の皆さんの研究・学修活動を支えると共に、情報メディアを利用できる快適な空間です。

ハイブリッド留学

「ハイブリッド留学®」は、学生が海外へ挑戦するきっかけとして、工学院大学が開発した独自の留学プログラムです。本プログラムは、留学のハードルを下げ、まずは“海を渡る”ことで海外での経験値を高め、異文化にふれ、理解し合う経験を通して、グローバルな視点を養うことを目的としています。留学には欠かせない語学力と現地授業料の2つの大きな壁を緩和することで、学生が“海を渡る”あと押しとなっています。本学授業は日本語で受講しながら、英語授業やキャンパスライフや生活を通じ生の英語や本場のダイバーシティに触れるというハイブリッドな環境での留学プログラムです。

開始から10年を迎えた本プログラムは、これまで文部科学省「大学教育再生プログラム」に採択され、日本工学協会工学教育賞および関東工学協会賞を受賞するなど、多方面から評価を受けています。



●留学時期等(参考)

※場所等は変更する場合があります。

※詳細は参加年度の募集説明会で確認してください。

学部	時期	場所／期間	募集説明会 実施時期
先進工学部	2年次 第2クォーター(6月～8月)	アメリカ/約8週間	1年次12月
情報学部	2年次 第2クォーター(6月～8月)		
工学部	1年次 春期(1月～3月)	イギリス/約8週間	1年次9月
建築学部	3年次 後期(9月～12月)	イギリス/約13週間	3年次4月

障害学生への支援

障害を抱える学生、保護者の皆様への入学後のサポート体制、就職活動への対応など様々な支援を学生相談室、健康相談室、学生センター(学生支援課および教務課)、就職キャリア支援センターが中心となり対応しています。聴覚障害、四肢障害など障害も事情が一人ひとり異なります。もちろん支援の程度も様々です。バリアフリー化、キャンパス内環境整備はもちろん、普段の学内における行動支援をはじめ、多方面にわたる支援態勢を用意しています。また発達障害は、修学面において、授業担当教員、関係部署間で情報共有し、可能な限りでの対応を行っています。進路や就職に関しても、相談対応、情報提供などの支援を行っています。

★障害者手帳をお持ちの方は、健康相談室へコピーの提出をお願いします。

健康相談室

健康相談室は、看護師が在室し応急処置や健康に関する相談や、その他いろいろな相談を受けています。また、学校医による相談および医療機関の紹介も実施しています。

〈健康相談室開室時間および場所〉

- ・八王子キャンパス 月～土曜日 9:30～17:30 1号館(総合教育棟) 地下1階 01S-023室
 - ・新宿キャンパス 月～土曜日 9:00～17:00 高層棟11F A1117室
- (学校休暇期間中等や業務の関係で、開室時間が変更となったり閉室となる場合もあります。)

〈学校医来校日〉

- ・八王子キャンパス 4・5・6月 月1回 13:30～15:30
- (その他、学生や保証人からの要望によって、相談対応が可能です。)
- ・新宿キャンパス 第2・第4木曜日 15:00～17:00

毎年4月に全学生を対象に定期健康診断が実施されます。その結果を受けて再検査・指導等を行います。また、結果は学生ポータルサイト(キューポート)を通じて配信していますので、学生はいつでも健康診断の経緯を見ることができます。

なお、健康診断を受診していないと、就職活動に必要な「健康診断証明書」の発行ができません。

学生相談室

学生相談室は、学生生活を送る上で生じた悩みや問題などを解決するために手助けをしています。いつでも気軽にご連絡ください。

〈連絡先〉八王子キャンパス：月～金 10:00～17:00(最終受付16時)

TEL 042-628-4904(直通)

E-mail:h-soudan@sc.kogakuin.ac.jp

新宿キャンパス：月～金 10:00～18:00(最終受付17時)

TEL 03-3340-0163(直通)

E-mail:s-soudan@sc.kogakuin.ac.jp

※両キャンパスともオンラインでの面談も実施しています。

奨学金

奨学金の種類

在学中、おもに経済的援助を必要とする学生のために、学外(日本学生支援機構、地方公共団体、民間の奨学事業団体等)および学内の奨学金制度があります。これらの奨学金の募集時期は主に4月ですが、それ以外でも家計を支えている者の失職・会社倒産などに伴う家計急変や、火災・風水害などの被災により奨学金の必要が生じたときには、随時申請することもできます(くわしくは学生支援課まで)。

成績優秀な学生を表彰するにあたり、学園関係者の寄付金を基金とし、これから生ずる果実を副賞として学生に授与する奨励金もあります。

また、学業意欲があるにもかかわらず、主たる家計支持者の死亡により修学困難な方で、この奨学金により卒業または修了までの修学を継続することが可能な学部生、大学院生に後援会から給付する「大学後援会給付奨学金」もあります。

2024(令和6)年度 奨学金受給者の人数

種別	日本学生支援機構	学内奨学金	民間団体	奨学生総数(延べ数)
学部	2,071人	123人	42人	2,236人
大学院	239人	136人	13人	388人
合計	2,310人	259人	55人	2,624人

大学後援会給付奨学金について

大学後援会給付奨学金は、在学中に主たる家計支持者の死亡により、修学が困難になった学生に対し、奨学金を給付し、卒業を可能にさせることを目的としています。卒業論文や就職活動などで忙しくなる最終学年の学費を給付対象としています。

主たる家計支持者が死亡した場合は学生支援課に、「保証人死亡届」をご提出ください(大学後援会弔慰金贈与規程にもとづき弔慰金を奉呈します)。本奨学金の対象となる場合、最終学年の4月に奨学金の申請書類を郵送にてお送りいたします。

【給付額】 給付金額は、学生の在学最終年度に納入すべき学費(授業料、実験実習料、施設設備料及び委託徴収金)の相当額以内。

【選考について】 申請書類および成績状況を基に審査。

【給付方法】 この奨学金の給付は、保証人に代わり奨学金担当部署から大学へ学費を納入することにより、給付したこととする。

【担当部署】 学生支援課

■日本学生支援機構奨学金

【募集時期】在学採用：4月頃、9～10月頃 / 緊急応急採用：随時

《貸与型》 卒業後に返還が必要な奨学金

種類	出願資格	金額(月額)
第一種 (無利子)	●学力基準 1年次…次のいずれかに該当すること ①高等学校最終2か年の成績の平均が3.5以上 ②高等学校卒業程度認定試験合格者であること ③生計維持者の貸与額算定基準が0円である者、生活保護受給世帯の者または社会的養護を必要とする者であって、優れた学修成績を修める見込みがあること 2年次以上…大学における学業成績が本人の属する学部(科)の上位1/3以内の者(注1) ●家計基準 生計維持者の貸与額算定基準が、支援機構の定める家計基準を満たすこと	自宅通学… 20,000円 30,000円 40,000円 54,000円 から選択可能 自宅外通学… 20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円 から選択可能 (最短修業年限)
	●学力基準 大学等並びに大学院の成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動できると認められる者 ●家計基準 本人及び配偶者の年収が支援機構の定める収入基準額以下であること	修士… 50,000円、88,000円から選択可能 博士後期… 80,000円、122,000円から選択可能 (最短修業年限)
第二種 (有利子)	●学力基準(次のいずれかに該当する者) ①出身学校または在籍する学校の成績が平均水準以上の者 ②特定の分野で特に優れた資質能力を有する者 ③学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みがある者 ④高等学校卒業程度認定試験合格者で、上記のいずれかに準ずると認められる者 ●家計基準 生計維持者の貸与額算定基準が、支援機構の定める家計基準を満たすこと	20,000～120,000円(10,000円単位)で選択可能 (最短修業年限)
	●学力基準(次のいずれかに該当する者) ①大学等並びに大学院の成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動できると認められる者 ②大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがある者 ●家計基準 本人及び配偶者の年収が支援機構の定める収入基準額以下である者	50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円 の中から選択 (最短修業年限)

《給付型》 返還不要の奨学金

種類	出願資格	金額(月額)(注2)	
		自宅通学	自宅外通学
給付奨学金	●学力基準 1年次…次のいずれかに該当すること ①高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、又は、入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲に属すること ②高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ③将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること 2年次以上…次のいずれかに該当すること。 ①GPA(平均成績)等が在学する学部等における上位1/2の範囲に属すること ②修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること ●家計に係る基準(収入基準・資産基準) 次の「収入基準」及び「資産基準」のいずれにも該当すること ★収入基準(注3) 【第一区分】 本人及び生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること 【第二区分】 本人及び生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること 【第三区分】 本人及び生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること 【第四区分】 本人及び生計維持者の支給額算定基準額の合計が51,300円以上154,500円未満であること ★資産基準 本人及び生計維持者(2人)の資産額合計が2,000万円未満(生計維持者が1人のときは1,250万円未満)であること	【第一区分】 38,300円 (42,500円) 【第二区分】 25,600円 (28,400円) 【第三区分】 12,800円 (14,200円) 【第四区分】 9,600円 (10,700円) (授業料等減免のみ)	【第一区分】 75,800円 【第二区分】 50,600円 【第三区分】 25,300円 【第四区分】 ・多子世帯 19,000円 ・理工農系 0円 (授業料等減免のみ)

(注1) 第一種奨学金について、平成29年度以降の入学生より、家計基準によって成績基準緩和措置があります。

(注2) 生活保護世帯を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は、上表「自宅通学」のカッコ内の金額となります。

(注3) 「収入基準」については、日本学生支援機構奨学金ホームページに掲載されている「進学資金シミュレーター」で、本人の世帯構成で収入基準に該当するか具体的に確認できます。

詳細は、日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/>)をご確認ください。

■授業料等減免(高等教育の修学支援新制度)

日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、給付奨学金に採用された者は、文部科学省の実施している「高等教育の修学支援新制度」の授業料減免を受けることができ、授業料が最大70万円(年額)・入学金が最大25万円免除されます。(免除額は支援区分によって異なります)

また、多子世帯(扶養する子どもの人数が3名以上)は、給付奨学金に申請することで収入に関わらず授業料70万円(年額)・入学金25万円が免除されます。

なお、支援区分や多子世帯の判定は、日本学生支援機構が行いますので、かならず給付奨学金への申請を行ってください。

詳細は文部科学省ホームページ(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)をご確認いただくか、学事部学生支援課(mail:scholarship@sc.kogakuin.ac.jp)までお問い合わせください。

■学内奨学金・奨励金

種類	給・貸	出願資格	金額	備考
学園奨学金	貸与 (無利子)	(1)学部4年生(卒論着手者) (2)大学院在学学生 (3)家計急変者	学部生 月額50,000円以内 大学院生 月額60,000円以内	貸与期間1年間 (百周年記念奨学金との重複貸与は不可)
学園百周年記念奨学金	貸与 (無利子)	学部生及び大学院生	年間学費相当額以内	在学中1回限り (学園奨学金との重複貸与は不可)
大学成績優秀学生奨励奨学金	給付	2~4年生の学部生が対象。 前年度の学業成績が優秀で他の範となる者 (2024年度の実績83名)	15万円を上限とする	非公募(学科推薦)
工学院大学入学試験成績優秀者奨学金	給付	S日程において上位の成績で合格した者	1年次授業料の全額相当額	合格者のうち最大10%の上位成績者
	給付 (減免)	A日程、大学入学共通テスト利用入試前期日程および探究成果活用型選抜で成績優秀で合格した者	年間授業料の半額相当額(最大4年間)	各学科合格者の上位成績者。 入学後も一定成績を取めることで最大4年間の減免となる。
大学院修士課程進学奨励学費減免	給付 (減免)	学部生のうち、学業成績が優秀な候補者で、本学大学院修士課程入学試験に合格した者 (2024年度入学者の実績60名)	授業料の全額または半額相当額	非公募 減免措置は2年間
大学院博士後期課程進学奨励学費減免	給付 (減免)	修士課程の学生で、修士課程修了時点において学業成績が優秀かつ他の範となる者 (2024年度入学者の実績4名)	授業料の半額相当額	非公募 減免措置は3年間
大学院博士後期課程研究奨励金	給付 (減免)	大学院博士後期課程の標準修了年限内に在学している学生のうち学業・人物ともに優れた者 (査読付論文実績等の審査有)	授業料の半額相当額	非公募 減免措置は2年間
災害等の被災学生等の学費等減免	給付 (減免)	大地震等の自然災害により修学が困難となる学生	1年間、または半期分の学費等	減免の対象となる災害及び地域は、災害救助法の適用をもって定める
ハイブリッド留学奨学金	貸与 (無利子)	学部生、大学院生で貸付により、ハイブリッド留学プログラムに参加可能となる学生	アメリカ留学の場合 30万円(上限) イギリス留学の場合 50万円(上限)	公募
学生チャレンジ活動奨励金	給付	新たなチャレンジ、現在の課外活動の枠組みではできないものなどを対象	最低10万円	公募

学生生活

学生教育研究災害傷害保険(学研災)、学研災付帯賠償責任保険(学研賠)

在学中、安心して勉強や課外活動ができるよう、正課・課外活動中および通学中などに事故にあったときの傷害保険(「病気」は対象外)と、他人にけがをさせたり、他人のものを壊したりしたときの賠償責任保険に全員が加入しています。事故にあったときは、すぐに学生支援課にご連絡ください。なお、入学時に保険の冊子「加入者のしおり」を配布しています。

学生応急貸付金

この貸付金制度は、工学院大学後援会からの寄付金を基金として、学生が不時の支出に困った場合に、緊急に救済することを目的としたものです。取り扱い窓口は学生支援課です。貸付金額は30,000円(特に必要と認められた場合は50,000円)以内です。

弔意金

学生、ご父母またはこれに代わる保証人が死亡したときは、大学後援会から弔慰金を奉呈します。学生支援課まで問い合わせてください。

アルバイトの紹介

アルバイトの求人情報は、学生ポータルサイト(キューポート)の掲示板に随時掲載して案内しています。学生の皆さんには学業に支障のない範囲でアルバイトに取り組むようお願いしています。

さくら連絡網(大学からの連絡配信システム)

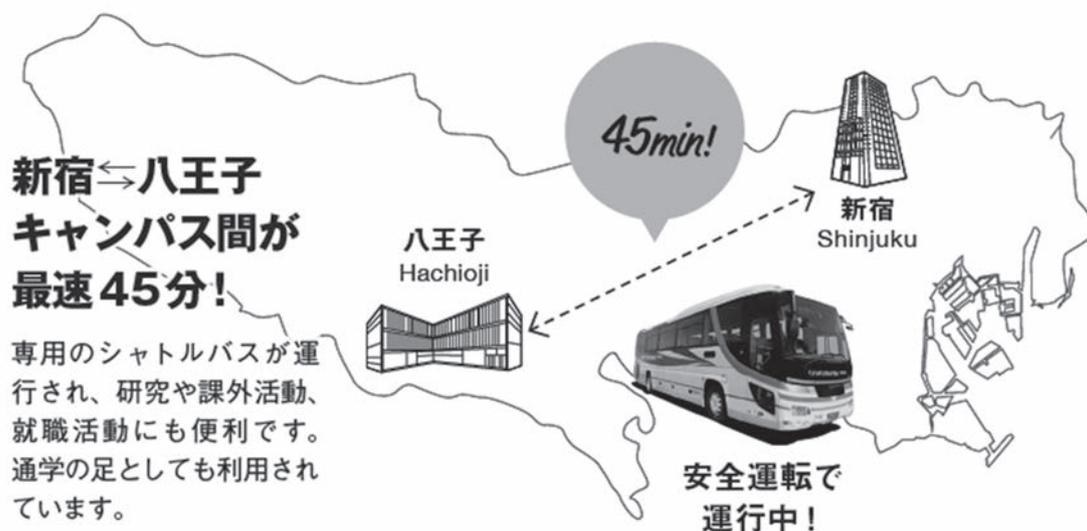
さくら連絡網は、保証人の皆様へ連絡事項を大学からメール等で連絡配信するシステムです。具体的には、大学からの郵送物の発送時期や、大学のイベント、奨学金の案内などを配信しています。新入生の保証人の皆様には、5月を目処に登録の案内を送付しております。なお、2年生以上の保証人様には既に案内は送付済みですが、さくら連絡網への登録を希望される場合は、学生支援課まで問い合わせてください。

施設紹介

シャトルバス

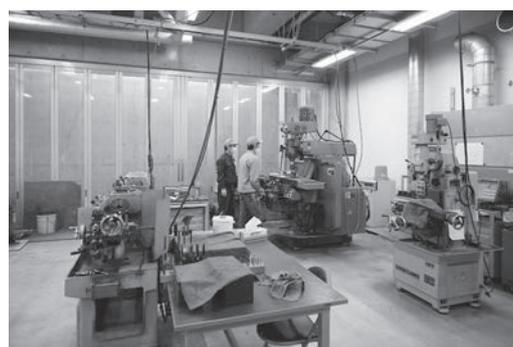
学生の利便性向上のため、新宿⇄八王子キャンパス間を約45分で結ぶシャトルバスが運行されています。「八王子キャンパスは遠い」という学生は、新宿キャンパスまで来れば、高速バスで快適に通学することができます(利用対象は学生・教職員となっています)。

※運行期間・運行ダイヤ及び乗車方法等については、大学ホームページをご覧ください。



夢づくり工房

学生プロジェクトの活動拠点となる「夢づくり工房」は八王子キャンパス17号館にある施設です。広い空間の中で学生たちがものづくりの楽しさや喜びを体験しています。学生たちは工房内の工作機械や工具・各種測定器を自由に使って製作しています。また、工作機械を扱う上で、事前に「安全講習」を実施し、正しい使い方や安全教育を徹底して行っており、受講者には「安全講習修了証」が発行されます。



ふらっと

八王子キャンパスに2015年に竣工したもののづくりの拠点となる大型施設、ものづくり支援センター「ふらっと」。機械工作実習を中心に、授業や課外活動の中で学生のものづくりを支援しています。内部は柱のない構造で、広大な実習スペースで、女子学生のためのロッカールームやパウダールームも完備されています。



食堂・売店

学生たちのランチタイムや授業や研究の合間の休息のために、八王子キャンパスには食堂・売店を、新宿キャンパスには売店を用意しています。

[八王子キャンパス] スチューデントセンター1階: 生協売店 2階: 食堂 3階: ベーカリーコーナー
[新宿キャンパス] 地下1階: セブン-イレブン(売店)



八王子キャンパス 食堂



新宿キャンパス 売店

セミナーハウス松風舎

後援会の寄付金と本学の資金を半々に充てて建築された、セミナーハウス松風舎は八王子キャンパスに1999年3月に竣工し、学生(大学院生を含む)・教職員の教育研究活動、および学生団体等の活動に提供されています。2025年には、後援会の寄付金でバーベキュー場の改修を行いました。

◆施設の概要

1階: 宿泊室(10畳1室、8畳2室)、セミナー室(48名)、厨房、シャワー室

2階: 宿泊室(10畳3室、8畳2室)

屋外: バーベキュー場



松風舎 外観



松風舎 バーベキュー場

課外活動

委員会、クラブ活動(文化会・体育会)

本学では学生生活の維持・向上のため、学生たちが委員会活動を行っています。学生のため、様々な施策を考え実行する委員会から、学園祭など学生生活をより充実させる委員会など、それぞれの目的で活動しています。

また、運動系から文化系まで、多彩なクラブがあり、盛んに活動が行われています。

委員会もクラブ活動も、学部学科を超えて活動が行われ、大学生活において、かけがえのない経験を得ることができます。

2024年度団体一覧

〈委員会〉

自治会(常任委員会)	学園祭実行委員会	学科連合委員会
新聞会	エコ推進委員会	体育会
文化会	生協学生委員会	

〈文化会クラブ〉

英語部	SF研究会	音楽部
K.P.F.R部	自然科学研究部	写真部
吹奏楽部	鉄道研究部	電子技術研究部
ハイキング部	美術意匠部	舞踏研究部
マジシャンズ・ソサエティ	マンガ研究会	マンドリンクラブ

〈体育会クラブ〉

アメリカンフットボール部	空手道部	弓道部
クロスミントン部	剣道部	航空部
硬式庭球部	硬式野球部	古武術部
ゴルフ部	サッカー部	山岳部
自動車部	柔道部	スキー部
スキューバダイビング部	卓球部	バスケットボール部
バドミントン部	バレーボール部	ボクシング部
モーターサイクル部	ヨット部	陸上競技部
ワンダーフォーゲル部		

学生プロジェクト

本学には、学生グループによる理工学に関する創造活動を行う「学生プロジェクト」があり、学生たちは学部学科の垣根を越えて、活発に活動しています。活動計画や成果報告などを経て、大学から施設・設備の提供や活動費の補助を受け、それぞれの目標の達成を目指しています。

2024年度学生プロジェクト

KRP(工学院大学ロボットプロジェクト)	Birdman Project Wendy	学生フォーミュラ
ソーラーチーム	みつばちプロジェクト	Science Create Project
モデルロケットプロジェクト	VRプロジェクト	WA-K. pro



学生フォーミュラ



みつばちプロジェクト

(キャンパスで養蜂・採集したハチミツを使用したビール)



ソーラーチーム



KRP(工学院大学ロボットプロジェクト)

学生チャレンジ活動奨励金

2024年度より「工学院大学学生チャレンジ活動奨励金」制度がスタートしました。この制度は学生の新たなチャレンジ、現在の課外活動の枠組みではできない取り組み、活動に対して、大学として支援するものです。2024年度は工学院大学を盛り上げるために4つの企画が活動を行っています。

2024年度採択団体

工学院ハッカソン	リサーチプロジェクト
パラカヌー競技での世界への挑戦	木工体験教室「木工学院」



工学院ハッカソン



リサーチプロジェクト



パラカヌー競技での世界への挑戦



木工体験教室「木工学院」

大学院への進学

工学院大学大学院工学研究科は、学部での教育による基礎のうえに、工学における理論と応用を教授・研究することを目的とし、修士課程6専攻、博士後期課程5専攻で構成されています。どの専攻でも、学部よりさらに高度で実践的な応用研究を行うことで、修了後は、技術者・研究者として専門分野をリードするスペシャリストとして社会へと巣立っていきます。

1. 工学研究科入学定員

研究科名	専攻名	修士課程入学定員	博士後期課程入学定員
工学研究科	機械工学専攻	70	3
	化学応用学専攻	50	3
	電気・電子工学専攻	60	3
	情報学専攻	50	3
	建築学専攻	60	3
	計	290	15

※2024年度入学生よりシステムデザイン専攻は募集停止しております。

2. 入学試験(修士課程)

大学卒業者および卒業見込者で、大学院修士課程への入学希望者を対象に年3回の選抜試験を実施しています。試験科目、試験日等詳細は工学院大学入試サイトでご確認ください。

- (1)一般入試(9月上旬、2月下旬)
- (2)学内推薦入試・大学院接続型コース推薦入試(6月上旬)
- (3)東京理工系4大学の協定による大学院修士課程特別推薦入試(6月上旬)

3. 学費等(修士課程)

(2024年度入学生参考)

種別	年払(一回払)	二回払		備考
		入学時	後期	
入学金	* 50,000円	* 50,000円	—	学内推薦入試による入学者は全額免除 他大学出身者は250,000円
学費	1,050,000円	525,000円	525,000円	
後援会会費	13,000円	13,000円	—	他大学出身者は入会費15,000円の納入を要する
校友会会費	0円	0円	—	他大学出身者は20,000円 ^(注)
同窓会費	0円	0円	—	他大学出身者は10,000円 ^(注)
学生教育研究災害障害保険料	* 2,430円	* 2,430円	—	
合計	1,115,430円	590,430円	525,000円	

*は初年度のみ納入金を示す

(注)他大学出身者の校友会費・同窓会費は、最終学年の最初の学費納入時に要する。

4. 2024年度(2025年3月卒業)大学院への進学状況

学部学科・専攻	大学院進学(本学)	他大学大学院名
先進工学部 生命化学科	19	筑波大学大学院、東京科学大学大学院、東京農工大学大学院
先進工学部 応用化学科	16	筑波大学大学院、東京科学大学大学院、東京都立大学大学院、三重大学大学院
先進工学部 環境化学科	15	東京科学大学大学院
先進工学部 応用物理学科	22	電気通信大学大学院
先進工学部 機械理工学科	10	芝浦工業大学大学院、東京科学大学大学院、東京農工大学大学院
工学部 機械工学科	38	芝浦工業大学大学院、東北大学大学院、東京大学大学院
工学部 機械システム工学科	34	東京科学大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、立教大学大学院
工学部 電気電子工学科	20	
建築学部 まちづくり学科	12	
建築学部 建築学科	17	東京科学大学大学院、横浜国立大学大学院
建築学部 建築デザイン学科	39	東京理科大学大学院、早稲田大学大学院
情報学部 情報通信工学科	26	
情報学部 コンピュータ科学科	16	東北大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、立教大学大学院
情報学部 情報デザイン学科	11	東京都立大学大学院
情報学部 システム数理学科	5	筑波大学大学院、電気通信大学大学院
電気・電子工学専攻		筑波大学大学院
建築学専攻	2	
総計	302	

(2025年1月14日現在)

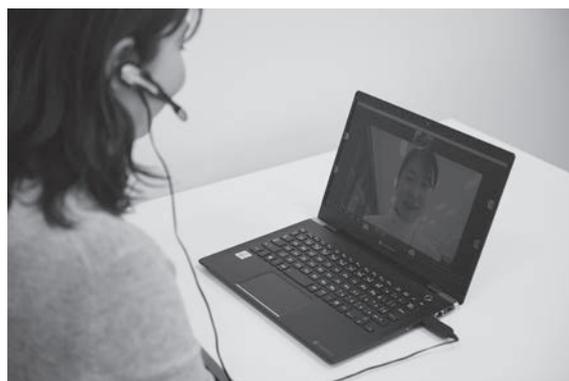
キャリアサポート

就職キャリア支援センター

■就職相談

就職キャリア支援センターでは、大学・大学院での学びや研究を活かした就職へと繋げるために、インターンシップやキャリア・就職関連プログラムの提供、個人面談による履歴書・エントリーシートの添削や面接練習など、多岐にわたる就職支援を行っています。

また、専用の就職支援システムである求人NAVIを活用し、本学学生の採用に積極的な企業からの求人の公開だけでなく、企業の人事担当者や本学卒業生から提供される貴重な情報のデータバンクとしての役割も果たしています。



■就職ガイダンス・講座

就職支援行事は、後述一覧表(P.47)にもあるとおり、就職ガイダンスをはじめ、インターンシップ、エントリーシート、業界研究、企業研究など就職活動で備えておかなければならない対策講座を多数開催しています。2020年度からは遠隔授業(オンライン)の仕組みを利用し、学生がいつでもどこでも講座を見られるようにしています。

就職環境と主な就職対策

■現在の就職環境

就職活動のスケジュールは、政府の主導により「3月に広報活動開始、6月に採用選考活動開始」のルールがあります。ただ、実際には6月以前に選考を実施し、内々定を出す企業もあり、複数の企業の活動が重複することがあるため、学業と両立しながら計画的に就職活動の準備を進めていくことが大切です。

就職情報会社から分厚い資料請求の葉書冊子が送られてきた時代からインターネットの時代になり、企業の情報収集も企業へのアプローチの方法も大きく変わりました。パソコンやスマホであらゆる情報にアクセスでき、履歴書やエントリーシートのWeb提出、動画選考も増えています。

また、経済産業省・文部科学省・厚生労働省による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方(通称:三省合意)」の改正によって、「インターンシップ」が新たに定義されました。企業側は一定の基準を満たす内容のインターンシップを実施することで、学生情報を採用活動開始後に活用できるようになり、インターンシップへの参加が就職活動においてより重要な位置づけとなってきました。

■エントリーシート対策

エントリーシートはそれぞれの企業が用意する独自の履歴書／自己紹介書です。このエントリーシートをクリアしないと次のステップである「筆記試験」や「面接試験」まで辿り着くことができない場合もあり、大変重要なものです。

エントリーシートの主要な設問は、次の3項目です。ここでの一番の目的は、自分自身を正直に企業に伝えることであり、決して他人のマネをすることではありません。

(1) 学生時代に力を注いだこと。そしてそこで得た成果は何か。

学生時代に何をしたか。それにより、何を得たかを書かせる設問であり、なんとなく学生時代を過ごしては、書く材料に困ってしまいます。

(2) 自己PR(自分の強み)

PRしたい能力、スキル、性格を具体的に書かせる設問です。この設問においても、学生時代に目標をもって勉強や課外活動に取り組んだ経験が大切です。

(3) 志望動機(入社後にやりたいことは何か)

その企業(職業)を志望する理由と、そこで何をやりたいかを書かせる設問です。企業研究をしっかり行い、目的意識を持たないと、なかなか書けない内容です。

各企業は、これらのエントリーシートの設問を通して、学生自身の自己分析力、対人コミュニケーション力、表現力、行動力、企業との適性一致などを評価しています。

■面接対策

企業が採用試験において、最も重要視しているのが面接試験です。面接試験では、「その人となり」がよくわかるからです。いくら学業成績がよかったり、能力があっても、社会人としての資質に欠ける場合は、なかなか採用までには至りません。

面接試験には、個別、集団など様々な形式がありますが、たとえ短い時間であってもその人となりは意外とわかるものです。人柄、意欲、将来の可能性など成績だけでは判断できない面を観察し、企業の発展に寄与できる人材か評価することが目的です。

なお、面接試験で概ねよく質問される項目は次のとおりです。

◎本人に関する質問:「はじめに自己紹介してください」「長所・短所を聞かせてください」

◎学生時代に関する質問:「学生時代にどんなことに力を入れましたか」「学業以外で力を入れたことは何ですか」「どんなアルバイトの経験がありますか」

◎志望動機に関する質問:「なぜ、当社を志望しましたか」「当社に関係する専門分野について、どのような勉強をしましたか」

◎職種に関する質問:「当社に入社してやりたいことは何ですか」「10年後のあなたのビジョンを話してください」

◎価値観などに関する質問:「あなたが日ごろモットーとしているものは何ですか」「座右の銘は何ですか」「人生に対する考え方について聞かせてください」

最後に「何か当社に対する要望はありますか」や「ご質問はありますか」と質問されることがあります。その際には、「特にありません」と言うよりも、当該企業への関心が高いことを示すため、積極的に質問することが大切です。

キャリア形成支援

本学では、低学年から自分の将来を真剣に考えるきっかけを作ることが大切であると考え、1・2年次から時期に応じた体系的なキャリア支援プログラムを提供しています。

1・2年次は、知る・蓄積する・準備することを重視したキャリア教育を、3・4年次は、具体的に行動することを重視しています。

例えば、就業体験を通じて自己の職業適性や将来設計について考える機会を設け、その後の学習意欲の喚起、主体的な職業選択及び高い職業意識の育成を図ることを目的としてインターンシップへの参加を奨励し、正規の授業科目として、単位認定型インターンシップの授業科目(「インターンシップA/B(1・2年次)」、「学外研修(3年次)」を実施しています。

また、その他の授業科目として「キャリアデザイン」では、グループワークを中心に、自らの専門分野と関係する業界・業種研究や、将来について考え、就職への意識を高めていきます。「ロジカルライティング」では、文章力の強化とコミュニケーション力を高めることに重点を置き、論理的な思考力と柔軟な発想を養います。

就職活動の早期化に加え、3年次/大学院1年次からは専門科目や研究活動も増えてくるため、学業と就職活動を効率的にバランスよく進められるように年間プログラムを定め、支援しています。

就職キャリア支援センターの役割

学生が気軽に就職に関する相談ができるスペースが、就職キャリア支援センターです。

新宿と八王子の就職キャリア支援センターを就職活動の拠点として効率良く活用することが大切です。



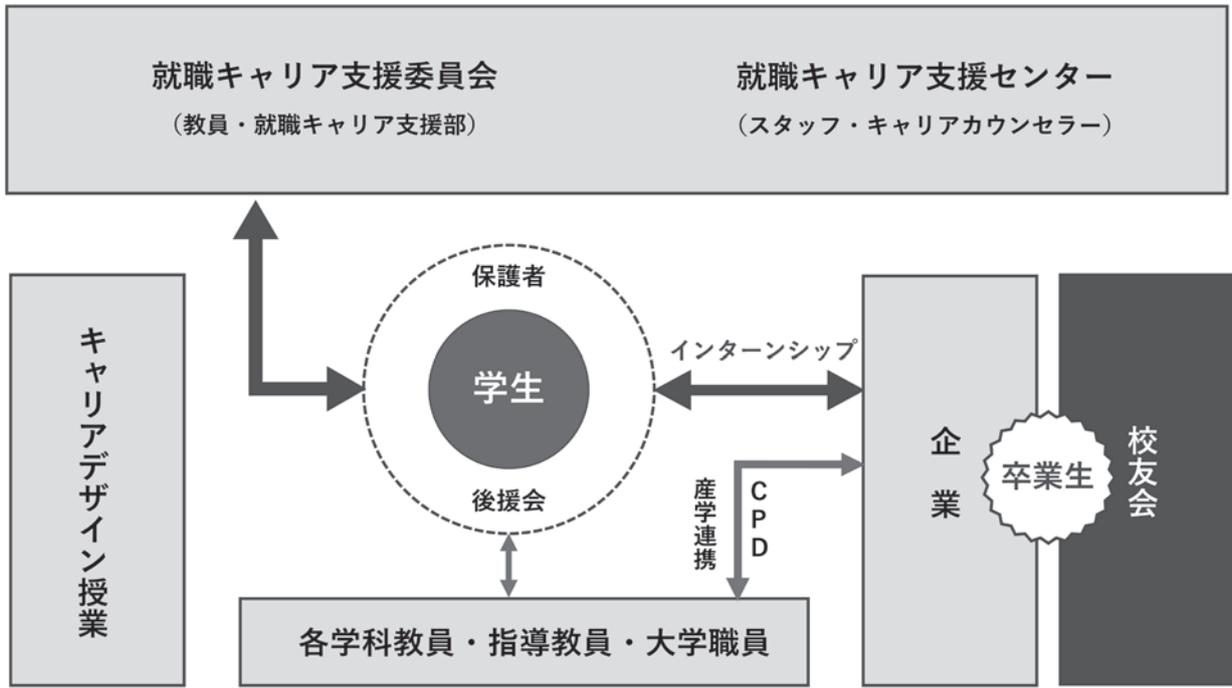
新宿キャンパス高層棟 2F
就職キャリア支援センター



八王子キャンパス18号館 4F
就職キャリア支援センター

■工学院大学の就職キャリア支援ネットワーク

工学院大学には、歴史と伝統に培われた強力な支援体制が整っています。



■就職支援行事(2024年度実績)

	行事名	対象学年
4月	第1回就職ガイダンス	学部3年生、修士1年
	【講座】春の筆記試験対策ガイダンス	学部3年生、修士1年
	留学生ガイダンス	全学年
5月	公務員試験対策ガイダンス	学部3年生、修士1年
	【講座】ESの書き方	学部3年生、修士1年
	【添削】ESの書き方(夏)	学部3年生、修士1年
6月	【講座】事例で学ぶ面接対策～インターンシップ編～	学部3年生、修士1年
	学内合同企業セミナー	学部3年生、修士1年
	WEB 合同説明会	学部4年生、修士2年
7月	第1回障がい学生のための就職ガイダンス	全学年
	第1回留学生のための就職ガイダンス	学部3年生、修士1年
	【講座】インターンシップのマナー	学部3年生、修士1年
9月	第2回就職ガイダンス	学部3年生、修士1年
	【講座】事例で学ぶ面接対策 ～本選考編～	学部3年生、修士1年
	【講座】ESの書き方(秋)	学部3年生、修士1年
10月	【添削】ESの書き方(秋)	学部3年生、修士1年
	【講座】秋の筆記試験対策ガイダンス	学部3年生、修士1年
	学内合同企業セミナー	学部3年生、修士1年
11月	第2回障がい学生のための就職ガイダンス	全学年
	第2回留学生のための就職ガイダンス	学部3年生、修士1年
	留学生就活相談会	学部3年生、修士1年
12月	第3回就職ガイダンス	学部3年生、修士1年
1月	【添削】ESの書き方(冬)	学部3年生、修士1年
2月	【講座】冬の筆記試験対策ガイダンス	学部3年生、修士1年
	卒業生による公務員の仕事相談会	学部3年生、修士1年

※一部の行事は学年問わず参加可能

2024年度 就職状況

●学科・専攻別進路状況

学部・修士	学科・専攻	卒業・ 修了見 込者数	一般 企業	非営利 団体	国家 公務員	地方 公務員	常勤 教員	非常勤 教員	家業・ 自営	大学院 進学 (本学)	大学院 進学 (他大学)	その他
先進工学部	生命化学科	67	26			1				19	3	18
	応用化学科	89	51			2				16	5	15
	環境化学科	63	34	1			1			15	1	11
	応用物理学科	59	12			1			1	22	1	22
	機械理工学科	54	25			1				10	3	15
工学部	機械工学科	148	88							38	3	19
	機械システム工学科	103	46				1			34	3	19
	電気電子工学科	112	70			1				20		21
建築学部	まちづくり学科	82	43			9				12		18
	建築学科	125	83	1						17	2	22
	建築デザイン学科	128	51			2				39	2	34
情報学部	情報通信工学科	83	36							26		21
	コンピュータ科学科	93	55			1	1			16	3	17
	情報デザイン学科	71	49							11	1	10
	システム数理学科	55	31	1						5	2	16
小 計		1,332	700	3	0	18	3	0	1	300	29	278
修士	機械工学専攻	68	60	1								7
	化学応用学専攻	49	39	1					1			8
	電気・電子工学専攻	74	68			1					1	4
	建築学専攻	76	59			1				2		14
	情報学専攻	47	40									7
	システムデザイン専攻	7	3									4
小 計		321	269	2	0	2	0	0	1	2	1	44
総 合 計		1,653	969	5	0	20	3	0	2	302	30	322

※「その他」には進路未報告者、留学などが含まれる

(2025年1月14日現在)

●企業就職者の規模別比率(%)

	先進工学部					工学部			建築学部			情報学部			修士 工学研究科	
	生命 化学科	応用 化学科	環境 化学科	応用物 理学科	機械理 工学科	機械 工学科	機械 システム 工学科	電気 電子 工学科	まちづ くり学 科	建築 学科	建築 デザイ ン学 科	情報 通信 工学 科	コンピ ュータ 科学 科	情報 デザイ ン学 科	システ ム数 理学 科	全専攻
1000名以上	53.8	56.9	50.0	66.7	72.0	76.1	73.9	55.7	60.5	84.3	54.9	50.0	43.6	67.3	58.1	66.9
500~999名	19.2	17.6	23.5	8.3	20.0	9.1	13.0	12.9	16.3	2.4	15.7	25.0	12.7	10.2	12.9	11.2
100~499名	19.2	21.6	17.6	25.0	8.0	13.6	8.7	25.7	14.0	12.0	21.6	19.4	38.2	16.3	19.4	16.0
100名未満	7.7	3.9	8.8	0.0	0.0	1.1	4.3	5.7	9.3	1.2	7.8	5.6	5.5	6.1	9.7	5.9

※求人NAVI上で従業員数不明企業は100~499名に含める

(2025年1月14日現在)

●求人会社数

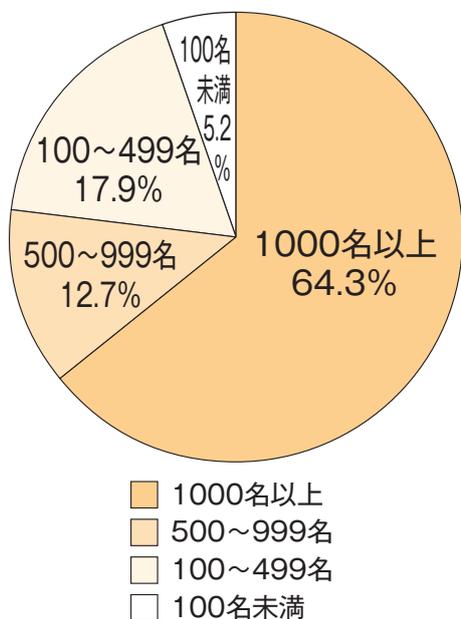
(2025年1月14日現在)

	企業数	割合
1000名以上	2,301	13.5%
500~999名	1,867	11.0%
100~499名	6,909	40.6%
100名未満	5,951	34.9%
合計	17,028	100.0%

※求人NAVI上で従業員数不明企業は100~499名に含める

●企業就職者の規模別割合

(2025年1月14日現在)



※求人NAVI上で従業員数不明企業は100~499名に含める

●求人・就職状況

(2025年1月14日現在)

業種	求人社数	就職者数
農業、林業	40	
漁業		
鉱業、採石業、砂利採取業	7	
建設業	2,448	188
食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	320	16
繊維工業	46	3
印刷・同関連業	73	11
化学工業、石油・石炭製品製造業	452	32
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	600	19
はん用・生産用・業務用機械器具製造業	969	75
電子部品・デバイス・電子回路製造業	196	23
電気・情報通信機械器具製造業	390	65
輸送用機械器具製造業	337	65
その他の製造業	338	15
電気・ガス・熱供給・水道業	46	7
情報通信業	2,197	190
運輸業、郵便業	479	25
卸売業	1,764	41
小売業	935	6
金融業	165	3
保険業	74	
不動産取引・賃貸・管理業	347	31
物品賃貸業	159	3
学術・開発研究機関	20	1
法務	5	
その他の専門・技術サービス業	1,031	65
宿泊業、飲食サービス業	308	
生活関連サービス業、娯楽業	225	
学校教育	148	4
その他の教育、学習支援業	134	2
医療業、保健衛生	472	2
社会保険・社会福祉・介護事業	882	1
複合サービス事業	110	
宗教	5	
その他のサービス業	1,088	87
国家公務	7	
地方公務	211	19
上記以外		
総計	17,028	999

●2024年度都道府県別求人社数及び就職者数

求人会社数=合計17,028社
(就職者数)=合計999人



(2025年1月14日現在)

2024年度卒業生の主な進路先

〈先進工学部生命化学科〉

大学院進学(本学)19名
 大学院進学(他大学)3名
 就職先×20社
 味の素冷凍食品(株)
 イカリ消毒(株)
 (株)エスアールディ
 N O K (株)
 関東化学(株)
 協同乳業(株)
 (株)シャトレーゼ
 信越理研(株)
 (株)大気社
 大和製罐(株)
 (株)西原衛生工業所
 日本発条(株)
 日本農薬(株)
 富士フィルムワコーケミカル(株)
 (株)武蔵野フーズ
 (株)ヤクルト本社

〈先進工学部応用化学科〉

大学院進学(本学)16名
 大学院進学(他大学)5名
 王子ホールディングス(株)
 キーコーヒー(株)
 三機工業(株)
 (株)S U B A R U
 住友理工(株)
 タカラスタンダード(株)
 東京応化工業(株)
 東京電力ホールディングス(株)
 (株)東ハト
 日華化学(株)
 日機装(株)
 日清食品(株)
 日本発条(株)
 日本コーンスターチ(株)
 長谷川香料(株)
 (株)フジクラ
 古河電気工業(株)
 本田技研工業(株)
 ヤマハ発動機(株)
 リンテック(株)

〈先進工学部環境化学科〉

大学院進学(本学)15名
 大学院進学(他大学)1名
 (株)朝日工業社
 岩井機械工業(株)
 N O K (株)
 (株)関電エネルギーソリューション
 共同印刷(株)
 三建設備工業(株)
 住友ケミカルエンジニアリング(株)
 (株)大気社
 ダイキンエアテクノ(株)
 高砂熱学工業(株)
 月島J F E アクアソリューション(株)
 東洋熱工業(株)
 日清紡マイクロデバイス(株)
 日本電技(株)
 日本電子(株)
 (株)日立ハイテク
 (株)日立ビルシステム
 マイクロンメモリジャパン(株)
 三菱自動車工業(株)
 三菱電機(株)

〈先進工学部応用物理学科〉

大学院進学(本学)22名
 大学院進学(他大学)1名
 (株)インフォメーション・ディベロプメント
 A N A システムズ(株)
 (株)エフ・ディー・シー
 (株)オーク製作所
 クボタ環境エンジニアリング(株)
 山九(株)
 東京都庁
 東芝インフラシステムズ(株)
 日本電子(株)
 富士通(株)
 山形航空電子(株)

(2025年1月14日現在)

〈先進工学部機械理工学科〉

大学院進学(本学)10名
 大学院進学(他大学)3名
 A N Aウイングス(株)
 A N Aラインメンテナンステクニクス(株)
 (株)N T Tデータグループ
 (株)J V Cケンウッド
 (株)スターフライヤー
 (株)S U B A R U
 全日本空輸(株)
 (株)ティラド
 東京地下鉄(株)
 東京電力ホールディングス(株)
 東京都庁
 (株)東芝
 (株)トップ
 (株)日産オートモーティブテクノロジー
 日産車体(株)
 日本航空(株)
 日本総合住生活(株)
 日本電子(株)
 日野自動車(株)
 マザーサンヤチヨ・オートモーティブシステムズ(株)

〈工学部機械システム工学科〉

大学院進学(本学)34名
 大学院進学(他大学)3名
 アイダエンジニアリング(株)
 アマノ(株)
 S M C (株)
 コニカミノルタ(株)
 (株)S H I F T
 スズキ(株)
 (株)ダイフク
 電源開発(株)
 (株)電通総研 I T
 東京都教員
 T O P P A Nホールディングス(株)
 (株)ニコン
 能美防災(株)
 東日本旅客鉄道(株)
 富士通(株)
 ベース(株)
 マツダ(株)
 三菱重工業(株)
 森ビル(株)
 (株)ヤクルト本社

〈工学部機械工学科〉

大学院進学(本学)38名
 大学院進学(他大学)3名
 (株)荏原製作所
 カワサキモーターズ(株)
 キオクシア(株)
 コニカミノルタ(株)
 J F E スチール(株)
 スズキ(株)
 (株)S U B A R U
 (株)セガ
 ダイキン工業(株)
 テルモ(株)
 東京電力ホールディングス(株)
 トヨタ自動車(株)
 日産自動車(株)
 東日本旅客鉄道(株)
 (株)日立製作所
 本田技研工業(株)
 三菱自動車工業(株)
 ミネベアミツミ(株)
 横浜ゴム(株)
 (株)ロッテ

〈工学部電気電子工学科〉

大学院進学(本学)20名
 S M C (株)
 (株)荏原製作所
 オリンパス(株)
 住友電装(株)
 (株)竹中工務店
 電源開発(株)
 東海旅客鉄道(株)
 東京電力ホールディングス(株)
 東レ(株)
 T O P P A Nホールディングス(株)
 (株)トンボ鉛筆
 (株)ニコン
 ニデック(株)
 東日本旅客鉄道(株)
 (株)日立製作所
 古河電気工業(株)
 三菱電機ビルソリューションズ(株)
 ミネベアミツミ(株)
 (株)明電舎
 矢崎総業(株)

(2025年1月14日現在)

〈情報学部情報通信工学科〉

大学院進学(本学)26名
 A J S(株)
 エクシオ・デジタルソリューションズ(株)
 N E Cプラットフォームズ(株)
 (株)N T TデータC C S
 M I デジタルサービス(株)
 (株)国際電気
 (株)C I J
 (株)C A C H o l d i n g s
 (株)システナ
 (株)J A L インフォテック
 S O M P Oシステムズ(株)
 ディップ(株)
 (株)ドコモC S
 トヨタテクニカルディベロップメント(株)
 (株)トラストシステム
 日本コムシス(株)
 (株)日立情報通信エンジニアリング
 (株)日立製作所
 (株)ボードルア

〈情報学部情報デザイン学科〉

大学院進学(本学)11名
 大学院進学(他大学)1名
 (株)インテック
 S C S K(株)
 N E C ネットエスアイ(株)
 (株)N S D
 (株)N T Tデータ・スマートソーシング
 (株)O K I ソフトウェア
 コムチュア(株)
 さくら情報システム(株)
 (株)システムサポート
 Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
 スミセイ情報システム(株)
 東芝情報システム(株)
 T O P P A Nホールディングス(株)
 ニッセイ情報テクノロジー(株)
 (株)日立産業制御ソリューションズ
 (株)日立システムズ
 富士ソフト(株)
 (株)プリマジェスト
 本田技研工業(株)
 三菱U F J インフォメーションテクノロジー(株)

〈情報学部コンピュータ科学科〉

大学院進学(本学)16名
 大学院進学(他大学)3名
 (株)アークシステム
 アクサス(株)
 S Bテクノロジー(株)
 N E Cプラットフォームズ(株)
 (株)N T Tデータアイ
 (株)F F R I セキュリティ
 コクヨ(株)
 J R Aシステムサービス(株)
 (株)J V Cケンウッド・公共産業システム
 (株)ジェーシービー
 ソフトバンク(株)
 S O M P Oシステムズ(株)
 東芝デジタルソリューションズ(株)
 日興システムソリューションズ(株)
 日本電気航空宇宙システム(株)
 (株)日本総合研究所
 (株)日立製作所
 (株)日立ソリューションズ・クリエイト
 三菱総研D C S(株)
 真岡市役所

〈情報学部システム数理学科〉

大学院進学(本学)5名
 大学院進学(他大学)2名
 (株)アークシステム
 N R I システムテクノ(株)
 (株)ギフティ
 S k y(株)
 (株)S U B A R U
 (株)ソフトウェア・サービス
 日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)
 日本ビジネスシステムズ(株)
 パナソニックI T S(株)
 東日本旅客鉄道(株)
 (株)日立製作所
 富士ソフト(株)
 (株)ベリサーブ
 (株)ボールド
 三菱総研D C S(株)
 (株)メンバーズ
 (株)L I X I L

(2025年1月14日現在)

〈建築学部まちづくり学科〉

大学院進学(本学)12名
(株)一条工務店
(株)オオバ
(株)大林組
(株)ジェイアール東日本都市開発
昭和(株)
新菱冷熱工業(株)
住友林業緑化(株)
(株)西武リアルティソリューションズ
(株)大気社
大成建設(株)
大和ハウス工業(株)
(株)東急コミュニティー
豊島区役所
戸田建設(株)
栃木県庁
中日本航空(株)
西日本旅客鉄道(株)
東日本高速道路(株)
森ビル(株)
(株)URコミュニティ

〈建築学部建築デザイン学科〉

大学院進学(本学)39名
大学院進学(他大学)2名
(株)一条工務店
伊藤忠アーバンコミュニティ(株)
鹿島建設(株)
ジーク(株)
J F E 建材(株)
(株)J. フロント建装
(株)スタジオテンポス
(株)スペース
住友不動産(株)
住友林業(株)
積水ハウス(株)
大末建設(株)
大成建設(株)
台東区役所
大和ハウス工業(株)
(株)長谷工コーポレーション
ポラス(株)
ミサワホーム(株)
三井ホーム(株)
横浜市役所

〈建築学部建築学科〉

大学院進学(本学)17名
大学院進学(他大学)2名
旭化成ホームズ(株)
伊藤忠アーバンコミュニティ(株)
(株)N T T ファシリティーズ
(株)大林組
鹿島建設(株)
環境・省エネルギー計算センター
清水建設(株)
住友林業(株)
積水ハウス(株)
(株)大気社
大成建設(株)
大和ハウス工業(株)
(株)竹中工務店
戸田建設(株)
(一財)日本建築センター
日本測地設計(株)
(株)長谷工コーポレーション
(株)フジタ
三井ホーム(株)
Y K K A P (株)

〈大学院工学研究科機械工学専攻〉

(株)荏原製作所
(株)クボタ
(株)コーエーテクモホールディングス
(株)S U B A R U
セイコーエプソン(株)
大日本印刷(株)
千代田化工建設(株)
東海旅客鉄道(株)
トヨタ自動車(株)
(株)ニコン
日産自動車(株)
日本航空(株)
東日本旅客鉄道(株)
フクダ電子(株)
富士通(株)
本田技研工業(株)
三菱重工業(株)
三菱電機(株)
ヤマザキマザック(株)
横浜ゴム(株)

(2025年1月14日現在)

〈大学院工学研究科化学応用学専攻〉

アズワン(株)
 N O K (株)
 (株)クラレ
 シオノギファーマ(株)
 シミックファーマサイエンス(株)
 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構
 セメダイン(株)
 セントラル硝子(株)
 ソフトバンク(株)
 大和製罐(株)
 (株)タクマ
 トヨタバッテリー(株)
 日産自動車(株)
 日本パーカライジング(株)
 ピアス(株)
 (株)日立ハイテク
 プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)
 (株)明治
 (株)U A C J
 (株)L I X I L

〈大学院工学研究科建築学専攻〉

旭化成ホームズ(株)
 (株)石本建築事務所
 応用地質(株)
 (株)大林組
 国際測地(株)
 (株)J R 東日本建築設計
 (株)ジェイアール東日本都市開発
 清水建設(株)
 新宿区役所
 住友林業(株)
 相鉄不動産(株)
 (株)大気社
 大成建設(株)
 大和ハウス工業(株)
 東急不動産(株)
 東京地下鉄(株)
 (独)都市再生機構
 (株)乃村工藝社
 パシフィックコンサルタンツ(株)
 東日本旅客鉄道(株)

〈大学院工学研究科電気・電子工学専攻〉

キオクシア(株)
 スズキ(株)
 ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)
 ソフトバンク(株)
 T D K (株)
 東京エレクトロン(株)
 東京電力ホールディングス(株)
 T O P P A Nホールディングス(株)
 トヨタ自動車(株)
 日産自動車(株)
 日本碍子(株)
 (株)野村総合研究所
 日立 A s t e m o (株)
 (株)日立製作所
 (株)日立ハイテク
 日野自動車(株)
 富士電機(株)
 三菱自動車工業(株)
 ミネベアミツミ(株)
 ルネサスエレクトロニクス(株)

〈大学院工学研究科情報学専攻〉

(株)アルファシステムズ	T V S R E G Z A (株)
S B テクノロジー(株)	(株)P F U
(株)N T T ドコモ	(株)日立システムズエンジニアリングサービス
(株)学研ホールディングス	(株)日立製作所
キヤノン I T ソリューションズ(株)	富士ソフト(株)
シスメックス(株)	富士通(株)
(株)セキユアスカイ・テクノロジー	富士通 J a p a n (株)
セコム(株)	本田技研工業(株)
ソフトバンク(株)	(株)ラック
大日本印刷(株)	リコー I T ソリューションズ(株)

〈大学院工学研究科システムデザイン専攻〉

テクマトリックス(株)
 (株)デジタルフォレン
 (株)日立製作所

(2025年1月14日現在)

保護者のための就活サポートブック

就職活動では、徹底した業界・企業・職種研究を行い、大学・大学院での学び、研究を活かした「自分にとっての優良企業」を発見することが成功の鍵となります。学業に加えて、それらの研究や企業ごとの選考対策を行うのは学生にとって大きな負担です。したがって、保護者の方の理解と協力が求められます。

就職キャリア支援センターでは、保護者の方向けに就職支援関連情報を掲載したサポートブックをPDFデータで配布しております。ご家庭でのサポートやアドバイスにぜひお役立てください。



<主なコンテンツ>

- ・保護者からの支援が求められる現在の就職活動
- ・ご家庭での就活サポートのポイント
- ・工学院大学の就職サポート体制

大学ホームページよりPDFデータをダウンロードできます。

在学生・保護者の皆さま | 就職・キャリア:



保護者の皆さまにお願いしたいこと

①費用面でのサポート

オンラインの活用で交通費などはコロナ禍前より減少していますが、筆記試験対策の参考書やリクルートスーツなど、思っている以上に費用がかかります。

②メンタル面でのサポート

数ヶ月に及ぶ就職活動では、思った通りの結果が得られないこともあります。ご家庭ではぜひ一番の理解者、相談者として支えてあげてください。

③体調管理

選考試験で100%の力を出すためには、体調管理も重要です。食生活だけでなく、身の回りを整えるようなちょっとしたサポートで就職活動に専念できる環境づくりをお願いします。

④時には見守ってあげてください

保護者世代と大きく変わった就職活動に、心配になりいろいろ口をはさみとなる場面もあると思います。ご家族の理解と信頼が伝わるように、お子さまの頑張り信じて見守ってあげてください。

よくあるご質問

Q 学部卒と大学院卒の就職状況に差はありますか？

A 内定率についてはそれほどの違いはありませんが、職種によっては大学院生の方が有利な場合もあります。

内定率にそれほど違いはありません。ただし、希望の職種(研究職、設計職など)によっては大学院生が採用される場合が多くあります。また、上場企業への就職率は大学院卒の方が高い傾向にあります。

Q Uターン就職のサポートはしてくれるのでしょうか？

A 就職キャリア支援センターに集まる情報や資料、個別相談を活用いただけます。

就職キャリア支援センターでは、全国各地の自治体より送られてくる求人企業リストや合同企業説明会の案内チラシなどを随時提供しています。また、Uターンと東京近郊での就職活動を両立させるための相談にものっています。

Q 理系の女子学生は就職に不利ですか？

A 不利ではありません。理系女子学生の注目度はますます上がっています。

昨今では理系女性の活躍により業績を伸ばす企業も多く、その経済効果の高さから政府も理系女子学生を増やすための施策を講じている程です。近年では女性限定の技術職セミナーを開催する企業も多く見られ、理系女子学生の注目度はますます上がっています。

Q 低学年時からやっておいたほうが良いことはありますか？

A 勉強だけでなく、意識的にさまざまなことを経験してください。

「今しかできないこと」がたくさんあります。勉強だけでなく、意識的にさまざまなことを経験してほしいと思います。特に、部活動や委員会、サークルなど、集団で何かをするという経験は、貴重かつ重要なポイントです。また、多くの社会人と接する機会を持ち、社会との接点を増やしていくことも良いと思います。

工学院大学校友会

「工学院大学校友会」は、工学院大学、工学院大学大学院、附属高等学校、専門学校(現在は廃止)の卒業生で構成されている組織です。そのルーツとなる「工手学校同窓会」が創立されたのが1899年(明治32)で、今年は126周年となります。校友会は、学園への協力と卒業生の親睦連携を目的に活動しております。皆様のお子様は本学で日々勉強に励み、卒業されると校友会の一員となります。優秀な卒業生が多く社会に出て活躍されることを、私達は切に願っております。したがって、在校生のご父母の皆様方と、学園の先生方、および私達校友会は、この同じ目的のために協力し合える関係なのです。

以前は、後援会の地区別父母懇談会に校友会支部役員が出席し、校友(卒業生)がその地域の工学院大学出身者の就職している企業の状況をお伝えしたりしておりました。近年では、社会人になって何年目かの卒業生が就職について後援会の皆様に講演する場も設けていただきました。母校の卒業生をぜひ採用したいという企業関係者の校友もおります。

その他、日頃より何かと両者の交流を深めることは、大変有益です。ご子息ご令嬢が卒業された後も、私達校友との交流を温めて下さっている後援会OB会員も多数おられます。

なお、校友会には現在日本全国50の支部がございます。お住まいの地域の支部については、校友会事務局までお問合せください。

校友会から大学への援助

例年以下の援助を行っております。

優秀学生表彰【2024年度は大学院生6名、学部生15名(奨励金1人5万円)】

新宿祭、八王子祭への援助金(各30万円)

校友会助成金交付制度による学生活動への支援【2024年度は古武術部、モーターサイクル部、学生フォーミュラプロジェクト、他へ1件約10万円の支援】

優秀学生表彰



《お問い合わせ》

工学院大学校友会事務局

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

TEL 03-3342-2064 / 03-3340-1649 FAX 03-3342-2035

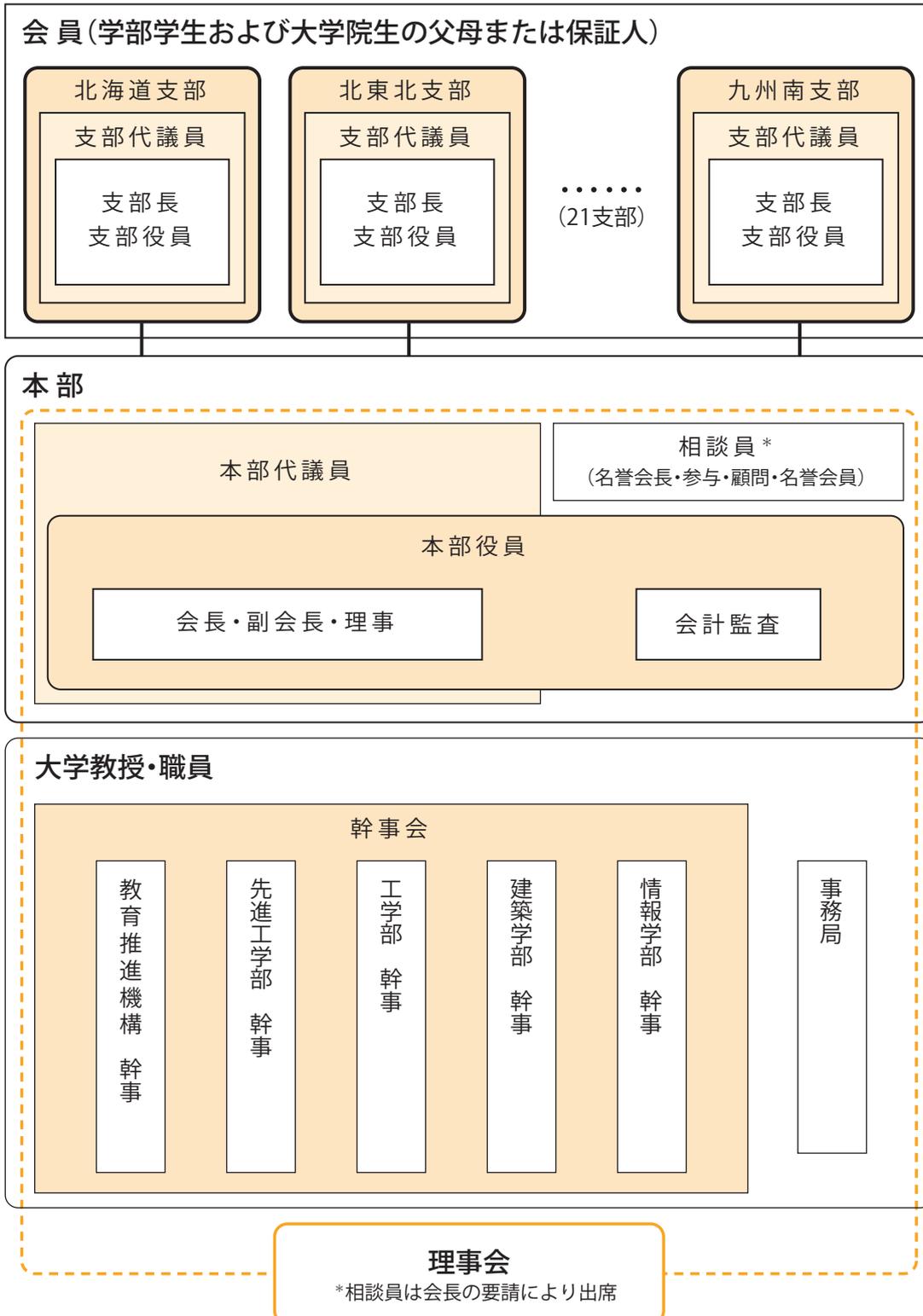
E-mail jimukyoku@kogakuin.or.jp

1

後援会の現状

後援会の組織及び役員

組織図



後援会

●後援会役員名簿(本部)

役職名	氏名	学部・学科等
会長	新田 英二	院・情修
副会長	西村 明生	院・機修
〃	片野 有一	情・コン
〃	清原 真代	建・建デ
〃	後藤 恭一	情・コン
〃	川岸 嘉啓	情・情科
〃	今村 崇樹	情・情デ
〃	大熊 邦夫	建・建築
〃	中野 志乃	院・建修
〃	稲吉 輝彦	情・情デ
理事	新野 正展	院・電修
〃	アヌマカ 恵	工・電気
〃	島田 俊也	工・機シ
〃	藤田 徳之	建・建築
〃	武淵 紫帆美	先・機理
〃	高橋 清志	建・総合
〃	倉内 久仁子	院・機修
〃	村松 理花	工・機械
〃	田口 尚枝	院・機修
〃	山内 一志	先・応物
〃	三浦 節子	先・生命
〃	林 睦	情・情通
会計監査	篠田 亜弥	院・建修
〃	西名 宏美	情・コン
〃	田中美知代	工・機械
参与	上原 洋介	院・機修・卒
〃	市川 貴之	院・化修・卒
〃	長谷川 潤治	院・情修・卒

●後援会役員名簿(支部長)

所属支部	対象都道府県	氏名	学部・学科等
北海道支部	北海道	中田 尊徳	建・建築
北東北支部	岩手・青森・秋田	水上 裕子	先・機理
南東北支部	福島・山形・宮城	鈴木 勇人	建・まち
茨城支部	茨城	坂本 由美	工・機械
栃木支部	栃木	高橋 和美	建・建デ
群馬支部	群馬	樺澤 照明	工・電気
東京支部	東京	新田 英二	院・情修
神奈川支部	神奈川	佐山 重男	情・数理
千葉支部	千葉	中野 志乃	院・建修
埼玉支部	埼玉	今村 崇樹	情・情デ
新潟支部	新潟	秋山 幸俊	建・建デ
北陸支部	富山・石川・福井	大西 史晃	情・情通
山梨支部	山梨	飯久保 敦	建・まち
長野支部	長野	鈴木 重孝	工・機械
			院・建修
静岡支部	静岡	佐藤 由利野	先・環境
中京支部	愛知・岐阜・三重	深津 朋子	院・機修
近畿支部	大阪・兵庫・和歌山 京都・滋賀・奈良	佐田野 忍	情・情デ
中国支部	山口・広島・岡山 島根・鳥取	榎木 博	情・情通
四国支部	高知・徳島 愛媛・香川	山崎 佳伸	院・電修
九州北支部	福岡・長崎 佐賀・大分	津崎 智美	先・機理
九州南支部	鹿児島・熊本 宮崎・沖縄	大城 康	建・建デ

(注) この名簿に記載されている方々の任期は、以下の通りです。

なお、「学部・学科等」は2025年4月1日現在です。

【本部役員】: 2026年開催予定の「定期総会」までとなります。

【支部長】: 2025年に各支部で開催予定の「支部総会」までとなります。

【幹事】: 2025年4月1日～2026年3月31日までとなります。

●後援会幹事名簿

(2025. 4. 1現在)

役職名	氏名	
幹事長	南 雲 紳 史	先進工学部 生命化学科 教授
副幹事長	齋 藤 正 顕	教育推進機構 基礎・教養科 教授
〃	瀬 尾 和 哉	工学部 機械工学科 教授
〃	筧 淳 夫	建築学部 建築デザイン学科 教授
〃	近 藤 公 久	情報学部 情報デザイン学科 教授

2

後援会の現状

事業内容の紹介

2025年度事業計画(案)

1. 大学への援助	1-①	<p>学校法人140周年記念事業への援助のための基金積立 《3年目の積立》</p> <p>2025年度10月積立予定</p> <p>(2024年度 2024年10月11日 積立実施)</p>
	1-②	<p>大学厚生施設の充実のための援助 《基金》</p> <p>2025年度は積立予定なし</p> <p>(2024年度 2024年10月11日 積立実施)</p>
	1-③	<p>「卒業記念祝賀会」及び 同記念品代等の援助</p> <p>卒業記念祝賀会 2026年3月大学へ寄付予定</p> <p>卒業記念祝賀会補助、卒業・修了記念品(2024年度実績:記念品、証書フォルダ、手提げ袋)</p>
	1-④	<p>各学部・学科への学生の福利・厚生のための援助</p> <p>学部・学科系列ごとに、後援会幹事所管の下、学生の福利・厚生のための援助を行う。</p> <p>執行事例:実験時の暑熱対策飲料、卒論・修論発表会サポート学生アルバイト代、院生室用椅子、机研究室用の複合機、加湿器、サーキュレーター、空気清浄機、掃除機、ハードディスク、USBメモリ、本(専門書)、研究室懇親会費(会食・飲料)、学生の学会・講習会参加費用、実験被験者への謝礼、卒論要旨集のデータUSB作成、研修旅行食事代、語学研修(ニュージーランド・イギリス)の博物館入館料など</p>
	1-⑤	<p>大学との共催イベントへの援助</p> <p>大学と後援会の共催イベントにかかる謝礼のための援助を行う。</p> <p>支部行事、キャンパス見学会、就職と進学に関する講演会、学部援助金による卒業研究発表会等の謝礼分を年度末に寄付予定</p>
2. 学生への援助	2-①	<p>「大学後援会給付奨学金」の給付 《基金》</p> <p>主たる家計支持者の逝去に伴い経済的な理由で修学困難な学生に対し支援を行う「大学後援会給付奨学金」のための基金を積み立て。</p> <p>奨学生採用時には奨学金相当額を大学に寄付。</p> <p>2025年度は現在 対象者7名の予定</p> <p>2024年度実績:2024年6月24日 後援会給付奨学金(前期)6名、11月21日 後期分1名</p>
	2-②	<p>学生のクラブ活動(体育会・文化会)に対する援助</p> <p>学生のクラブ活動に対する援助として大学に寄付を行う。寄付金は、大学の学生団体顧問会議にて各クラブに予算配分が行われ、クラブ活動の経費(旅費、消耗品、備品等)に例年活用されている。</p>
	2-③	<p>学園祭に対する援助</p> <p>八王子祭、新宿祭への援助として大学に寄付。</p> <p>2025年度は7月に寄付予定</p> <p>2024年度 八王子祭・・・9月7日・8日に実施、来場者3665名(2日間計) 新宿祭・・・11月22日～24日に実施、来場者4,951名(3日間計)</p>
	2-④	<p>学生プロジェクトに対する援助</p> <p>学生プロジェクトの活動に対する援助として大学に寄付を行う。</p> <p>2025年度は9団体より申請があり、3月の学生支援委員会で各学生プロジェクトへの予算配分案を検討。</p>

後援会

3. 会員相互活動への援助	3-①	保護者向け動画の作成 父母懇談会にて上映する後援会紹介動画制作。 2025年度4月執行予定。
	3-②	「後援会のしおり」の作成 学部1年生のみ冊子を郵送し、全会員がHPでデータを閲覧できるよう2025年度より変更。 発送および父母懇談会での閲覧用で3000冊を印刷予定。
	3-③	「支部総会ならびに父母懇談会」の開催 2025年5月～7月にかけて、21支部で支部総会ならびに父母懇談会を実施予定。 2026年度以降は会場の選定、一部説明のオンライン化・利用時間圧縮を含め会場費・旅費削減の検討。 2024年度実績 5月～7月にかけて21支部にて実施し、合計で832名の参加者があった。
	3-④	「キャンパス見学会」の開催(八王子キャンパス) 2025年度は八王子キャンパスのみで開催方式を変更し、実施予定。 2024年度 実績 参加人数 9月28日 新宿 188名 八王子 109名 10月5日 新宿 284名 八王子 137名 合計718名
	3-⑤	「就職と進学に関するオンライン講演会」の実施 後援会会員(ご父母等)を対象とした就職活動や大学院進学についてのオンライン講演会。 2026年2月実施予定 2024年度 実績 2025年2月15日開催、参加者 1002名
	3-⑥	支部活動に対する後援 内訳 支部運営費、キャンパス見学補助費、ICT支援 ≪支部運営費≫ 2024年度は5月31日に21支部に振込。 ≪キャンパス見学会補助金≫ 支部運営費と同時に振込。 ≪ICT整備支援≫ 支部活動の活性化のため、ICT整備に必要な支援を行う。 ライセンス等値上げ可能性あり 2024年度実績 ポケットWi-Fi利用料、各支部用 Google Workspace ライセンス、ZOOMライセンス年間利用料、その他
	3-⑦	後援会創立80周年記念事業(2029年)のための基金積立《6年目の積立》 後援会創立80周年記念事業のための基金積立。 前回70周年は2019年に3色ボールペンを作成。
	3-⑧	学部1年生保護者向けオンライン個別面談 2025年10月実施予定。 2024年度は、2024年10月12日、19日、26日に実施。 参加者118名

以上17事業

■大学後援会寄付状況(2019~2024年)

(単位:円)

年度	大学関係	
19 (R1)	学生クラブ等	7,000,000
	各学科援助	3,435,117
	卒業・修了祝菓子*	3,071,520
	卒業記念品等	5,156,672
	学園祭	1,000,000
	学生の特別課外活動	2,000,000
	後援会給付奨学金	13,321,000
	*卒業記念祝賀会中止のため、代わりに祝菓子を贈呈	
	合計	34,984,309
20 (R2)	学生クラブ等	3,500,000
	各学科援助	2,372,309
	卒業記念品等*	15,735,395
	学生の特別課外活動	1,000,000
	後援会給付奨学金	6,286,840
	*卒業記念祝賀会開催中止のため、卒業/修了記念品に加え、QUOカード五千円を卒業/修了生に贈呈。	
	合計	28,894,544
21 (R3)	学生クラブ等	6,000,000
	各学科援助	2,404,892
	卒業記念品等*	14,901,700
	学生の特別課外活動	1,000,000
	後援会給付奨学金	2,291,500
	*卒業記念祝賀会開催中止のため、卒業/修了記念品に加え、QUOカード五千円を卒業/修了生に贈呈。	
合計	26,598,092	
22 (R4)	学生クラブ等	5,700,000
	各学科援助	2,664,014
	卒業記念品等*	14,775,100
	学生の特別課外活動	1,000,000
	後援会給付奨学金	10,762,340
	*卒業記念祝賀会開催中止のため、卒業/修了記念品に加え、QUOカード五千円を卒業/修了生に贈呈。	
合計	34,901,454	
23 (R5)	学生クラブ等	5,800,000
	各学科援助	2,967,656
	卒業記念品等	16,441,600
	学生の特別課外活動	1,000,000
	後援会給付奨学金	11,240,180
	ソーラーチームへの援助	1,700,000
合計	39,149,436	
24 (R6)	学生クラブ等	6,500,000
	各学科援助	3,493,074
	卒業記念品等	15,440,750
	学生の特別課外活動	1,000,000
	後援会給付奨学金	9,914,340
	松風舎バーベキュー場改修	16,500,000
合計	52,848,164	

父母懇談会

毎年、全国の21支部において「父母懇談会」を開催しています。「父母懇談会」は、ご父母と大学の相互理解を深めるとともに、各学部・学科の先生方と、大学の現状、子供の学業成績、学生活動全般について情報交換することを目的とした有意義な集いです。

1年生のご父母には、学修方法、学生生活全般などについての説明、また、2年生以上のご父母には、学修状況、就職、卒業論文等について、個人面談(オンライン面談)を実施しております。例年、全21支部で総数約1,200名のご父母のご出席があり、ご好評いただいております。子供のことを良く理解するために是非父母懇談会をご活用ください。

■全体会

大学の先生方から、次のような内容について説明があります。

- ・大学教育について
- ・工学院大学のこと
- ・学生の生活状況、1年間の主なスケジュール、就職状況
- ・卒業までに必要なこと(単位取得等) 等

■懇談・面談

①1年生のご父母：懇談

先生方から、現地にて個人時間割等を使って、卒業に必要な年次ごとの単位修得や大学内外での生活等について具体的な説明があります。また、ご父母の皆様からの質問等に、先生方が直接答えてくださいます。順調に4年間で大学を卒業するために有益な説明です。

②2年生以上のご父母：面談

先生との個別面談(オンライン面談)により、子供の成績や問題点、今後必要になること等について相談ができます。また、今後のアドバイスなど、先生方が直接答えてくださいます。

■懇親会

面談終了後、会員の皆様の親睦を深める懇親会を開催しております。



2025年度父母懇談会日程表

開催日	支部名	開催場所	対象都道府県
5月18日(日)	北海道支部	札幌市 ANAクラウンプラザホテル札幌	北海道
5月18日(日)	中京支部	名古屋市 「メルパルク名古屋」	愛知・岐阜・三重
5月24日(土)	長野支部	長野市 「シャトレゼホテル」	長野
5月25日(日)	群馬支部	高崎市 「高崎ワシントンホテルプラザ」	群馬
5月25日(日)	静岡支部	静岡市 「ホテルグランヒルズ静岡」	静岡
5月25日(日)	北陸支部	富山市 「ホテルグランテラス富山」	富山・石川・福井
5月31日(土)	南東北支部	仙台市 「仙台国際ホテル」	福島・山形・宮城
5月31日(土)	中国支部	広島市 「広島ガーデンパレス」	山口・広島・岡山 島根・鳥取
6月1日(日)	近畿支部	大阪市 「ANAクラウンプラザホテル大阪」	大阪・兵庫・和歌山 京都・滋賀・奈良
6月1日(日)	新潟支部	新潟市 「ANAクラウンプラザホテル新潟」	新潟
6月7日(土)	東京支部	本学 「新宿キャンパス」	東京
6月21日(土)	茨城支部	つくば市 「ホテル日航つくば」	茨城
6月22日(日)	埼玉支部	さいたま市 「ロイヤルパインズホテル浦和」	埼玉
6月29日(日)	千葉支部	千葉市 「ロイヤルパインズホテル千葉」	千葉
6月29日(日)	九州北支部	福岡市 「ANAクラウンプラザホテル福岡」	福岡・長崎 佐賀・大分
6月29日(日)	九州南支部	那覇市 「パシフィックホテル沖縄」	熊本・宮崎 鹿児島・沖縄
7月5日(土)	北東北支部	盛岡市 「ホテルメトロポリタン盛岡本館」	岩手・青森・秋田
7月5日(土)	神奈川支部	横浜市 「新横浜プリンスホテル」	神奈川
7月12日(土)	栃木支部	宇都宮市 「ホテル東日本宇都宮」	栃木
7月13日(日)	山梨支部	甲府市 「甲府記念日ホテル」	山梨
7月13日(日)	四国支部	高松市 「JRホテルクレメント高松」	香川・徳島 愛媛・高知

※上記内容は、変更となる場合があります。

キャンパス見学会

後援会では活動の一環として、毎年9月と10月に八王子・新宿両キャンパスにて、「キャンパス見学会」を開催しています。通常では見ることのできない子ども達の学び舎である大学の施設・設備・研究室など見学します。（新宿キャンパスが大規模改修工事のため、2025年度は八王子キャンパスのみの開催となります。）

■全体会

キャンパスの概要や施設・設備の見どころを説明します。

■学部・学科別のキャンパス見学

学部ごとのグループに分かれ、施設・設備・研究室等を見学します。

新宿キャンパス:

図書館、製図室・CAD室、PC演習室、ラーニングコモンズB-ICHI、就職キャリア支援センター、実験室、アトリウム、アーバンテックホール等

八王子キャンパス:

総合教育棟、スチューデントセンター、2号館-4号館、工房・化学実験棟、シーキューブ、ふらっと、体育館、弓道場・ボクシング場、セミナーハウス松風舎等

<新宿キャンパス>



<八王子キャンパス>



■後援会 支部行事の紹介

工学院大学後援会は全国に21支部あり、各支部が本学の先生方をお招きして講演会や研修会などの行事を開催しています。その活動内容をここにご紹介いたします。

それぞれの支部の講演会や見学会は、各役員が趣向を凝らし、バラエティに富んだ内容となっています。また、支部間において情報交換をしたり、参加しあつたりと、「支部間交流」も活発になってきています。こちらでご紹介している以外にも、多くの行事を開催していますので、後援会ホームページをぜひご覧ください。

<https://koenkai.kogakuin.ac.jp/>

会員のみなさん！ 後援会行事にぜひご参加ください

後援会ホームページ



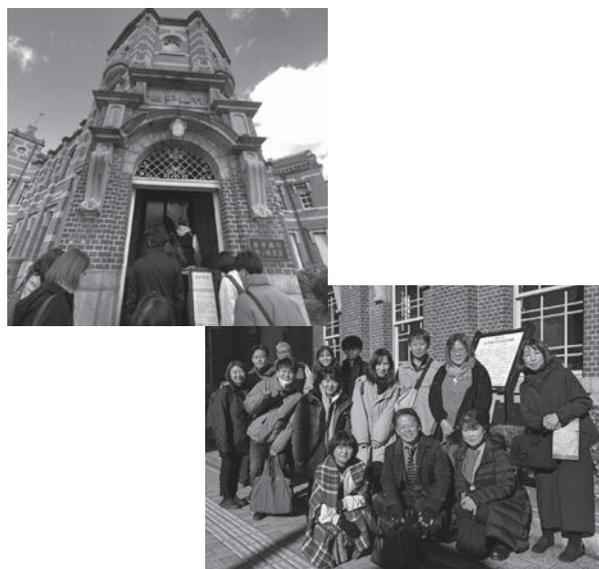
北海道支部

昨年度は、まず10月のキャンパス見学会に支部会員9名が参加し、子どもたちも加えて計13名の懇親会で楽しいひと時を過ごしました。11月には札幌で情報学部情報デザイン学科教授 田中久弥先生を迎え、「なぜすべての大学生にAI教育が必要なのか」をテーマに研修会を実施、卒業生による就職活動や職場紹介も行われ、有意義な内容となりました。その後、札幌の新設水族館「AOAO SAPPORO」を見学、懇親会で交流を深めました。



北東北支部

昨年9月八王子キャンパス見学会、12月には、ご夫婦、お子様の参加を募り、講師に建築学部建築学科教授 田村雅紀先生をお招きし、総勢16名で盛岡花巻散策ツアーを開催しました。わんこ蕎麦大会は大いに盛り上がり、中でも岩手銀行赤レンガ館では、復原改修工事に携わった田村先生から、直接お話を伺う贅沢な時間を過ごすことができました。今後も会員の皆様と楽しい交流の場となればと思います。ぜひご参加お待ちしております。



南東北支部

南東北支部では昨年11月に研修会を開催しました。「晩秋の福島～奥の細道・飯坂温泉を訪ねて～」と題し、飯坂温泉街の国登録有形文化財なかむらや旅館見学や観光文化交流施設旧堀切邸で足湯体験をし、次に建築学部まちづくり学科の平山先生の講演会「環境共生分野から見た気候変動が建築・都市環境に与える影響」を行いました。夜には夜景を眺めながらフルコースディナーで親睦を深めました。今後も楽しい活動を計画して参ります。



栃木支部

7月にホテル東日本宇都宮のバルテールで新会員歓迎会を開催し、11月にはホテルマイステイズ宇都宮で、情報学部情報科学科教授 大和先生による講演会「ゲームとベクトルと人工知能」を実施しました。講演後の懇親会では学生たちの様子や就職に関する話を伺いました。2月には親睦会「チームラボ&千客万来バスツアー」を開催しました。今年度も会員の皆さんが交流を深める機会を提供したいと考えていますので、ぜひご参加ください。



茨城支部

昨年度は6月に支部総会・父母懇談会、9月に新宿キャンパス見学会、10月には横浜で支部行事を開催しました。懇談会では工学部機械工学科教授の瀬尾先生に、工学院大学でのSDGsの取り組みやスポーツ工学についてお話いただき、親睦を深めることができました。またEXPO2025に、企業と共創した工学院大VRプロジェクト「メタバースを通じ世界をつなぐSDGs学習空間」が展覧されます。今年度の行事を通じ、親睦を深めていければと思います。



群馬支部

昨年度の群馬支部では、4月に新1年生歓迎行事で高崎市のイベント会場にて先進工学部応用化学科教授 阿相先生を講師にお招きして、講演会を実施しました。その後の懇親会ではイタリア料理店を貸し切って、楽しく美味しく盛り上がりました。10月にはキャンパス見学会(新宿キャンパス)に大型バスをチャーターし、キャンパス隣のホテルでランチをいただき、各学部毎にツアー形式で見学を楽しみました。



後援会

東京支部

昨年度は、八王子キャンパスでの講演会(9月と3月)と、代議員向け施設研修会(11月)として副学長で建築学部まちづくり学科教授 野澤先生を迎えた「オリンピックミュージアム見学と外苑散策」を開催しました。2回の講演会では、先生の講演と学生プロジェクトの報告により、活動に打ち込む大勢の学生さんたちを知る機会となりました。今後も工学院大学を深く知るための行事を企画していきますので、ぜひ行事にご参加ください。



神奈川支部

主な活動は、支部活動説明会(新入生ご父母対象)、文化講演会、文化見学会を開催しています。昨年の文化見学会では、「学びと楽しみく海から眺める横浜」をテーマに、副学長で建築学部まちづくり学科教授 野澤先生の講演「これからの時代、都市更新はどうやっていくべきか?」と横浜港クルーズを行いました。参加者から「講演内容が大変興味深い。」「普段見ることのできない横浜港からの眺めを楽しめた。」と好評でした。



千葉支部

昨年度は9月に先進工学部環境化学科教授 並木則和先生をお招きして、大気環境に関する講演会、12月には羽田空港「JAL SKY MUSEUM」・整備工場の見学と先進工学部機械理工学科教授 武沢英樹先生によるジェットエンジン加工技術や航空理工学専攻についての講演を併せた社会見学会を開催しました。どちらも先生と学生さんに懇親会までご参加いただき、充実した内容となりました。今後も楽しい行事を実施します。ぜひご参加ください。



埼玉支部

5月に新宿キャンパスにて新入生御父母歓迎会を開催し、国際キャリア科教授二上先生のご講演と現役学生を交えて懇親会を実施。9月には大宮で代議員会を開催し、先進工学部応用化学科 教授飯島先生のご講演、12月は研修会を企画し、本庄市で工学部電気電子工学科教授 斎藤先生のご講演後、世界遺産富岡製糸場を見学。バスの中でも楽しいレクを通じて参加者との絆を深めました。皆様のご参加を役員一同、心よりお待ちしております。



新潟支部

昨年度の支部行事としては、9月7日に開催された「八王子祭」の視察研修を行いました。親元を離れ頑張っている子どもたちが大学生活を送っているキャンパスを訪問し、学生の活気を感じるとともに、親子で八王子祭を楽しむことで、大学を身近に感じることができました。また、お子さんが生活している街並みを感じることもでき、大学生活の充実を実感できました。今後も会員の皆様のご参加をお待ちしております。



山梨支部

昨年度は7月に甲府記念日ホテルにて支部総会および父母懇談会が開催され、9月には新宿キャンパス見学会へ参加しました。キャンパス見学会では貸切りバスを利用し新宿へ移動、昼食は京王プラザホテルのランチバイキングで親睦を深めながら楽しむことができました。また支部懇親会を開催し会員同士の交流、情報交換をしています。今年度も楽しい後援会活動にしたいと思いますので、皆さんの参加をお願いします。



北陸支部

昨年度の支部行事として、6月8日に支部総会および父母懇談会を開催しました。また、9月28日には新宿で、10月5日には八王子でキャンパス見学会を実施し、普段は入ることのできない大学の施設を見学することができ、大変有意義な行事となりました。今年度は、昨年度以上に多くの方々に後援会活動にご参加いただき、支部会員同士の交流を深めていきたいと考えております。皆さんの積極的なご参加を心よりお待ちしております。



長野支部

長野支部は本部主催の行事に加えて、2つの支部行事を開催しています。1つは役員による「新年会」、もう1つは秋の「就職講演会及びキャンパス見学報告会」です。2023年度は「軽井沢プリンスホテル」、昨年度は「上諏訪温泉ホテル紅や」を会場として、それぞれ盛大に開催し、長野支部会員、本部役員、他支部役員合わせて30余名で昼食会も兼ねて交流を深めています。



後援会

静岡支部

昨年度の支部行事では、12月1日にホテルアソシア静岡で会員を対象に講演会と懇親会を実施しました。講演会では、先進工学部環境化学科教授赤松先生が「膜」に関する研究内容を紹介され、皆さんは関心を持って聞いていらっしゃいました。懇親会では、食事を楽しみながら交流を深め、会員同士の親睦が図られました。今年度も交流の場を計画しておりますので、皆さんのご参加をお待ちしています。



近畿支部

昨年度は「保護者が集える場所の提供」を基本方針の一つとし活動しました。秋の見学会では大阪中心部にある梅田スカイビルガイドツアーを実施。見学会から懇親会まで保護者の皆様は学校についての話に花が咲き、いろいろな情報交換をされました。また、新宿でのキャンパス見学会後の懇親会には、学生8人も参加してくれ、笑顔のあふれる時間を過ごすことができました。本年度も有意義な後援会活動となるようご支援ください。



中京支部

昨年度は6月に支部総会を開催し、9月の八王子キャンパス見学会は27名の会員が参加し、現役学生引率のもと楽しく校内を見学しました。研究室では教授の指導を受け研究に励む学生の姿も見ることができました。12月には支部主催行事で工学部機械システム工学科教授 大石先生をお招きし、研究内容と就職についての講演会をしました。その後の懇親会では会員同士の交流を深め、楽しい時間を過ごしました。皆さんもぜひご参加ください。



中国支部

昨年度は中国5県の支部会員が集まる場として6月22日に広島駅近くの広島ガーデンパレスにて中国支部総会・父母懇談会・懇親会を開催しました。また、9月28日新宿キャンパス見学会、10月5日八王子キャンパス見学会に計16名で参加しました。概要は以下QRコードより大学後援会HP中国支部のページをご覧ください。今年度は5月の支部総会でスタート予定です。交通費の補助もありますので会員の皆さんのご参加をお待ちしております。



四国支部

昨年度は、キャンパス見学会、支部総会、父母懇談会がありました。キャンパス見学会には新宿4名、八王子8名の参加があり、子ども達の学生生活を垣間見ることができました。12月8日には父母2名が、千葉支部のご案内で、羽田空港にてJAL SKY MUSEUM・整備工場の見学会、先進工学部機械理工学科教授 武沢先生の講演会に参加し、支部間交流が実現しました。後援会では様々な交流の場を準備しています。多くのご参加をお願いします。



九州南支部

昨年度は、10月新宿キャンパスを訪問し在学生の案内のもと構内を見学しました。1月には福岡市内において九州北支部と合同で、建築学部建築デザイン学科教授 塩見一郎先生をお迎えし、講演会を開催しました。懇親会では、先生を囲んで楽しいひとときを過ごしました。2～3月には支部の4県において、父母交流会を行いました。こうした活動を通じ、子どもたちの様子を知ることができ、交流も深まります。ご参加をお待ちしております。



九州北支部

主な活動は支部定期総会、秋のキャンパス見学会への参加、九州南支部合同講演会です。講演会は建築学部建築デザイン学科教授 塩見一郎先生より「お店屋さんごっこ それぞれのブランディング～スターボックスを通してブランディングを考える～」と題した講演をいただきました。講師は役員のご子息ご息女の推薦で選定します。懇親会では先生や保護者の方々と心配事の相談やアットホームな交流も可能です。ぜひご参加ください。



後援会の活動は会員の皆さんのボランティアに支えられています

工学院大学の後援会は、小中高のPTAや他大学の後援会とは違い、大変ユニークな活動を行っています。その活動は、中心となって活動を進める「理事」の皆さんのボランティア活動に支えられています。ぜひ私たちと一緒に後援会活動をしてみませんか？

ボランティア活動ですので、ご都合のよい時にご参加いただければ大丈夫です。

「理事」になることで、大学の先生方とお話する機会も増え、お子様の様子なども直接伺うチャンスもあります。

後援会活動にご興味のある方は、下記までお気がるにご連絡ください。

お問い合わせ先

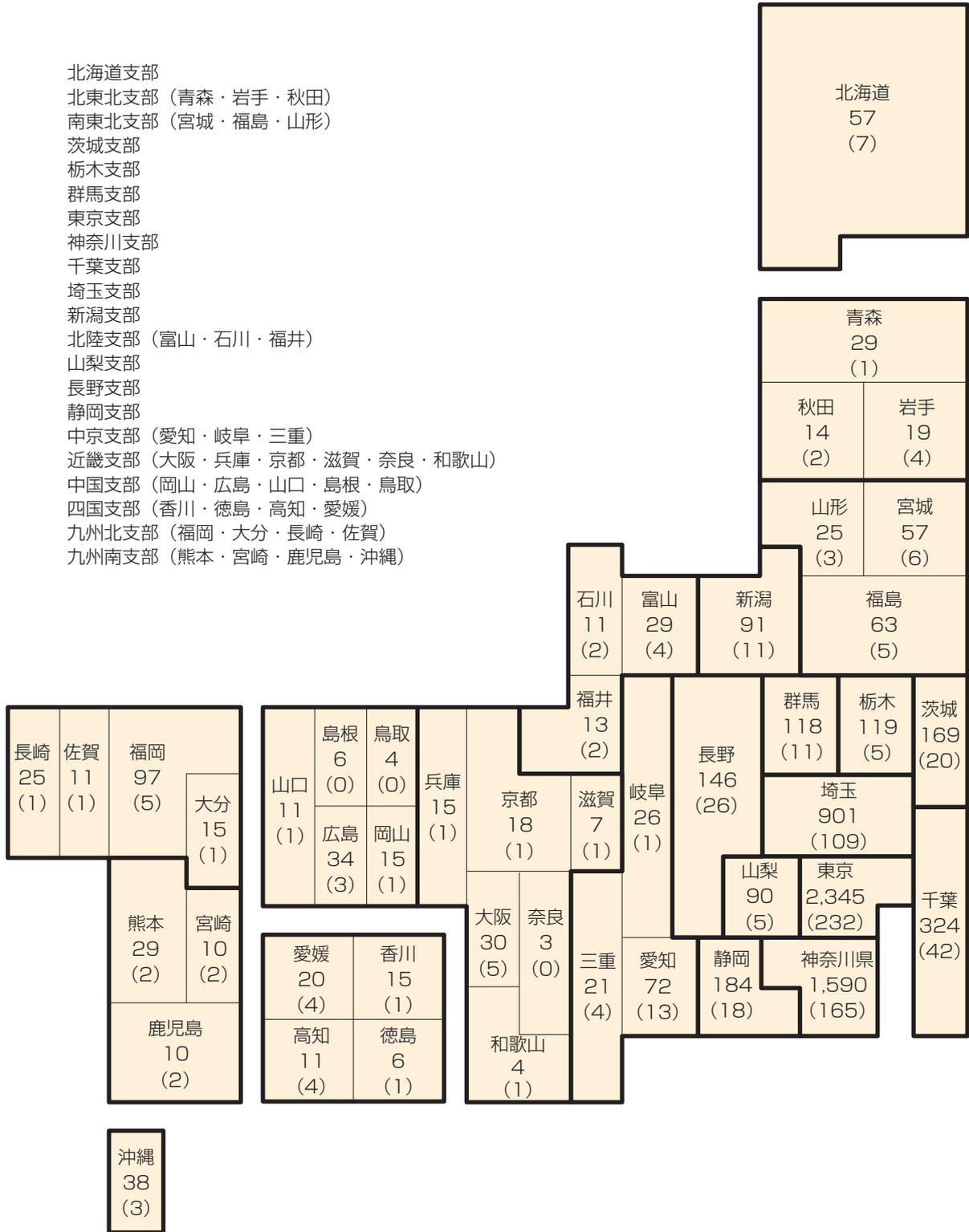
工学院大学後援会事務局(学生支援課内)

TEL:03-3348-5255

Mail:kouenkai@sc.kogakuin.ac.jp

●在住都道府県別会員数一覧表(2025年4月1日現在)

- 北海道支部
- 北東北支部 (青森・岩手・秋田)
- 南東北支部 (宮城・福島・山形)
- 茨城支部
- 栃木支部
- 群馬支部
- 東京支部
- 神奈川支部
- 千葉支部
- 埼玉支部
- 新潟支部
- 北陸支部 (富山・石川・福井)
- 山梨支部
- 長野支部
- 静岡支部
- 中京支部 (愛知・岐阜・三重)
- 近畿支部 (大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山)
- 中国支部 (岡山・広島・山口・島根・鳥取)
- 四国支部 (香川・徳島・高知・愛媛)
- 九州北支部 (福岡・大分・長崎・佐賀)
- 九州南支部 (熊本・宮崎・鹿児島・沖縄)



一般会員数 6,947
(内 大学院会員数) (739)

工学院大学後援会 会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は、工学院大学後援会と称する。
- 第2条 本会は大学と協力して、学生生活の向上ならびに、父母または保証人への支援を図り、併せて大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。
1. 学生の文化・体育等の諸活動の後援
 2. 学生・教職員の福利・厚生施設の設備への援助
 3. 学生の学習、課外活動等への援助
 4. 大学ならびに、教員と父母または保証人とのコミュニケーションを目的とした、「父母懇談会」、「キャンパス見学会」、「就職と進学に関する講演会」等、本部行事の開催
 5. 大学の諸事業の後援
- 第4条 本会は、支部を設けることができる。各支部は、支部規約(準則)に基づき、支部規約を定め独自に運営する。
- 第5条 本会の運営執行に関し、別に細則を定める。
- 第6条 本会の本部および事務局(大学後援会事務局)は、工学院大学新宿校舎内に置く。
- 第7条 会員名簿、出納簿および議事要録は事務局に常備しておく。

第2章 会 員

- 第8条 本会は、次の構成員を以て組織する。
1. 会 員 学部学生および大学院生の父母または同保証人とする。
ただし、外国人留学生の父母または同保証人は除く。
 2. 相談員 名誉会長、参与、顧問、名誉会員とし、別に細則を定める。
- 第9条 会員は学生の大学または大学院入学と同時に入会し、卒業・修了・退学・除籍をもって退会とする。

第3章 本部代議員、本部役員、相談員、幹事

- 第10条 本会には会員の中より次に定める本部代議員、本部役員と相談員を置く。
1. 本部代議員 会員の中より、86名以内の本部代議員(以下、「代議員」という。)を置く
 2. 本 部 理 事 会員の中より、会長、副会長を含め23名以内の本部理事(以下、「理事」という。)を置く
 3. 会 計 監 査 会員の中より、3名の会計監査を置く
 4. 正 副 会 長 理事の中より、1名の会長、9名以内の副会長を置く
 5. 相 談 員 名誉会長、参与、顧問、名誉会員とし、別に細則を定める
 6. 会長、副会長を含む理事および会計監査を本部役員(以下、「役員」という。)という
- 第11条 会長は、本会を代表し会務を統轄する。
- (2)副会長は、会長を補佐し、会長に事故があったとき、または欠けたときは、予め理事会で順位を付けて指名された副会長が会長の職務を代行する。
 - (3)理事は、本会の会務および事業の立案・執行にあたる。
 - (4)会計監査は、本会の会計を監査する。

(5)代議員は、重要な事項について審議する。

第12条 代議員、役員および、相談員の選出は、次の通り次期役員候補者の案を当期の理事会が代議員会までに選出する。

1. 代議員候補者は、会員の中から理事会で選出する
2. 会計監査候補者は、会員の中から理事会で選出する
3. 理事候補者は、代議員候補者の中から理事会で選出する
4. 会長候補者は、理事候補者の互選によって選出する
ただし、互選によらないで、動議その他の方法により選出することができる
5. 副会長候補者は、理事候補者の中から会長候補者が委嘱する
6. 相談員候補者は、別途定める細則に従い会長候補者が委嘱する

(2)理事会で選出した次期役員候補者の案は、代議員会の承認を得る。

(3)代議員会で承認を得た次期役員候補者の案は、定期総会にて承認を得て決定する。

(4)役員に欠員が生じ、補充するときは、理事会において後任を選任し、代議員会の承認を得る。

第13条 代議員および役員の任期は原則1年とし、再任を妨げない。

(2)任期は、原則として選出された定期総会から翌年度の定期総会までとし、次期代議員および会員が決定するまでは、その責に任ずる。

(3)欠員補充のため選出された代議員および役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第14条 幹事会の幹事は、教育推進機構から教授1名、各学部から教授1名が選出される。

(2)幹事から、幹事長1名を互選によって定め、他は副幹事長とする。

(3)幹事会は理事会の諮問に応じ、会務が円滑に処理されるように図るとともに、大学からの意見・要望を理事会に伝える。

(4)幹事の任期は4月1日から翌年の3月31日までとし、再任を妨げない。

第4章 総会、理事会、正副会長・幹事会、代議員会、 および全国支部長会議

第15条 定期総会は毎年5月に会長が開催する。

(2)総会は会員の出席により成立し、出席会員の2分の1以上の賛成により承認を得る。

(3)会員もしくは、代議員の5分の1以上の要請があった場合、会長は臨時に総会を開催しなければならない。

(4)会計監査からの要請があり理事会で開催を認めた場合、会長は臨時に総会を開催しなければならない。

第16条 定期総会において、次の事項について審議し、承認を求める。

1. 決算報告および事業報告に関する事項
2. 次年度予算および次年度事業計画に関する事項
3. 本会則の改定に関する事項
4. 代議員、会計監査の選出
5. 会長の選出
6. 副会長および、相談員の委嘱
7. その他、理事会が特に必要と認めた事項

第17条 理事会は、理事、幹事、会計監査、事務局員および、会長が招集した相談員をもって構成され随時開催し、会務および事業の立案執行にあたる。

(2)理事会の議長は、会長が務める。会長が欠席の場合はあらかじめ理事会で順位を付けて指名された副会長が務める。

(3)理事会は、委任を含む理事の2分の1以上の出席により成立し、出席理事の2分の1以上の賛成により議決する。ただし、賛否同数となった場合は、議長が決する。

(4)理事の3分の2以上または代議員の2分の1以上が、付議事項を示して理事会の開催を求めた場合は、会長は理事会を開催しなければならない。

(5)理事会には理事会構成員以外の出席を認めることができる。ただし議決に加わることはできない。

(6)理事が理事会を欠席する場合は、事前に委任状を提出することで、当日の出席者による決議に対して同意するものとする。

第18条 正副会長・幹事会は、会長または副会長または幹事長の招集により随時開催し、理事会の議案等について事前に協議する。

第19条 代議員会は原則年1回開催し、次の会務について審議および、決議を行う。

1. 決算報告案および、事業報告案に関する事項
2. 次年度予算案および、次年度事業計画案に関する事項
3. 本会則の改定案に関する事項
4. 次期代議員候補者、会計監査候補者の選出案
5. 次期会長候補者の選出案
6. 次期副会長候補者および、相談員候補者の委嘱案
7. その他、理事会が特に必要と認めた事項

(2)代議員会は、代議員の2分の1以上の出席および委任状により成立し、出席代議員の2分の1以上の賛成により議決する。

(3)代議員の3分の1以上が、付議事項を示して代議員会の開催を求めた場合、会長は代議員会を開催しなければならない。

(4)会計監査が付議事項を示して代議員会の開催を求め、理事会にて開催を認めた場合、会長は代議員会を開催しなければならない。

(5)代議員が代議員会を欠席する場合は、事前に委任状を提出することで、当日の出席者による決議に対して同意するものとする。

第20条 理事会、代議員会、正副会長・幹事会での審議ならびに決議方法については次の通りとする。

(2)審議の方法。

1. 対面による審議
2. ICTを活用したりリモートでの審議
3. 上記1. および2. の併用
4. 書面による審議

(3)決議の方法

1. 対面およびICTを利用したりリモートでの挙手
2. メールもしくはICTを活用した投票

第21条 全国支部長会議は、原則として年1回開催するものとする。

第22条 総会、理事会、代議員会および全国支部長会議は、会長が招集する。

第23条 相談員は、会長の要請により、理事会に出席し、意見を述べるができる。

第5章 会費および会計

第24条 本会の運営費は会費、入会金および寄付金をもってあてる。

第25条 会員は、入会金および会費を納入する。

(2)相談員には会費の納入を求めない。

第26条 入会金および会費は別に細則に定める。

第27条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(2)第1項に定める会計年度の開始後、総会にて承認を得るまでの間に予算案に関する経費の支出が必要であるため、次年度の行事予定案をもって、支出を行うことを認める。

(3)第2項と同様に、支部行事への本部役員、講師の派遣費用についても、支出を行うことを認める。

(4)次年度本部行事予定および支部行事への派遣以外に予算案の支出が必要な場合は、理事会の承認を得てその支出を行うことができる。

第28条 総会にて予算成立後、やむを得ない事由により当該予算を変更する必要がある場合は、補正予算を理事会で策定し、代議員会の承認を得なければならない

附 則

1. 本会則は昭和25年9月1日から施行する。
2. 本会則は昭和49年11月9日から施行する。
3. 本会則は昭和52年6月25日から施行する。
4. 本会則は昭和54年7月14日から施行する。
5. 本会則は昭和56年6月20日から施行する。
6. 本会則は昭和57年6月26日から施行する。
7. 本会則は昭和58年6月18日から施行する。
8. 本会則は昭和59年6月23日から施行する。
9. 本会則は平成元年6月24日から施行する。
10. 本会則は平成2年2月21日から施行する。
11. 本会則は平成4年4月1日から施行する。
12. 本会則は平成8年5月25日から施行する。
13. 本会則は平成9年5月24日から施行する。
14. 本会則は平成13年4月1日から施行する。
15. 本会則は平成18年4月1日から施行する。
16. 本会則は平成19年5月19日から施行する。
17. 本会則は平成20年5月17日から施行する。
18. 本会則は平成23年5月14日から施行する。
19. 本会則は平成24年5月12日から施行する。
20. 本会則は平成27年5月9日から施行する。
22. 本会則は平成29年5月6日から施行する。
23. 本会則は平成30年4月1日から施行する。
24. 本会則は令和4年5月7日から施行する。
25. 本会則は令和6年5月11日から施行する。

工学院大学後援会支部規約(準則)

(目的)

第1条 後援会〇〇支部は、支部会員の意向を後援会本部の活動に反映し、出身学生の福利厚生に寄与することを目的とする。

(支部の構成)

第2条 支部は〇〇県の会員により構成し運営される。
2. 支部事務局は、支部長が定めるものとする。

(支部代議員)

第3条 支部には、△△名以内の支部代議員を置く。その選出は支部総会において、会員の中から選出する。

(支部役員等)

第4条 支部の執行機関として支部長1名、副支部長〇名、会計△名、会計監査□名(以上を支部役員という)を置き、支部代議員の中から選出する。
2. 支部には、〇名以内の支部顧問(または、支部相談役)を置くことができる。その選出は支部長が(支部役員経験者の中から)必要に応じて委嘱でき、支部代議員会で審議決定し支部総会で承認を得るものとし、その任期は支部長退任時期までとする。

(支部代議員ならびに支部役員の任期)

第5条 支部代議員ならびに支部役員の任期は1カ年とし、再任は妨げない。ただし、次期支部代議員ならびに支部役員の決定まではその責に任ずる。

(支部役員等の役割)

第6条 支部長は、支部を代表し統轄する。副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故があったとき、または欠けたときは、その職務を代行する。会計は、支部の会計事務を取り扱う。会計監査は、支部の会計を監査する。支部顧問(または、支部相談役)は、支部の会務に関して支部長の相談にのる。

(支部総会)

第7条 支部総会は、毎年1回開催し、その審議事項は次の各号に掲げるものとする。

1. 事業および決算報告の承認に関すること。
 2. 支部規約および細則の制定および改廃等の承認に関すること。
 3. 支部代議員の選出に関すること。
 4. 支部役員の選出に関すること。
 5. 支部顧問(または、支部相談役)の委嘱の承認に関すること。
 6. 事業計画および予算の承認に関すること。
 7. その他、支部役員会または支部代議員会にて総会の承認を必要と定めた事項。
2. 支部長は、支部役員会の同意を得て、臨時総会を開催することができる。
3. 緊急に審議すべき事項があるにもかかわらず、支部総会の開催が困難な場合には、支部役員会の同意を得ることにより、支部総会での審議があったものとみなすことができる。ただし、この審議内容は、支部総会に報告し承認を得なければならない。

(支部代議員会)

第8条 支部代議員会は、支部役員等、事業計画、予算・決算、規約・細則の制定および改廃等の重要事項の案を審議決定する。
2. 支部代議員会は、原則年△回開催する。
3. 支部代議員会の開催は、支部役員会の同意を得て、支部長が招集する。

4. 支部代議員会の議決は、出席支部代議員の過半数の賛成により議決する。
5. 支部役員会において重要であると定められた事項に関する支部代議員会の議決は、委任状を含む支部代議員の2分の1以上の出席により成立し、出席支部代議員の過半数の賛成により議決する。

(支部役員会)

第9条 支部役員会は、必要に応じて、支部長が招集し、支部事業の運営に関する事項を協議する。

2. 支部長は、必要に応じて支部顧問(または、支部相談員)の出席を求めることができる。

(経費)

第10条 支部の経費は、本部からの運営費その他で支弁する。

(会計年度)

第11条 支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終了する。

(支部規約等の制定と改廃)

第12条 第7条により支部規約および細則の制定とその改廃は、本部に届け出るものとする。

附 則

1. この規約は、昭和56年6月20日から施行する。
2. この規約は、平成13年4月1日から施行する。
3. この規約は、平成22年4月1日から施行する。

工学院大学後援会 個人情報保護方針

工学院大学後援会（以下、「本会」といいます。）では、個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報の保護に関する法律（以下、「個人情報保護法」といいます。）その他の関連法令・ガイドラインを遵守して、個人情報を適正に取扱います。本会が皆様からお預かりする個人情報は、業務の遂行上必要な限りにおいて利用し、その他の目的に利用することはありません。

また、漏えい、紛失、改ざんなどのリスクから個人情報を保護し、学生・保護者の皆様の権利を保護することは、本会にとって最も重要な責務の一つです。

本会では、ここに“個人情報保護方針”を定め、必要かつ適切な個人情報の保護を行い、維持することに努めます。本会は、個人情報の取り扱いおよび管理に際し、必ず本方針を遵守します。また、本会が個人情報を預託する業務委託先にも本方針を遵守するように求め、適切に監督します。

本方針が対象とする個人情報は、本会の事業活動において入手または知り得た、あるいは保有するすべての個人情報とし、本会の会員の個人情報を含みます。

- (1) 本会は個人情報の適切な管理に努めます。
- (2) 本会は、取得、利用、提供など、適切な個人情報の取り扱いについて、工学院大学の個人情報保護規程に準じ、それを遵守します。
- (3) 本会が個人情報の取り扱いを外部に委託する際は、委託する個人情報を必要な最小限に絞り込み、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、委託先においても個人情報の安全管理、秘密保持、再委託の禁止等、適切な管理を実施させます。
- (4) 本会は、保有または預託された個人情報に対し、適切かつ合理的な安全管理措置を実施し、漏えい、紛失、改ざんなどの防止に努めます。
- (5) 本会は、個人情報保護に関する国内法令・規則、その他の規範を遵守します。
- (6) 本会は、本方針の周知徹底ならびに個人情報保護意識の向上を図ります。

学園と後援会の沿革

- 1887年 10月31日、帝国大学総長渡辺洪基を中心として工手学校設立協議会開催される。
- 1888年 築地に工手学校として、授業を開始する。
特選管理長／渡辺 洪基。校長／中村 貞吉。土木、機械、電工、造家、造船、採鉱、冶金、製造舎密の8学科。
- 1928年 豊多摩郡淀橋町大字角筈(現新宿校舎敷地)に新校舎落成。
工手学校を工学院に改称。のちに学制改革によって、工学院専修学校となる。
- 1944年 専門学校令による工学院工業専門学校を開校。機械科、化学工業科。
中学校令による工学院工業学校を開校。のちに学制改革により、高等学校となる。
- 1949年 新学制による工学院大学認可・開学。
学長／工学博士・野口 尚一。工学部／第1部(昼)・第2部(夜)、機械工学科、工業化学科。
- 1950年 工学院工業専門学校、第4回卒業生をもって廃校。
後援会設立 会長／田中 敏蔵 幹事長／山根 茂
- 1954年 会長／杜沢 純海 幹事長／山根 茂
- 1955年 学部に電気工学科、建築学科を増設。会長／杜沢 純海 幹事長／太田 定治
- 1957年 軽井沢学寮(長野県)開設。会長／山口 数一 幹事長／太田 定治
- 1958年 工業化学科に化学工学コース、電気工学科に電子工学コースを新設。
工学専攻科を開設、機械工学、工学化学専攻。会長／小林 成一 幹事長／太田 定治
- 1959年 工学専攻科に電気工学、建築学専攻を増設。
白樺湖(長野県)学寮開設。
- 1960年 機械工学科に生産機械工学コースを新設。会長／橋本 三郎 幹事長／山下 善太郎
- 1961年 8階建て新校舎落成。
- 1962年 第1部の生産機械工学コース、電子工学コースを各学科に昇格。
来の宮(静岡県)湯の家開設・茅ヶ崎(神奈川県)海の家開設。
会長／池尾 与一 幹事長／山下 善太郎
- 1963年 八王子市中野町に八王子校舎を開設、授業を開始。
富士吉田(山梨県)学寮開設。会長／牛山 利雄 幹事長／山下 善太郎
- 1964年 大学院・工学研究科修士課程を開設。
機械工学専攻、工業化学専攻、電気工学専攻、建築学専攻。会長／牛山 利雄 幹事長／平岡 正夫
- 1965年 会長／宮本 坂次 幹事長／平岡 正夫
- 1966年 大学院・工学研究博士課程を開設。会長／重野 正重 幹事長／平岡 正夫
- 1967年 電子計算機センターを開設。
越後湯沢(新潟県)山の家開設・来の宮湯の家閉鎖。会長／日高 秀夫 幹事長／村岡 徹朗
- 1969年 会長／小林 裕 幹事長／村上 徹朗
- 1970年 第1部の化学工学コースを学科に昇格。
第1部電子工学科に情報工学コースを新設。
工学博士・岡田 實、学長に就任。白樺湖学寮改築。
- 1971年 会長／小林 裕 幹事長／山内 邦比古
- 1972年 会長／伊藤 順一 幹事長／山内 邦比古
- 1973年 会長／佐々木 祥雄 幹事長／山内 邦比古
- 1975年 工学博士・伊藤 鄭爾、学長に就任。
会報創刊号発行・第2部クラブハウス落成・茅ヶ崎海の家閉鎖・御宿(千葉県)海の家開設・松風舎学寮新改築。
- 1977年 後援会幹事に学生部長加わる。白樺湖学寮ゼミ室新築。
会長／田口 友重(8/10) 幹事長／山内 邦比古
- 1978年 会長代行／井上 俊雄 幹事長／古明地 静雄
- 1979年 新宿キャンパスに南館落成。八王子キャンパスに図書館落成。
会長／相野谷 重信 幹事長／古明地 静雄
- 1980年 軽井沢学寮落成。父母懇談会3地区で開催。会長／相野谷 重信 幹事長／大柳 康
- 1981年 富士吉田セミナー校舎落成。
父母懇談会7地区で開催。会長／相野谷 重信 幹事長／大柳 康

- 1982年 父母懇談会16地区で開催。会長／相野谷 重信 幹事長／大柳 康
- 1983年 八王子キャンパスに学生部室棟落成。御宿(千葉県)海の家閉鎖。
父母懇談会18地区で開催。会長／相野谷 重信 幹事長／大柳 康
- 1984年 八王子キャンパスに厚生棟落成。越後湯沢(新潟県)山の家閉鎖。
父母懇談会19地区で開催。会長／相野谷 重信 幹事長／大柳 康
- 1985年 八王子キャンパスに3号館落成。
富士吉田セミナー校地区にテニスコート2面新設。
工学博士・北郷 薫、学長に就任。
父母懇談会23地区で開催。会長／相野谷 重信 幹事長／大柳 康
- 1986年 八王子キャンパスに研究実験棟5号館～11号館落成。
父母懇談会22地区で開催。会長／小松崎 寿志 幹事長／波多江 健郎
- 1987年 学校法人工学院大学創立百周年。
新宿校地再開発第一期工事(大学棟)着工。
父母懇談会22地区で開催。会長／小松崎 寿志 幹事長／波多江 健郎
- 1988年 八王子キャンパス植樹。
父母懇談会22地区で開催。会長／小松崎 寿志 幹事長／波多江 健郎
- 1989年 新宿キャンパスに高層棟落成(第一期工事)。
八王子キャンパスに総合工学研究棟落成。
父母懇談会22地区で開催。会長／宮田 正男 幹事長／波多江 健郎
- 1990年 父母懇談会22地区で開催。会長／岡林 豊樹 幹事長／山本 芳太郎
- 1991年 八王子キャンパスに食堂棟整備。
父母懇談会22地区で開催。会長／岡林 豊樹 幹事長／根岸 照雄
- 1992年 新宿キャンパスに中層棟・エステック情報ビル落成(第二期工事)。
父母懇談会22地区で開催。会長／齋藤 昭三 幹事長／根岸 照雄
- 1993年 第1部工業化学科を応用化学科に名称変更し、同科に物質化学コースと生物化学コースを新設する。
父母懇談会22地区で開催。会長／齋藤 昭三 幹事長／根岸 照雄
- 1994年 工学博士・大橋 秀雄、学長に就任。
大学院工学研究科に情報学専攻博士(前期・後期)課程を増設する。
第1部化学工学科にプロセス工学コース、機能材料工学コースを新設する。総合研究所を開設する。
父母懇談会21地区で開催。会長／北川 知正 幹事長／根岸 照雄
- 1995年 第1部生産機械工学科を機械システム工学科に名称変更し、従来の専攻コースを再整備、機械工学科にエネルギー工学専攻コース、設計工学専攻コース、材料・加工工学専攻コース、機械システム工学科に生産システム工学専攻コース、制御工学専攻コースを設置する。
新宿校地の工学院大学エステック広場落成。
父母懇談会21地区で開催。会長／阿部 幸雄 幹事長／南迫 哲也
- 1996年 父母懇談会21地区で開催。会長／柴田 實 幹事長／是松 孝治
- 1997年 第1部化学工学科を環境化学工学科に名称変更する。
第1部機械工学科に機械工学コースと国際工学コースを新設する。
父母懇談会21地区で開催。会長／澁谷 幸夫 幹事長／宮城 干城
- 1998年 八王子キャンパスにアドバンストマテリアルスセンター落成。
父母懇談会21地区で開催。会長／田部 正博 幹事長／宮城 干城
- 1999年 八王子キャンパスにテクノクリエーションセンター落成。セミナーハウス松風舎落成。
第1部電子工学科情報工学コース、建築学科都市建築デザインコースを廃止し、情報工学科、建築都市デザイン学科を設置する。
大学院工学研究科電気工学専攻を電気・電子工学専攻に名称変更する。
後援会創立50周年記念式典・祝賀会開催。
父母懇談会21地区で開催。会長／清水 訓一 幹事長／椎塚 久雄
- 2000年 八王子キャンパスにC³(C-キューブ)落成。
第1部建築学科に建築コースと環境コースを新設する。
父母懇談会21地区で開催。会長／遠藤 正美 幹事長／椎塚 久雄
- 2001年 八王子キャンパスに学園創立115周年記念体育館落成。

- 第1部機械工学科国際工学コースを廃止し、国際基礎工学科を設置する。
第1部マテリアル科学科を設置する。
第1部機械工学科エネルギー工学専攻コース、設計工学専攻コース、材料・加工工学専攻コースを統廃合し、エコエネルギーコース、メカノデザインコースを設置する。
第2部機械工学科、工業化学科、電気工学科をそれぞれ機械システムデザイン学科、化学応用デザイン学科、電気電子情報工学科に名称変更する。
八王子キャンパスに産学共同研究センター落成。
- 2002年
父母懇談会21地区で開催。会長／川原 充廣 幹事長／椎塚 久雄
八王子キャンパスの11号館を増築し、地震防災・研究センターを設置する。
大学院工学研究科工業化学専攻を化学応用学専攻に名称変更する。
父母懇談会21地区で開催。会長／岡本 誠 幹事長／山本 重彦
- 2003年
工学博士・三浦 宏文、学長に就任。
第1部建築学科建築コース、環境コースをそれぞれ建築学コース、環境建築コースに名称変更する。
父母懇談会21地区で開催。会長／潮田 利雄 幹事長／山本 重彦
八王子キャンパスの産学共同研究センターに、マイクロ&バイオシステム研究センターを増築する。
- 2004年
ECPセンターを開設する。
父母懇談会21地区で開催。会長／渡邊 典生 幹事長／高橋 静昭
学習支援センターを開設する。
- 2005年
八王子キャンパスに工房・化学実験棟落成。学習支援センターを開設する。
父母懇談会21地区で開催。会長／内野 昇 幹事長／高橋 静昭
- 2006年
情報学部(コンピュータ科学科、情報デザイン学科)、グローバルエンジニアリング学部(機械創造工学科)の2学部を新設し、工学部と併せ3学部体制となる。
電気系学科を再編し、電気システム工学科と情報通信工学科を新設する。
第2部の電気電子情報工学科を情報通信メディア工学科に名称変更する。
父母懇談会21地区で開催。会長／源 千秋 幹事長／高橋 静昭
- 2007年
八王子キャンパスにスチューデントセンター落成。
父母懇談会21地区で開催。会長／榎原 孝志 幹事長／長島 珍男
- 2008年
第2部機械システムデザイン学科、化学応用デザイン学科の募集を停止する。
父母懇談会21地区で開催。会長／小林 幸雄 幹事長／長島 珍男
- 2009年
工学博士・水野 明哲、学長に就任。
化学系学科を再編し、応用化学科と環境エネルギー化学科を新設する。
後援会創立60周年記念式典・祝賀会開催。
父母懇談会21地区で開催。会長／有富 良治 幹事長／横山 修一
- 2010年
父母懇談会21地区で開催。会長／井山 勝美 幹事長／横山 修一
- 2011年
工学部第1部建築学科、建築都市デザイン学科を改編し、建築学部まちづくり学科、建築学科、建築デザイン学科を設置。大学院工学研究科にシステムデザイン専攻修士課程を新設。
父母懇談会21地区で開催。会長／竹内 喜美子 幹事長／三好 和憲
- 2012年
学校法人工学院大学創立125周年。
八王子キャンパスに総合教育棟落成。
父母懇談会21地区で開催。会長／竹内 喜美子 幹事長／伊藤 慎一郎
- 2013年
オリジナル車輛「トランスポーター」贈呈。
八王子キャンパスに弓道場・ボクシング場落成。
父母懇談会21地区で開催。会長／波多野 剛 幹事長／伊藤 慎一郎
- 2014年
新宿キャンパスにラーニングコモンズB-ICHI(ビーイチ)落成。
父母懇談会21地区で開催。会長／宮木 義雄 幹事長／稲葉 敦
- 2015年
工学博士・佐藤 光史、学長に就任。
八王子キャンパスに、ものづくり支援センター(ふらっと)落成。
工学部の化学系学科、グローバルエンジニアリング学部を改編し、先進工学部(生命化学科、応用化学科、環境化学科、応用物理学科、機械理工学科)を新設する。工学部第2部情報通信メディア工学科、建築学科の募集を停止する。
父母懇談会21地区で開催。会長／馬場 淳一 幹事長／稲葉 敦

- 2016年 八王子キャンパスに新4号館落成。
工学部情報通信工学科と情報学部の2学科を改編し、情報学部情報通信工学科、システム数理学科を設置する。これにより情報学部は4学科となる。
父母懇談会21地区で開催。会長／片岡 伸樹 幹事長／横山 計三
- 2017年 学校法人工学院大学創立130周年。
八王子キャンパスに新2号館落成。
工学部電気システム工学科を電気電子工学科に名称変更する。
八王子キャンパス新2号館に図書館の家具を寄贈。
父母懇談会21地区で開催。会長／林 英男 幹事長／田中 久弥
- 2018年 八王子キャンパスのセミナーハウス松風舎ホールに空調機を寄贈。
父母懇談会21地区で開催。会長／富永 昌治 幹事長／雑賀 高
- 2019年 先進工学部応用物理学科に応用物理学専攻・宇宙理工学専攻を、機械理工学科に機械理工学専攻・航空理工学専攻を新設。
後援会創立70周年記念品制作。富士吉田セミナー校舎に家具を寄贈。
父母懇談会21地区で開催。会長／石野 洋吏 幹事長／雑賀 高
- 2020年 新宿キャンパス1階アトリウムのリニューアル(キネティック・ウォール)。
新型コロナウイルス感染症が世界規模で猛威を振るい、社会に大きな影響を与えた。
感染症拡大防止のため定期総会は書面開催となるなど対面による後援会の諸活動もままならない困難な中、父母懇談会にリモート面談導入にて秋に18地区で開催にこぎつけた。
会長／井上 公司 幹事長／雑賀 高
- 2021年 工学博士・伊藤慎一郎、学長に就任。
新型コロナウイルスの猛威は止まず、父母懇談会は21支部中15支部がオンライン開催になるなど、前年度に引き続き後援会活動はままならない状況であったが、新たにオンラインを活用した個別面談会や全国支部交流会を開催し、活動の充実を図った。
会長／福井 敦 幹事長／並木 則和
- 2022年 新型コロナウイルスの影響はあったものの、父母懇談会(全国21支部)等の後援会行事を開催した。
学部1年生を対象としたオンライン個別面談会の実施。
ICT活動支援(全国21支部へGoogleアカウントおよびZOOMアカウント配付)。
会長／上原 洋介 幹事長／並木 則和
- 2023年 情報学部システム数理学科を情報科学科に名称変更する。
父母懇談会21地区で開催。会長／市川 貴之 幹事長／並木 則和
- 2024年 理学博士・今村保忠、学長に就任
大学後援会からの寄付金をもとにセミナーハウス松風舎のバーベキュー場の改修を実施。
父母懇談会21地区で開催。会長／長谷川 潤治 幹事長／寛 淳夫



2025年5月 発行

発行 工学院大学後援会

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

編集発行 大学後援会事務局(学生支援課)

TEL (03)3348-5255

FAX (03)3342-5304

E-mail kouenkai@sc.kogakuin.ac.jp

後援会ホームページ

<https://kouenkai.kogakuin.ac.jp/>